

平成27年2月定例会

議案説明資料 予算に関する説明書

(平成27年度当初予算関係)

文化観光スポーツ局

- *各事業の説明資料の「本年度」の欄は来年度の当初計上額
「前年度」の欄は今年度の当初予算額
「比較」の欄は「本年度」－「前年度」の額

- *トータルコストについて

トータルコストは、事業ごとに事業費と人件費を一体としたコストを表します。あくまで、費用対効果を判断するための参考表記ですので、職員定数と厳密には一致していません。

また、人役については、表示単位未満を四捨五入で表示しており、結果が0.0人役となるものについては、人件費を0としています。

平成 27 年 2 月定例会 議案説明資料目次

文化観光スポーツ局

【予算関係】

(一般会計)

議案番号	件 名	課名等	頁
第 1 号	平成 27 年度 鳥取県一般会計予算		
	1 当初予算説明資料	(総括表) 文化政策課 交流推進課 観光戦略課 スポーツ課 まんが王国官房	1 2 27 37 67 96
	2 組織改正に伴う移管事業(部局間移管)一覧		100
	3 歳入歳出事項別明細書		101
	4 節の明細		103
	5 債務負担行為に関する調書	文化政策課 他	107

【予算関係以外】

議案番号	件 名	課名等	頁
第 40 号	鳥取県附属機関条例の一部改正等について	文化政策課	110
第 41 号	鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	スポーツ課	112
第 61 号	公の施設の指定管理者の指定(鳥取県営米子屋内プール)について	スポーツ課	114

議案説明資料総括表

文化観光スポーツ局 (単位:千円)

課名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
文化政策課	1,628,506	1,969,091	△340,585	34,500		164,526	1,429,480	
交流推進課	248,325	259,046	△10,721			30,827	217,498	
観光戦略課	1,130,379	1,151,125	△20,746			68,576	1,061,803	
スポーツ課	1,288,979	1,289,139	△160	2,472	2,000	176,962	1,107,545	
まんが王国官房	239,438	248,793	△9,355			202,719	36,719	
合計	4,535,627	4,917,194	△381,567	36,972	2,000	643,610	3,853,045	

平成27年度の主な事業

(文化政策課)

- アーティストリゾートとっとり推進事業
- (新)地域の伝統芸能魅力発見・発信事業
- 第59回鳥取県美術展覧会開催事業
- 鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業
- (新)鳥取県立米子コンベンションセンター床機構改修業務

(交流推進課)

- (新)ブラジル県人会館設立20周年記念事業

(観光戦略課)

- スポーツツーリズム「誘客戦略」推進事業
- 外国人観光客誘致推進事業
- (新)「ようこそようこそ鳥取県」観光誘客キャンペーン推進事業

(スポーツ課)

- (新)キャンプ地誘致推進プロジェクト事業
- (新)とっとり生涯スポーツ創生事業
- 2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト
- 競技力向上対策事業費

(まんが王国官房)

- まんが王国発ソフトパワー事業
- (新)まんが王国海外インバウンド促進事業

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7843)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾートとっとり推進事業	74,500	73,030	1,470	34,500		(基金繰入金) 40,000		
トータルコスト	78,383千円 (前年度76,900千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、実行委員会用務、補助金交付事務等							
工程表の政策目標(指標)	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】							
1 「鳥取藝住祭2015」開催事業								
(1) 事業の目的・概要	<p>国内外アーティストによる県内での滞在制作・展示活動(※「AIR」)を促進し、地域とアーティストとの関わりを地域活性化につなげるため、「アーティストリゾートとっとり構想」を推進する。 ※「AIR(アーティストインレジデンス)」とは、アーティストが自分の本拠地以外の場所に滞在し、地域の自然・歴史・文化との関わりの中で作品制作に取り組む活動。 ※財源には、国助成制度を活用することとし、文化庁へ申請。</p>							
(2) 主な事業内容								
ア シンボル事業 36,500千円	舞台系芸術や現代アート展示により非日常的空間を創出し、県民に最先端の芸術を鑑賞していただく機会を提供する。							
区分	内容							
補助対象者	鳥の劇場運営委員会、ホスピテイル・プロジェクト実行委員会、アーティストリゾートとっとり芸術祭実行委員会							
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●「鳥の演劇祭8」の開催(平成27年9月) (実施者: 鳥の劇場運営委員会、会場: 鳥取市鹿野町) <ol style="list-style-type: none"> ① 国内外の芸術家による作品の上演 ② 周辺文化事業(体験型講座、トークイベント、鹿野地区まち歩き) ●現代アート展示及び音楽祭の開催(平成27年9月~10月) (実施者: ホスピテイル・プロジェクト実行委員会、会場: 鳥取市) <ol style="list-style-type: none"> ① 国際的に評価の高い現代アート作家を招致し県内で滞在制作 ② 約1,000人の一般演奏者を集めた音楽祭を街中で開催 ●鑑賞者・プロジェクトコーディネーター育成事業 <ol style="list-style-type: none"> ① 有名アーティスト等による芸術に関する講演の開催 ② 作品鑑賞ツアーの実施 							
総事業費	42,850千円(概算) (財源内訳) 鳥取県36,500千円 鳥取市2,000千円、その他4,350円							
イ アートによる地域づくり 11,000千円	県内NPO法人等が、県外アーティストの滞在制作活動を受け入れる事業に対して支援を行い、アートによる地域活性化の取組の輪を広げる。							
区分	内容							
補助対象者	アーティストリゾートとっとり芸術祭実行委員会 〔構成団体〕 くらしAIR実行委員会(倉吉市)、築き会(大山町)、米子建築塾(米子市)、浜村映画塾(鳥取市)、新規3団体(調整中)							
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●国内外の芸術家の招聘・滞在・創作・発表 ●推進組織の育成、強化 							
補助率等	定額							
ウ 実行委員会事務局運営費(人件費、広報費等) 21,500千円								

2 アーティスト滞在促進事業

(1) 事業の目的・概要

鳥取県での作品制作を希望するアーティストの県内滞在・移住を促進するため、アーティストと滞在先との中間支援機能として、県内滞先に必要な情報提供と県内受入団体の紹介を行う窓口を整備するほか、滞在制作に必要な経費を支援する。

(2) 主な事業内容

ア とりAIRプラットフォーム事業 3,000千円(県費のみ)

事業主体	県(県内NPO等への委託)
整備目的	県外アーティストの県内滞在等交流・定住人口の拡大を促進するため、ポータルサイトを構築し、県内での滞在活動を支援するための情報を広く提供する。
機能	<ul style="list-style-type: none"> ○アーティストの滞在制作に適した物件情報(住居、アトリエ等)の収集・発信 ○アーティストの希望物件への現地案内 ○滞在先の地元関係者との調整、受入れを行うまちづくり団体等への紹介 ○県の滞在制作支援補助金の紹介

イ アーティスト滞在促進事業補助金 2,500千円(県費のみ)

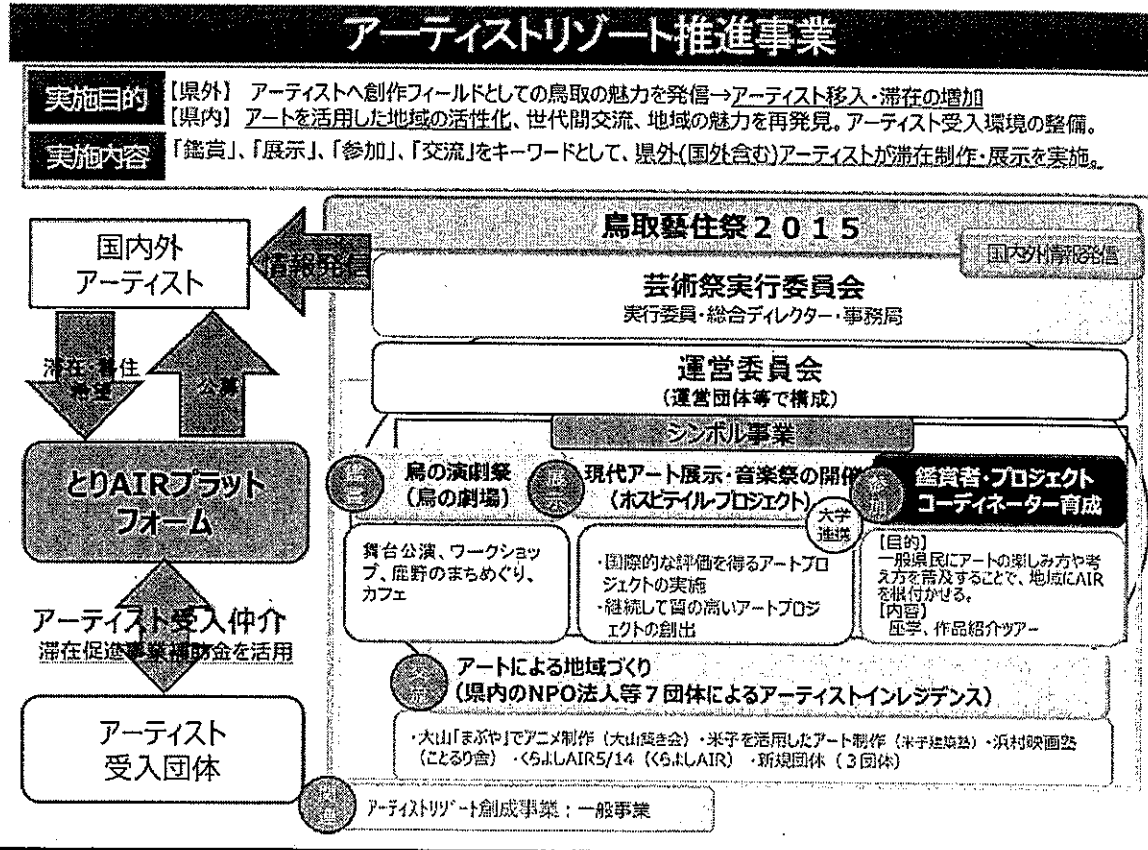
県外アーティストが地域と関わりながら行う滞在制作を促進するため、県内受入団体やアーティストに対して支援を行う。

内容	補助対象者	対象事業	補助率・額
アーティストの滞在制作支援	文化・芸術による地域活性化に取り組む団体	県内のまちづくり団体等が県外アーティストを受け入れて行う地域活性化事業	1/2・上限500千円

【これまでの取組状況、改善点】

- 「アーティストリゾート構想」の推進により、アートによる地域活性化(空家の利活用、移住定住者の出現、地域における交流の拡大等)が進んできた。
- また、平成26年度は、アーティストリゾート推進事業をより多くの方に知っていただくため「鳥取藝住祭2014」を開催し、一体感のあるイベントとして実施・発信していくことで、アーティストが活動しやすい環境(=アーティストリゾート)としての鳥取県の魅力を発信した。
- 平成27年度は、さらに県内参加団体の裾野の拡大、県外への情報発信を強化し、さらなるアーティストリゾートとっとり構想の推進を図る。

<事業の概要>



平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
アーティストリゾート・地域モデル創成事業	15,000	20,000	△5,000			(基金繰入金) 15,000		
トータルコスト	15,777千円（前年度 20,774千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、補助金交付事務							
工程表の政策目標（指標）	アーティストと県民が芸術を介して活発に交流する「アーティストリゾート」の展開を促進							
事業内容の説明				【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>「アーティストリゾート構想」を掲げている鳥取県のアーティストインレジデンスの取組を県内外に発信するため、アーティストインレジデンスのモデル的、先進的取組を行う市町村や団体への支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>文化芸術を媒介とした全国に誇れる地域活性化のモデルを創成するため、文化芸術施設を所有する市町村が施設整備を行う場合、整備に要する経費に対して支援を行う。</p> <p>また、全国へ情報発信し、芸術活動による地域活性化のモデルとなり得るソフト事業に対しても支援を行う。</p>								
区 分	ハード事業			ソフト事業				
補助対象者	文化芸術施設を所有する市町村			文化芸術施設で活動し、国から補助を受けている文化芸術団体、地域づくり団体				
補助事業の内容	施設整備事業			全国に発信でき、モデルとなり得る質の高い文化芸術事業				
補助率等	1/2 （上限 50,000千円/年）			国庫補助額の 1/2 以内（上限 15,000千円/年）				
予算額等	制度要求 （事業計画承認後に予算要求を行う）			15,000千円				

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
（新）地域の伝統芸能魅力発見・発信事業	6,477	0	6,477				6,477													
トータルコスト	8,807千円（前年度 0千円）〔正職員：0.3人〕																			
主な業務内容	補助金交付事務、委託契約、連絡調整																			
工程表の政策目標（指標）	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を充実																			
事業内容の説明																				
1 事業の目的・概要																				
地域に伝わるまつりや踊りなどの伝統芸能・行事を観光素材として扱い、地域における継承意欲を高めていくことを目的として、現地で鑑賞・体験するツアーを実施するとともに、観光誘客につなげるための情報発信を行う。																				
2 主な事業内容																				
(1) 伝統芸能体験ツアー開催事業																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項 目</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容</td> <td>伝統芸能・行事を現地で鑑賞・参加するツアーを実施する。（年5回程度）</td> </tr> <tr> <td>実施主体</td> <td>民間団体に委託予定</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>委託料 2,477千円</td> </tr> </tbody> </table>									項 目	内 容	内容	伝統芸能・行事を現地で鑑賞・参加するツアーを実施する。（年5回程度）	実施主体	民間団体に委託予定	事業費	委託料 2,477千円				
項 目	内 容																			
内容	伝統芸能・行事を現地で鑑賞・参加するツアーを実施する。（年5回程度）																			
実施主体	民間団体に委託予定																			
事業費	委託料 2,477千円																			
(2) 伝統芸能・行事を活用した「おもてなし活動支援事業」																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項 目</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容</td> <td>地域振興・継承を目的とし、伝統芸能・行事を県外からの来訪客に披露したり、体験していただくなどのおもてなし活動を支援する。</td> </tr> <tr> <td>助成対象</td> <td>伝統芸能披露・体験プログラムを実施する市町村・団体等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2（上限50万円）</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>交通費・用具輸送料・謝金</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,000千円（延べ事業数 4回/年）</td> </tr> </tbody> </table>									項 目	内 容	内容	地域振興・継承を目的とし、伝統芸能・行事を県外からの来訪客に披露したり、体験していただくなどのおもてなし活動を支援する。	助成対象	伝統芸能披露・体験プログラムを実施する市町村・団体等	補助率	1/2（上限50万円）	補助対象経費	交通費・用具輸送料・謝金	事業費	2,000千円（延べ事業数 4回/年）
項 目	内 容																			
内容	地域振興・継承を目的とし、伝統芸能・行事を県外からの来訪客に披露したり、体験していただくなどのおもてなし活動を支援する。																			
助成対象	伝統芸能披露・体験プログラムを実施する市町村・団体等																			
補助率	1/2（上限50万円）																			
補助対象経費	交通費・用具輸送料・謝金																			
事業費	2,000千円（延べ事業数 4回/年）																			
(3) とっとり伝統芸能の情報発信																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項 目</th> <th style="width: 80%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容</td> <td>観光誘客につなげるためのサイトを作成。</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>委託料 2,000千円</td> </tr> </tbody> </table>									項 目	内 容	内容	観光誘客につなげるためのサイトを作成。	事業費	委託料 2,000千円						
項 目	内 容																			
内容	観光誘客につなげるためのサイトを作成。																			
事業費	委託料 2,000千円																			

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「ふるさと・鳥取」全国情報発信・誘客事業	5,952	0	5,952			(基金繰入金) 4,362	1,590	
トータルコスト	7,505千円（前年度 0千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	委託契約、イベント準備・当日支援、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明				【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】				
1 事業の目的・概要								
唱歌「ふるさと」を生んだ地としての認知度を高め、観光客などの来訪者の増加につなげるため、唱歌「ふるさと」にちなんだ全国イベントを開催するとともに、ふるさとの原風景が残る鳥取県の魅力を全国に発信する。								
2 主な事業内容								
(1) ふるさと4番プロジェクト全国大会の開催（わらべ館20周年記念事業）								
開催時期	平成27年7月予定							
会場	とりぎん文化会館小ホール又はわらべ館							
内容	全国の高校生が作成した唱歌ふるさと4番の全国大会を本県で開催し、ふるさとの楽曲の素晴らしさを再評価するとともに、高校生がそれぞれの「ふるさと」の良さを見つめ直す機会を提供する。							
事業費	委託料 2,572千円							
(2) 映画「うさぎおいし」上映会の開催								
開催時期	平成27年7月予定							
会場	とりぎん文化会館小ホール又はわらべ館							
内容	添谷泰一監督(米子市出身)が制作中の唱歌「ふるさと」をモチーフにした映画の上映と監督・出演者によるトークショーを開催する。							
事業費	500千円							
(3) 日本の原風景「ふるさと鳥取」情報発信、誘客プログラム								
開催時期	6月、9月							
会場	東京の鳥取・岡山物産館「ももてなし館」							
内容	鳥取県に日本の原風景が残っていることやとっとり暮らしの魅力を発信するトーク&ミニコンサートを開催する。（8回程度）							
事業費	2,880千円							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「とっとりアートスタート」推進事業	3,778	8,939	△5,161				3,778	
トータルコスト	6,884千円（前年度 12,035千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画選定委員会の開催、関係団体の連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	子どもたちや若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>子どもたちの豊かな感性と創造性を育み、「子育て王国とっとり」の魅力アップを図るため、0歳から未就学の乳幼児に作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供するアートスタート活動を支援するとともに、小学生向けにも地域人材や資源を活かした芸術鑑賞・自然体験等の活動を実施し、子どもの文化芸術体験の大切さを伝える。</p>								
2 主な事業内容								
(1) 子ども文化芸術体験支援事業 2,278千円								
区 分	内 容						事業費	
子ども文化芸術体験協働連携モデル事業	小学生向けに地域人材・資源を活かした芸術鑑賞、自然体験、アート創作活動をモデル事業として選定し、委託実施する。 ※とっとりアートスタートの対象を拡充するための取組						2,278千円	
(2) アートスタート推進事業 1,500千円								
区 分	内 容						事業費	
次世代鑑賞者育成事業	未就学児を対象とした作品鑑賞・創造体験・公演鑑賞の機会を提供する営利を目的としない団体に対して助成する。 次世代鑑賞者育成事業補助金 (市町村間接補助、補助率 県1/2)						1,500千円	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第13回とりアート開催事業	76,783	62,410	14,373			(基金繰入金) 76,783		
トータルコスト	77,560千円（前年度63,184千円）〔正職員：0.1人〕							
主な業務内容	補助金交付、事務局及び関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明				【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内の文化芸術活動のすそ野の拡大、頂点の伸長、人材育成を図るため、「第13回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」を実施する鳥取県総合芸術文化祭実行委員会（事務局：（公財）鳥取県文化振興財団）に対して助成する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 期 間 通年</p> <p>(2) 場 所 とりぎん文化会館他県下全域</p> <p>(3) 主 催 者 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県</p> <p>(4) 主な事業内容</p>								
区 分		内 容						
【各地区企画運営事業】 〔予算額 10,140千円〕		◇各地区ごとに事業テーマを定め、ステージイベントや展示、ワークショップなどを県民から企画公募し、市町村等との協働により様々な場所にてぎわいを演出しながら実施する。 また、障がい者団体の参画を促進し、文化芸術による共生を図る。						
【メイン事業】 〔予算額 26,850千円〕		◇県内の様々な分野の文化活動主体の協働により、良質で創造的な舞台作品等を提供する。 ◇平成27年度は中部地区でオペラ「魔笛」を公演予定。						
【人材育成事業】 〔予算額 946千円〕		◇講習会、ワークショップ、個別指導等を実施して人材育成を行うとともに、その育成した人材に事業実施を委託する。 ◇各地区企画運営事業の充実と円滑な実施のため、各地区企画運営委員会にアートマネージャーを配置する。						
【広報費、運営事務費】 〔予算額 8,362千円〕		◇広報の実施（広報物作成、HP、各種PRイベント等） ◇実行委員会の運営に要する経費						
【事務局人件費】 〔予算額 30,485千円〕		◇事務局人件費 正職員5人、非常勤職員1人						

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	297,140	281,998	15,142				297,140	
事業内容の説明 一般職員43名分の人件費								

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第6回とっとり伝統芸能まつり開催事業	12,601	12,601	0				12,601	
トータルコスト	13,378千円（前年度13,375千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	選定委員会開催業務、連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を充実							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
地域で守られてきた伝統ある行事・芸能を次世代に引き継ぐための取組として、地域伝統芸能の伝承及び活用の気運を広げるため、伝統芸能から派生する新たな要素を取り入れながら、とっとり伝統芸能まつりを開催する。								
2 主な事業内容								
項 目	内 容							
名称	第6回とっとり伝統芸能まつり							
開催時期	平成27年5月24日（日）							
開催場所	米子コンベンションセンター（米子市）							
内容	○県内伝統芸能功労団体表彰式 ○伝統芸能公演 10団体程度							
主催	鳥取県・鳥取県教育委員会							
実施主体	民間団体に委託予定							
事業費内訳	委託料 11,776千円 選定委員会開催経費 54千円 標準事務費 771千円 合計 12,601千円							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第59回鳥取県美術展覧会開催事業	20,602	17,599	3,003			(雑入) 1,300	19,302	
トータルコスト	26,814千円 (前年度 27,660千円) [正職員: 0.8人 非常勤職員: 0.3人]							
主な業務内容	運営委員会開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	裾野の拡大と頂点の伸長、上質な芸術文化の提供、気軽に参加・体験できる場の提供							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、鑑賞機会を提供し、美術、文化の振興を図るため、第59回鳥取県美術展覧会を開催する。また、業務の効率化を図るため、平成27年度から展示作業等の業務の一部を外部委託する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
業務区分	事業区分	予算額	事業内容					
直営	(1) 運営委員会・審査会開催	2,401	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催					
	(2) 開会式、表彰	293	・開会式及び表彰式の開催					
委託	(3) 展示、巡回展	10,322	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内4会場で巡回展示					
	(4) 広報等事務費	5,117	・図録・目録等の作成、広報等					
	(5) 人件費	2,469	・受託事業者人件費					
(参考) 第59回鳥取県美術展覧会の概要 (予定)								
区分	内 容							
主催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会場	県立博物館、米子市美術館、日南町美術館 ※倉吉巡回展は開催未定							
会期	平成27年9月～11月 (上記会場を巡回)							
部門	8部門 (洋画・日本画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン)							
表彰	県展賞、奨励賞							
展示	審査の上、約460点の作品を展示予定							
鳥取県ジュニア美術展覧会開催事業	17,552	13,827	3,725			(雑入) 10	17,542	
トータルコスト	20,658千円 (前年度 20,018千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	運営委員会の開催、募集・広報・契約事務、審査会開催、展示、表彰式							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 児童・生徒の芸術創作活動に対する興味や意欲を高め、芸術文化の振興を図るため、第13回鳥取県ジュニア美術展覧会 (ジュニア県展) を開催する。また、業務の効率化を図るため、平成27年度から展示作業等の業務の一部を外部委託する。								
2 主な事業内容 (単位: 千円)								
業務区分	事業区分	予算額	事業内容					
直営	(1) 運営委員会・審査会開催	3,022	・運営委員会において出品規定等について協議 ・出品作品の審査会の開催					
	(2) 開会式、表彰	240	・開会式及び表彰式の開催					
委託	(3) 展示、巡回展	9,469	・作品搬入・輸送・陳列・搬出等 ・県内3会場で巡回展示					
	(4) 広報等事務費	2,352	・図録・目録等の作成、広報等					
	(5) 人件費	2,469	・受託事業者人件費					
(参考) 第13回鳥取県ジュニア美術展覧会の概要 (予定)								
区分	内 容							
主催	鳥取県、鳥取県教育委員会							
会場	県内3会場を巡回							
会期	平成28年1月上旬～平成28年2月中旬							
部門	3部門 (「絵画・デザイン」、「書写」、「写真」)							
表彰	知事賞、特別賞、教育長賞、奨励賞							
展示	審査の上、本展示では約1,500点の作品を展示予定							

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

2 目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術活動支援補助金	9,743	10,020	△277				9,743	
トータルコスト	12,849千円 (前年度 13,116千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	補助金交付業務、選定委員会開催、国民文化祭及び中四国文化の集いへの推薦業務							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の概要

本県の文化芸術活動の一層の推進を図るため、県内に活動の本拠をおく芸術・文化団体が自主的・自発的に行う芸術・文化活動に対し支援を行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	事業内容	(前年度) 事業費
(1) 県内外で行われる優れた芸術・文化活動支援事業	○補助対象者自らが企画し、実施する優れた作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 5 本程度)	(1,500) 1,500
(2) 知事特認事業	○上記のうち特に優れたものに対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 1,000 千円、事業数 1 本程度)	(1,000) 1,000
(3) 刊行物発刊支援事業	○補助対象者が行う日本語による出版活動に対する支援 (補助率 定額、限度額 300 千円、事業数 1 本程度)	(300) 300
(4) 芸術・文化活動ステップアップ支援事業	○県内でステップアップを図ろうとする補助事業者が自ら企画し実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 3 本程度)	(300) 300
(5) 周年支援事業	○定例的に行われる活動の周年事業に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 5 本程度)	(500) 500
(6) 芸術・文化活動によるまちづくり支援事業	○芸術・文化活動をツールとしたまちづくりを行う団体による作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 100 千円、事業数 1 本程度)	(100) 100
(7) 次世代活動者育成支援事業	○芸術・文化活動を行う青少年の育成を図る文化団体が実施する作品展示・舞台公演に対する支援 (補助率 1/2 以内、上限額 300 千円、事業数 3 本程度)	(900) 900
(8) 国民文化祭等参加推進事業	○第 30 回国民文化祭 (H27 鹿児島) 及び第 24 回中四国文化の集い (H27 香川) に補助対象者が参加する経費を助成	(5,293) 5,000
(9) 選定委員会開催費	○(1) の事業に係る審査基準の設定及び事業計画書等の審査 (選定委員数 5 人)	(127) 143
合 計		(10,020) 9,743

※補助率は、波及効果が複数市町村に及ぶ活動の場合であり、波及効果が単独市町村に限定される活動の場合は、補助対象経費の 1/4 の額又は当該市町村からの助成額のいずれか低い額を当該補助金の限度額とする。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化団体連 合会活動支援事業	20,911	20,901	10				20,911	
トータルコスト	25,570千円（前年度 25,544千円）[正職員：0.6人]							
主な業務内容	補助金交付事務、鳥取県文化団体連合会への支援							
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域に根ざした創造性の高い意欲的な活動を育成し、特色ある地域文化の振興を図るとともに、県民が文化に親しめる環境を整備するため、文化的な公共サービスの担い手である鳥取県文化団体連合会の活動を支援する。

2 主な事業内容

(1) 鳥取県文化団体連合会活動支援補助金 20,511千円

（単位：千円）

区 分	内 容	事業費				
(1) 加盟団体実施事業への補助 (25団体)	○鳥取県文化団体連合会加盟の県域文化団体が開催する事業（舞台、文芸等の発表、展示、研修事業、講習会）に対する支援	15,000				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">事業主体</td> <td>県域文化団体</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>補助対象経費の額の2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※モデル事業 障がい者とともに作品を創り上げる活動、異分野文化交流、地域のにぎわいづくりや活性化につながる活動 など</td> </tr> </table>		事業主体	県域文化団体	補助金額	補助対象経費の額の2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）
事業主体	県域文化団体					
補助金額	補助対象経費の額の2分の1（上限1,500千円 ※モデル事業を行う場合は上限2,000千円）					
	※モデル事業 障がい者とともに作品を創り上げる活動、異分野文化交流、地域のにぎわいづくりや活性化につながる活動 など					
(2) 県文連実施事業、事務局運営への支援	○機関誌発行 会員相互の情報交換・情報発信を活性化させるための機関誌の年1回発行に要する経費 ○鳥取県文化団体連合会事務局の運営費への支援	5,511				

(2) 芸術入門講座の実施委託 400千円

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を図るため、舞台、展示、文芸、市町村の各分野ごとに、芸術初心者が様々な文化芸術に一度に触れられる入門講座の実施を委託する。

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7134）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの文化芸術探訪事業	5,369	5,363	6			(雑入) 10	5,359	
トータルコスト	7,699千円（前年度 7,685千円）[正職員：0.3人 非常勤職員0.2人]							
主な業務内容	補助金交付事務、事業実績の確認、催しの企画・広報・実施への協力							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
全国的に大きな業績を残している本県ゆかりの文化芸術分野の先人について県内外に広く発信し、本県の魅力の向上を図るため、業績や魅力を再発掘、再認識し、地域の文化資源として活用する取組を支援する。								
2 主な事業内容								
(1) 顕彰事業の立ち上げへの支援								
区 分	内 容							
事業費	900千円（補助金）							
補助事業	全県的に顕彰すべき文化芸術分野の先人の顕彰事業を行う実行委員会に対し、助成金を交付して、活動の拡大に向けた支援を行う。							
補助率	2分の1 （3年限度／上限300千円、複数の顕彰を行う場合は500千円）							
顕彰予定の先人	池田亀鑑（中世古典文学研究者／日南町出身）ほか							
(2) 全国発信事業への支援								
区 分	内 容							
事業費	2,000千円（補助金）							
補助事業	県民で組織された実行委員会等が実施する文化芸術分野の先人の顕彰事業のうち、特に全国的な情報発信が見込まれる事業について、助成金の交付を行い活動への支援を行う。							
補助率	2分の1（上限500千円）							
顕彰予定の先人	<ul style="list-style-type: none"> ・尾崎放哉（俳人／鳥取市出身） ・尾崎翠（小説家／岩美町出身） ・鷺見三郎（ヴァイオリン演奏家／米子市出身） ・吉田璋也（民藝運動家／鳥取市出身） 							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
 2項 企画費
 2目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
芸術鑑賞教室開催補助金	10,000	10,000	0				10,000	
トータルコスト	10,777千円（前年度 10,774千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県内の児童・生徒等を対象に、文化施設及び学校体育館等において芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな情操を培い、健全な育成に資するため、芸術鑑賞教室を開催する（公財）鳥取県文化振興財団に対して経費の助成を行う。								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
事業費	10,000千円（補助金）							
補助対象者	（公財）鳥取県文化振興財団							
補助事業	（1）鳥取県芸術鑑賞教室（高等学校・特別支援学校） 高校及び特別支援学校の生徒、教職員等を対象に、音楽・演劇・伝統芸能等、さまざまな分野の芸術鑑賞公演を開催する。 （2）児童生徒を対象とした芸術文化事業 （芸術鑑賞教室、青少年劇場小公演、青少年劇場巡回公演） 小中学校の児童・生徒を対象に、学校等を会場として音楽・児童劇・人形劇等の芸術鑑賞公演を開催する。							
補助率	10/10							
補助対象経費	○上記（1）の事業については、その事業に要する経費 ○上記（2）の事業については、当該公演の実施に係る連絡調整に要する経費（公演に要する経費は市町村が負担）							
青少年のための弦楽入門講座開催支援事業	2,718	2,718	0				2,718	
トータルコスト	3,495千円（前年度 3,492千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	子ども達や若者が芸術・文化に触れ、感性を磨く機会を確保							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
本県における弦楽器活動者の裾野の拡大を図るため、弦楽器を始めて間もない青少年や未経験者を対象に弦楽器の魅力伝える活動を行う実行委員会に対して経費助成を行う。								
2 主な事業内容								
区 分	内 容							
事業費	2,718千円（補助金）							
補助対象者	東部、中部、西部の各地区ごとに交響楽指導者、高校弦楽部等顧問、弦楽器指導者などで構成する実行委員会							
補助事業	弦楽器に取り組む青少年の増加や鑑賞者の育成などを目的に、各地区実行委員会が要望を踏まえ、自ら企画運営して行う事業							
補助率	10/10（上限 各906千円）							
補助対象経費	講師の招へいに要する経費（謝金および旅費）、会場および備品借上料、資料購入費、打ち合わせに要する経費、広報宣伝費、その他必要経費							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業	1,000	1,000	0				1,000													
トータルコスト	1,777千円 (前年度 1,774千円) [正職員: 0.1人]																			
主な業務内容	周知説明、補助金交付事務																			
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充																			
事業内容の説明	<p>1 事業の目的・概要 県民が気軽に芸術・文化催事に参加しやすい環境を整備するため、催事開催の際、手話の配置や送迎バスの手配、託児などを行う団体等に対して経費の支援を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,000千円 (補助金)</td> </tr> <tr> <td>補助対象者</td> <td>県内で芸術・文化催事を主催するにあたり、誰もが当該催事に参加できるような環境整備を行う団体等</td> </tr> <tr> <td>補助事業</td> <td>手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助担当者の配置、託児提供、バリアフリー映画の上映等の環境整備</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>10/10 (上限 1事業あたり100千円)</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>上記環境整備に係る経費</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	内 容	事業費	1,000千円 (補助金)	補助対象者	県内で芸術・文化催事を主催するにあたり、誰もが当該催事に参加できるような環境整備を行う団体等	補助事業	手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助担当者の配置、託児提供、バリアフリー映画の上映等の環境整備	補助率	10/10 (上限 1事業あたり100千円)	補助対象経費	上記環境整備に係る経費
区 分	内 容																			
事業費	1,000千円 (補助金)																			
補助対象者	県内で芸術・文化催事を主催するにあたり、誰もが当該催事に参加できるような環境整備を行う団体等																			
補助事業	手話・要約筆記の設置、公演等における点字訳資料の作成、送迎バスの手配、介助担当者の配置、託児提供、バリアフリー映画の上映等の環境整備																			
補助率	10/10 (上限 1事業あたり100千円)																			
補助対象経費	上記環境整備に係る経費																			
鳥取県魅力ある展示支援事業	2,300	2,300	0				2,300													
トータルコスト	3,077千円 (前年度 3,074千円) [正職員: 0.1人]																			
主な業務内容	補助金交付事務																			
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし																			
事業内容の説明	<p>1 事業の目的・概要 文化拠点施設として魅力ある博物館づくりを推進するため、県内の民間の博物館等が実施する作品展及び県立を除く博物館等が実施する収蔵品等調査事業を支援する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位: 千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事業費</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県魅力ある展示支援事業</td> <td>1,600</td> <td>県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率: 2/3 (上限 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため対象外。</td> </tr> <tr> <td>鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業</td> <td>700</td> <td>県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率: 10/10 (上限 350千円)</td> </tr> </tbody> </table>								区 分	事業費	内 容	鳥取県魅力ある展示支援事業	1,600	県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率: 2/3 (上限 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため対象外。	鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業	700	県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率: 10/10 (上限 350千円)			
区 分	事業費	内 容																		
鳥取県魅力ある展示支援事業	1,600	県内の民間の博物館、美術館、資料館等が開催する鳥取県ゆかりの作家の作品展に要する経費の一部を助成する。 補助率: 2/3 (上限 666千円) ※公立館での作品展は、公立館本来の目的であるため対象外。																		
鳥取県収蔵品等調査・活用支援事業	700	県内の県立を除く博物館、美術館、資料館等が実施する所蔵資料及び美術品等の調査に要する経費を助成する。 補助率: 10/10 (上限 350千円)																		

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課 (内線: 7134)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考	
				国庫支出金	起債	その他	一般財源		
国際文化交流事業	10,260	7,513	2,747				10,260		
トータルコスト	14,144千円 (前年度 11,383千円) [正職員: 0.5人]								
主な業務内容	派遣団体への経費助成、関係者との連絡調整、派遣に係る各種調整・支援、派遣団随行、出品作品の輸送・展示等								
工程表の政策目標(指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化								
事業内容の説明									
1 事業の目的・概要									
本県の文化芸術の発信と相互理解、並びに参加団体の活動意欲と技術の向上を図るため、韓国江原道を始めとする環日本海諸国と、青少年及び県内文化団体の芸術文化交流を行う。									
2 主な事業内容									
区分	予算額	内 容							
鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業	3,176	鳥取県文化団体連合会(県文連)の加盟団体が、韓国江原道等海外の文化団体と交流を行う事業に対して助成し、芸術・文化を通じた国際理解及び文化交流を促進する。(補助率1/2)							
		鳥取県・韓国江原道舞台分野交流事業	実施主体	県文連加盟の舞台分野団体(5団体)					
			開催地	韓国江原道					
			事業内容	親善公演					
		第4回鳥取県・台湾台中市書道交流事業	実施主体	鳥取県書道連合会					
			開催地	台湾台中市					
事業内容	相互交流展示								
青少年による文化交流	5,569	台湾台中市で開催される「台中大甲媽祖国際観光フェスティバル」に本県の青少年を派遣し、伝統芸能等を披露するとともに、各地域の青少年と交流し相互理解を図る。							
		台中大甲媽祖国際観光フェスティバル	開催時期	3月下旬頃					
			開催地	台湾台中市内大甲鎮瀾宮ほか各箇所					
			参加者	世界各地の文化芸術団体等					
派遣人員	県内で伝統芸能の普及継承活動に取り組んでいる青少年の団体20名(予定)								
北東アジア地方政府サミット美術作品展	1,515	韓国江原道で開催される第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットに併せ開催される第17回北東アジア地方政府サミット美術作品展に本県の美術作家の作品を出展し、本県の文化芸術についての理解を深めていただくとともに、代表団を派遣し、各地域の美術家相互間の交流を促進する。							
		開催時期	平成27年サミット開催時						
		開催場所	韓国江原道						
		参加国	韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、鳥取県						
参加内容	○美術作品の出展 分 野: 日本画・洋画・書道等 出展数: 各地域15点(合計75点) ○代表団の派遣 人 数: 美術家2名、行政職員1名 派遣期間: 5泊6日								

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

文化政策課（内線：7133）

2 目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化功労賞 知事表彰	3,688	3,280	408				3,688	
トータルコスト	5,241千円（前年度 4,828千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	選定委員会の開催、表彰式の開催、作品展の企画運営、関係者との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	地域の持つ優れた芸術・文化資産の掘り起こし							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民文化の向上発展を図るため、優れた文化芸術活動により広く文化の振興に功績のあった方の功労をたたえて表彰するとともに、受賞者の作品展を開催し、その功績を広く県民に紹介する。</p> <p><表彰の対象></p> <p>表彰者は、芸術文化の各分野において顕著な功績をあげ、県民文化の向上発展に貢献した県民（県内に在住していた者を含む。）で、永年にわたり芸術文化活動に従事し、功績顕著な者。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 文化功労賞 3,404千円</p> <p>①表彰式</p> <p>日時：11月（予定、巡回展開催前もしくは巡回展開催初日）</p> <p>場所：知事公邸又は巡回展会場</p> <p>②巡回展</p> <p>県内3カ所程度の巡回展とし、県民へ受賞者とその功績・作品を紹介する。</p> <p>時期：12月下旬～2月（予定、各箇所1週間程度）</p> <p>場所：県内3ヶ所程度（東部、中部、西部各1箇所）</p> <p>(2) 知事賞の交付 284千円</p> <p>公募展などに交付する知事賞の表彰状及び副賞楯交付に係る経費</p>								

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 2 目 計画調査費

文化政策課（内線：7134）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県文化芸術振興審議会運営費	545	545	0				545	
トータルコスト	2,098千円（前年度 2,093千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	審議会の運営、審議会に必要な調査・資料作成、審議会委員との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 文化芸術の振興に関する事項を調査審議するため、鳥取県文化芸術振興条例に基づき設置した「鳥取県文化芸術振興審議会」を運営する。 開催回数：年4回程度 審議会委員：9人								
2 主な事業内容 審議会の開催に係る委員の旅費、報酬等 545千円								
鳥取県文化芸術事業評価事業	2,063	1,970	93				2,063	
トータルコスト	3,616千円（前年度 3,518千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	評価委員会開催、実地検証様式等の調整							
工程表の政策目標（指標）	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 県が実施又は助成する文化芸術事業において、良質な作品創造や県民の文化芸術事業への鑑賞、参加の機会の充実及び効率的な事業の運営方法の確立を図るため、評価委員会を設置し、事業評価を行う。								
2 主な事業内容 (1) 鳥取県文化芸術事業評価委員会を開催し、次に掲げる事項を実施する。 ①評価に係る実施方針の決定 ②評価項目の作成及び調整 ③評価報告書の作成、公表及び評価報告会の開催 ④評価対象事業における改善が必要な事項の指摘 ⑤被評価者が作成する改善計画の承認 (2) 評価委員 ・県民（県内在勤者を含む。）で、調査審議する事項に関し知識又は経験を有する者のうちから知事が任命する委員をもって構成する。 ・15名 (3) 評価対象事業 委員会と県が協議の上、次に掲げる事業のうちから選定する。 ①鳥取県総合芸術文化祭主催事業 ②鳥取県文化団体連合会加盟団体助成事業								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化 会館管理委託費	241,811	242,440	△629			(雑入) 16,200	225,611	
トータルコスト	244,141千円（前年度 244,762千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県民文化会館（とりぎん文化会館）の管理運営及び本県の文化振興を図るための事業の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：公益財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 <p>2 主な事業内容</p> <p>管理運営委託料 241,811千円 （参考）5か年分の委託料（上限額） 1,212,200千円</p>								
鳥取県立倉吉未来 中心管理委託費	97,629	97,629	0				97,629	
トータルコスト	99,959千円（前年度 99,951千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>倉吉未来中心の管理運営業務の実施を指定管理者に委託する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者：公益財団法人鳥取県文化振興財団 ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日 <p>2 主な事業内容</p> <p>管理運営委託料 97,629千円 （参考）5か年分の委託料（上限） 885,755千円 （うち県委託料 488,145千円）</p> <p>※ 委託料のうち、アトリウム等の管理等に要する経費及び利用料減免の補てんに要する経費は県、その他は県と倉吉市（中部市町）が1/2ずつ負担する。</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課(内線:7839)

2目 計画調査費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立県民文化会館等施設整備事業	224,505	197,660	26,845				224,505	
トータルコスト	229,164千円(前年度 202,303千円) [正職員:0.6人]							
主な業務内容	修繕等の発注、指定管理者との連絡調整、関係課との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
県民文化会館(とりぎん文化会館)及び倉吉未来中心の施設運営に必要な施設修繕、備品更新等に要する経費。								
2 主な事業内容								
(単位:千円)								
内 訳								予算額
県民文化会館(とりぎん文化会館)								
空調機更新								20,776
空調用インバーター更新								12,963
防犯設備更新工事								13,921
小ホール舞台床改修工事								30,636
小ホールトイレ改修工事								14,014
床カーペット張替工事								9,886
小ホール客席椅子修繕								840
催事案内板更新								14,945
絵画「旦」修繕								324
倉吉未来中心								
大・小ホール舞台照明調光卓更新								82,004
アトリウム及び坪庭防水修繕								24,196
合 計								224,505

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立童謡館管理委託費	118,819	118,712	107			(受託事業収入) 8,441	110,378	
トータルコスト	121,149千円（前年度 121,034千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払い、実績報告書の審査等							
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

童謡館の管理運営及び文化事業の実施を指定管理者に委託する。

- ・指定管理者：公益財団法人鳥取童謡・おもちゃ館
- ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日

2 主な事業内容

(1) 管理運営委託料 74,690千円

(参考)

5か年分の委託料（上限額）741,950千円（うち県委託料373,450千円）

※委託料は、文化事業費（童謡・唱歌に係る事業は県負担、おもちゃに係る事業は鳥取市負担）を除き、県と市で1/2ずつ負担する。

(2) 施設修繕

（単位：千円）

内 訳	予算額
木造教室等音響機器更新業務	9,338
鳥取の音楽家たちの部屋CD検索制御システム更新業務	7,640
ストリートオルガン制御システム更新業務	10,268
事務室系統空調設備改修工事	9,873
煙感知器取替工事	4,540
1階窓改修工事	2,470
合 計	44,129

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課（内線：7839）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源															
鳥取県立米子コンベンションセンター管理費	181,371	196,191	△14,820				181,371															
トータルコスト	184,477千円（前年度 199,287千円）[正職員：0.4人]																					
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等																					
工程表の政策目標(指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充																					
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 米子コンベンションセンターの管理運営を指定管理者に委託する。 ・指定管理者：公益財団法人とっとりコンベンションビューロー ・指定期間：平成26年4月1日～平成31年3月31日</p> <p>2 主な事業内容 (1) 管理運営委託料 129,549千円 (参考) 5か年分の委託料(上限額)991,295千円(うち県委託料 660,862千円) ※委託料の負担割合 県：米子市=2：1</p> <p>(2) 施設修繕 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 訳</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非常放送設備機器更新</td> <td style="text-align: right;">8,530</td> </tr> <tr> <td>建築物外壁劣化診断業務</td> <td style="text-align: right;">2,078</td> </tr> <tr> <td>自動制御設備更新</td> <td style="text-align: right;">21,472</td> </tr> <tr> <td>会議室音響設備更新</td> <td style="text-align: right;">9,492</td> </tr> <tr> <td>マトリックススイッチャー等デジタル化</td> <td style="text-align: right;">10,250</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">51,822</td> </tr> </tbody> </table>									内 訳	予算額	非常放送設備機器更新	8,530	建築物外壁劣化診断業務	2,078	自動制御設備更新	21,472	会議室音響設備更新	9,492	マトリックススイッチャー等デジタル化	10,250	合 計	51,822
内 訳	予算額																					
非常放送設備機器更新	8,530																					
建築物外壁劣化診断業務	2,078																					
自動制御設備更新	21,472																					
会議室音響設備更新	9,492																					
マトリックススイッチャー等デジタル化	10,250																					
合 計	51,822																					

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取県立米子コンベンションセンター床機構改修業務	債務負担 行為額 856,964 555	0	555				債務負担 行為額 856,964 555	
トータルコスト	2,885千円（前年度 0千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	指定管理者との連絡調整、関係者との連絡調整、関係書類の作成							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

米子コンベンションセンター多目的ホールの床機構の改修を行うため、平成27年度においては、当該改修業務の適切な設計・施工の内容、既存設備との調整・後日の保守点検等について検証する選定委員会を開催する。

2 主な事業内容

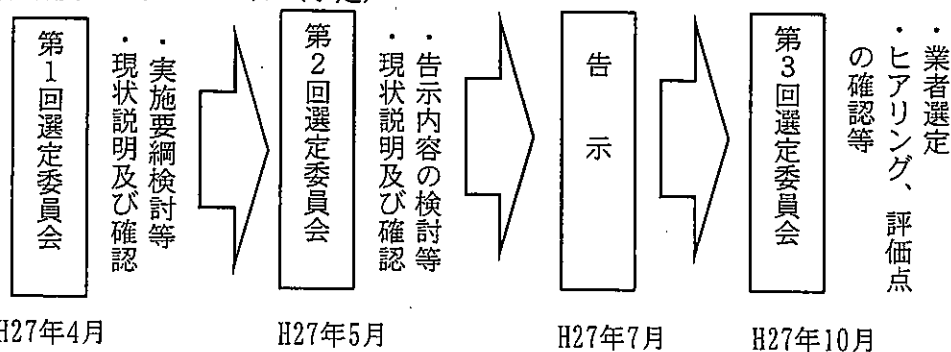
(1) 改修業務の概要

- ①工 期 平成27年11月～平成29年3月（予定）
現場作業期間 平成28年12月～平成29年3月（予定）
- ②場 所 米子コンベンションセンター多目的ホール
- ③内 容 多目的ホール床機構設備ジャッキの更新等

(2) 選定委員会の概要

本工事は、床機構設備のジャッキ等の更新であり、長期間にわたる保守・修繕等のコストを抑えていく必要があることから、選定委員会を開催する。

①主な業務及びスケジュール（予定）



②選定委員 5人程度

外部委員（専門家2，経済性1）、施設舞台担当者、県営繕課職員

(3) 平成27年度事業費（555千円）

報酬 81千円（選定委員謝金）

費用弁償 474千円（選定委員旅費）

(4) 債務負担行為額

限度額 856,964千円（平成28年度）

〔委託料 6,077千円（工事監理費）〕

〔工事請負費 850,887千円（工事費）〕

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

文化政策課 (内線: 7839)

2目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県立夢みなとタワー管理委託費	135,349	190,524	△55,175				135,349	
トータルコスト	136,902千円 (前年度 192,072千円) [正職員: 0.2人]							
主な業務内容	委託業務の適正な執行管理、指定管理者との連絡調整、委託料の支払、実績報告書の審査、修繕等の発注等							
工程表の政策目標 (指標)	県民が芸術・文化を発表する場や鑑賞する機会を拡充							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
夢みなとタワーの管理運営を指定管理者に委託する。								
・指定管理者: 一般財団法人鳥取県観光事業団								
・指定期間: 平成26年4月1日～平成31年3月31日								
2 主な事業内容								
(1) 管理運営委託料 113,286千円								
(参考) 5か年分の委託料 (上限額) 592,145千円								
(2) 施設修繕・備品更新等 (単位: 千円)								
				内 訳		予算額		
				ボードウオーク改修工事		9,273		
				監視カメラ機器設備更新、同設計委託		12,368		
				着ぐるみ購入		422		
				合計		22,063		
文化観光スポーツ局管理運営費	26,485	19,367	7,118			(収益事業収入) 2,413 (雑入) 7	24,065	
トータルコスト	64,256千円 (前年度 56,514千円) [正職員: 4.8人 非常勤職員: 1.0人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、文化観光スポーツ局業務の方針検討、負担金の支払い、予算・議会関係業務等							
工程表の政策目標 (指標)	アーティストや文化団体の活動を支援すると共に、芸術・文化活動を支援する者と連携して芸術・文化活動を活性化							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
(単位: 千円)								
事業名		事業内容					予算額	
一般財団法人地域創造負担金		一般財団法人地域創造の運営基盤を整備するため、宝くじの売上額に応じて財政的支援を行う。					2,413	
エンジン01文化戦略会議会費		知事が会員として参画するエンジン01文化戦略会議にかかる年会費。					30	
事務費等		非常勤職員の報酬、文化観光スポーツ局に係る事務費等。					24,042	
		合計					26,485	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
2目 計画調査費

文化政策課（内線：7839, 7134）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 鳥取発文学者魅力発見・発信事業	0	4,000	△4,000					
トータルコスト	0千円（前年度 6,322千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成26年度単年度事業として実施したため。								
(廃止)「第45回日展米子展」開催支援事業	0	3,000	△3,000					
トータルコスト	0千円（前年度 4,548千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成26年度単年度事業として実施したため。								
(廃止)唱歌「ふるさと」誕生100周年記念事業	0	6,700	△6,700					
トータルコスト	0千円（前年度 8,248千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成26年度単年度事業として実施したため。								
(廃止)永井幸次生誕140周年顕彰事業	0	2,000	△2,000					
トータルコスト	0千円（前年度 2,774千円）							
事業内容の説明 （廃止）平成26年度単年度事業として実施したため。								
(廃止)鳥取県立県民文化会館舞台床改修事業	0	105,894	△105,894					
トータルコスト	0千円（前年度 106,668千円）							
事業内容の説明 （廃止）事業が終了したため。								
(廃止)米子コンベンションセンター舞台音響設備改修工事	0	225,960	△225,960					
トータルコスト	0千円（前年度 228,282千円）							
事業内容の説明 （廃止）事業が終了したため。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

2目 計画調査費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中部振興活動費	3,000	3,000	0				3,000	
トータルコスト	8,436千円（前年度8,417千円）[正職員0.7人]							
主な業務内容	地域づくり団体・関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	鳥取中部広域観光ビジョンの推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中部圏域の地域振興を推進するため、文化観光、広域観光、三徳山世界遺産登録運動等について、地域住民及び地元自治体等と連携して取り組む。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 地域住民・団体による地域資源を活用した地域づくり活動との連携・支援（自然・歴史・文化・景観等）</p> <p>(2) 鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業等、文化振興の推進</p> <p>(3) 広域観光の推進等による国内外からの誘客推進</p> <p>(4) ウォーキングを活用した地域づくり</p> <p>(5) 三徳山世界遺産登録運動の推進 など</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 鳥取力創造運動や鳥取県総合芸術文化祭（とりアート）中部地区事業とも連携して、各種地域活動との連携・支援を実施した。 鳥取中部ふるさと広域連合との連携強化や、とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会への参画等を通して、中部圏域全体の広域観光取組を推進した。 ウォーキングを通じた誘客を目指して、鳥取中部ウォーキングリゾート推進協議会を設立し、地域全体の取組を推進した。 三徳山の世界遺産登録に向けて、推進協議会の情報発信部会の事務局を担い、広報・啓発・地域活動の支援等を推進した。 								

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
2 項 企画費
1 目 企画総務費

交流推進課（内線：7030）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）ブラジル県人会館設立20周年記念事業	6,024	0	6,024				6,024	
トータルコスト	8,354千円（前年度 0千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	訪問団派遣準備、補助金事務 等							
工程表の政策目標(指標)	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次世代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>ブラジル鳥取県人会の活動の拠点となっている「ブラジルー鳥取交流センター」（通称、ブラジル県人会館）が設立20周年を迎えることから、県人会主催の記念式典に訪問団を派遣し、県人会との交流を深めるとともに県人会活動の支援を行う。</p> <p>○ブラジルー鳥取交流センター設立20周年記念式典</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 平成27年11月8日（日） ・場 所 ブラジルー鳥取交流センター（ブラジル・サンパウロ市） ・内 容 記念式典、県人会との意見交換 等 ・主 催 ブラジル鳥取県人会 <p>※ 併せて、鳥取県に留学生を派遣する県費留学生制度の創設50周年記念式も実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) ブラジルへの訪問団派遣（5,024千円）</p> <p>ブラジル鳥取県人会が開催するブラジルー鳥取交流センター設立20周年記念式典へ、祝意を表すため県から訪問団（4名程度）を派遣する。</p> <p>(2) ブラジルー鳥取交流センター設立20周年等記念事業への支援（1,000千円）</p> <p>ブラジル鳥取県人会が開催する記念式典に係る経費やブラジルー鳥取交流センターの修繕等に係る経費の一部を支援する。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○ブラジル鳥取県人会は380家族を数え、ブラジル県人会館を拠点として定期的なイベントや日本語講座等各種教養講座を毎日開催するなど、活発に活動されている。その成果として、じゃんしゃん傘踊りが、南米で日本を代表する踊りとして認識されるなど、鳥取県の知名度向上につながっている。</p> <p>○現在、ブラジルの日系人社会は3世、4世の時代となり、日本語を使う機会が減り、日本とのつながりを意識する機会が減少しつつある。県人会は、今後、日本語や日本文化に関する講座を強化するなど、一層の活動強化を図りたいと考えている。</p> <p>○母県として、県人会活動の活性化や留学生等の受入を通じた次世代会員の人材育成を支援することにより、今後の県とブラジルとの交流を深化させていく。</p> <p>【参考】ブラジルー鳥取交流センターの概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 所在地 ブラジル・サンパウロ市 2 設立年月日 平成7年11月19日（竣工日） 3 敷地面積等 841㎡、地上2階・地階1階の建物 4 事業費 80,078千円 5 活用内容 センターは、ブラジル鳥取県人会の拠点施設として会員相互の交流の場となっており、定期的なイベントや日本語講座などの各種教養講座が開催されている。 								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7843)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット参加事業	1,250	1,250	0				1,250	
トータルコスト	10,568千円 (前年度 10,537千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	会議参加に係る企画・立案、開催地域等との連絡調整、資料作成・通訳等							
工程表の政策目標 (指標)	北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットなど、広域的な地域間の交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県と本県の友好交流先である韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方及びモンゴル中央県の首長が一堂に会し、各地域の共同発展、繁栄を話し合うため、韓国江原道で開催される「第20回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に鳥取県代表団を派遣する。								
2 主な事業内容 (1) 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットへの参加 (10月中旬・江原道開催) (2) 実務代表者会議 (サミット事前準備会合) への参加 (6月上旬・江原道開催)								
3 これまでの取組状況、改善点 これまでのサミットの合意により、経済協議会、環境保護機関実務者協議会、大学教授協議会、マスコミ代表者会議が設立された。さらに、環日本海定期貨客船航路、米子ソウル便の利用促進に対する相互協力等の合意がなされるなど、各分野での相互連携の契機となっている。 地域の特徴を活かした観光発展、北東アジア地域の交通網の維持・発展等の具体的な取組を一層推進する。								
事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 第21回環日本海拠点都市会議開催支援事業	3,215	0	3,215				3,215	
トータルコスト	3,992千円 (前年度 0千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	会議開催への協力、補助金業務							
工程表の政策目標 (指標)	北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットなど、広域的な地域間の交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 環日本海圏域都市の首長が一堂に会し交流と発展について話し合う「第21回環日本海拠点都市会議」が境港市で開催されることから、広域的な地域間交流と経済振興のため県としても支援を行う。								
2 主な事業内容 (1) 会議概要 (予定): ・期日・場所 平成27年8月下旬 (4日間) 夢みなとタワー ・参加都市 日本 (主催) 境港市、(共催) 鳥取市・米子市 韓国 慶尚北道浦項市、江原道東海市・束草市 中国 吉林省琿春市・延吉市・図們市 ロシア 沿海地方ウラジオストク市・ナホトカ市・ハサン区 (2) 負担割合: 境港市1/3・鳥取市及び米子市1/3・県1/3 (3) 補助額: 3,215千円 (補助率1/3)								
3 これまでの取組状況、改善点 3市との調整により、経費負担の見直しを行った。 (第11回 (平成17年) 境港市開催時) 同時通訳経費の1/2: 米子市、その他の経費の1/2: 県 (3,379千円) ※鳥取市はオブザーバー参加								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7240）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 友好交流地域とのスポーツ交流事業	3,224	0	3,224				3,224	
トータルコスト	5,554千円（前年度 0千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、来県者随行・通訳等							
工程表の政策目標(指標)	境港、米子空港等を東アジア地域との交流の拠点とし、環日本海地域を中心として、経済・ビジネス活動、文化、青少年、地域活動、スポーツ、研究、大学等の多様な分野でグローバルな幅広い交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
第19回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの合意事項に基づき、韓国江原道、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県との交流を更に進めるため、各地域で開催されるスポーツイベントへの参加、青少年のスポーツ交流を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 友好交流地域が開催する国際スポーツ大会への相互派遣（1,464千円） ・マラソンなどのスポーツ交流（場所：鳥取県等、時期：秋、春頃、3名程度）								
(2) 3地域（鳥取県、江原道、沿海地方）青少年スポーツ交流事業（1,760千円） ・バドミントン、テニスのスポーツ交流（場所：沿海地方、時期：7月初旬、15名程度）								
3 これまでの取組状況、改善点								
北東アジア地域において国際的なスポーツイベントが続くことから、スポーツを切り口とした地域振興や青少年交流に積極的に取り組んでいく必要がある。								
ロシア極東地域交流推進事業	3,965	3,965	0				3,965	
トータルコスト	20,272千円（前年度20,217千円） [正職員：2.1人]							
主な業務内容	関係地域との連絡調整、交流事業の企画・立案、来県者随行・通訳等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるよう、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
ロシア極東地域における本県の認知度を高め、友好交流関係を発展させるため、「青少年交流」、「交流地域での鳥取県PR」、「県民向けのロシア紹介」を柱とする取組を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 青少年交流（2,000千円）								
ロシア極東地域文化交流団の鳥取県訪問				6月頃	10名程度			
鳥取県環境交流団のロシア沿海地方訪問				7月頃	15名程度			
ロシア極東地域スポーツ交流団の鳥取県訪問				8月頃	10名程度			
ロシア極東地域日本語履修者交流団の鳥取県訪問				10月頃	8名程度			
(2) 交流地域での鳥取県PR（1,365千円） 第6回鳥取県文化デイズ（時期：3月頃、場所：沿海地方ウラジオストク市）								
(3) 県民向けのロシア紹介（600千円） 国際交流員によるロシア講座（ロシアの歴史・文化等の紹介、ロシア料理・手芸体験等）								
3 これまでの取組状況、改善点								
ロシア極東地域において様々な分野の交流事業等を実施したことにより、鳥取県の認知度は高くなっており、この状態を維持・発展しつつ、更なる関係強化が必要である。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7840）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
韓国交流推進事業	7,395	10,316	△2,921				7,395	
トータルコスト	24,478千円（前年度 27,342千円）[正職員：2.2人]							
主な業務内容	韓国（江原道）との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
韓国（江原道）との交流を推進するため、鳥取県及び江原道職員の相互派遣等を通じた様々な分野における情報交換や江陵国際青少年芸術祝典への青少年団の派遣等を行う。併せて、琴浦町の日韓友好資料館の展示運営を支援するとともに、韓国語発表大会を開催する。								
2 主な事業内容								
	内容	時期	予算					
	江原道職員（1名）の受入や交流協議団の相互派遣等	年間	3,587千円					
	江陵青少年芸術祝典への青少年団（16名）の派遣	5月初旬	1,978千円					
	琴浦町日韓友好資料館企画運営委員会への助成（琴浦町と同額負担）	年間	804千円					
	「話してみよう韓国語」鳥取大会開催（鳥取県国際交流財団へ委託）	12月頃	1,026千円					
3 これまでの取組状況、改善点								
○鳥取県と江原道間の相互理解、人的ネットワークの構築に寄与しているが、今後も良好な友好関係を維持し、更に深化させていく必要がある。								
事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中国交流推進事業	2,565	1,039	1,526				2,565	
トータルコスト	8,777千円（前年度 5,682千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	河北省及び吉林省との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
○吉林省との交流を強化するため、県内大学生を吉林省内の大学に派遣し、中国語の学習、文化体験、現地学生との交流事業を実施する。								
○河北省との交流を推進するため、グラウンド・ゴルフの専門家派遣と交流団受入れを行う。								
2 主な事業内容								
	内容	時期	人数	予算				
	吉林省青少年交流事業＜派遣＞	8月頃	10名程度	1,977千円				
	グラウンド・ゴルフ交流＜専門家派遣・受入＞他	9月、11月頃	2名、5名程度	588千円				
3 これまでの取組状況、改善点								
○吉林省とは1994年に友好交流の覚書を交わして以来、人的交流と経済交流を核とした交流を進めており、今後は特に次代の交流を担う人材育成に取り組む必要がある。								
○河北省とは1986年に友好県省の協定書を交わし、「友好都市卓球交歓大会」に毎回合同チームを結成して参加するなど、青少年スポーツ交流を行ってきた。今後は観光分野など目的・成果を一層明確にしながら取り組む必要がある。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課 (内線：7122)
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
モンゴル中央県交流推進事業	4,838	4,621	217			(雑入) 1,555	3,283	
トータルコスト	11,050千円(前年度 10,812千円) [正職員：0.8人]							
主な業務内容	モンゴル中央県との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、来県者の随行・通訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
モンゴル中央県との協力関係を発展させるため、農業技術研修員の受入、農業専門家の派遣、また平成26年度に創設した奨学金制度により中央県出身者の県内大学への留学を支援するとともに、医療専門家を当地に派遣する等の医療交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
内容				時期	人数	予算		
【新規】中央県医療専門家派遣事業				9月頃	5名程度	1,555千円		
農業研修員受入				10月頃	1名	282千円		
農業専門家派遣				7月頃	1名	601千円		
行政実務研修生受入				12月頃	3名	460千円		
中央県からの留学生への奨学金				-	1名	1,940千円		
3 これまでの取組状況、改善点								
モンゴル中央県とは平成9(1997)年に友好交流の覚書に調印し、鳥取県モンゴル中央県親善協会等の民間団体や医療機関と協力しながら、青少年、農業、医療分野などの交流を深めてきた。平成27年度は新たな医療協力として歯科衛生士等を派遣し、虫歯予防の指導等を実施する。								
事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
台湾交流推進事業	3,846	4,014	△168				3,846	
トータルコスト	18,600千円(前年度 7,884千円) [正職員：1.9人]							
主な業務内容	台湾との連絡調整、交流事業の企画・立案、資料翻訳、関係部署との連絡調整、交流事業を行う民間団体支援、来県者随行、通訳等							
工程表の政策目標(指標)	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
台湾台中市との交流を促進するため、中学生サマースクール団の受入、芸能団の派遣を行う。また、台湾で日本語を履修する大学生を対象に、県内宿泊施設での職場体験を実施する。								
2 主な事業内容								
内容				時期	人数	予算		
海外大学生インターンシップ受入れ				7月頃	30名程度	996千円		
台中市サマースクール団受入れ(隔年相互派遣)				8月頃	20名程度	60千円		
台中市への芸能団派遣(ランタンフェスティバル公演)				2月頃	12名程度	1,490千円		
台中市への交流協議団派遣ほか				-	-	1,300千円		
3 これまでの取組状況、改善点								
梨穂木の取引を縁に始まった台中県との交流は、台中市となった以降も芸能団派遣や青少年の相互派遣が継続して実施され、本県の知名度向上と相互理解の深化に繋がっている。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7030)

1.目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ブラジル交流促進事業	12,641	12,960	△319				12,641	
トータルコスト	24,289千円 (前年度 24,569千円) [正職員: 1.5人]							
主な業務内容	研修員・留学生受入に係る連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務、ブラジルにおける日本語指導・地域での交流活動、日本語指導員の派遣等							
工程表の政策目標 (指標)	ブラジルとの交流について、若い世代を中心とした交流活動の実施を通じて次世代の交流を担う人材を育て、ブラジル県人会との民間交流の活性化を図る。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 母県とブラジル鳥取県人会との今後の交流の継続・発展及び更なる民間交流の促進を図るため、各種の交流事業を実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 技術研修員・留学生受入事業 (8,249千円) ブラジルに在住する鳥取県出身者の子弟に対し、本県における技術研修、修学の場を設け、交流を推進するとともに、ブラジルでの社会的・文化的・経済的地位の向上を図る。(研修員1名、留学生1名)								
(2) 中堅リーダー交流 (受入)、日本語指導員派遣事業 (4,392千円) ・ブラジルから中堅リーダーを受入れ、民間主体による自立した交流の活性化を図る(2名)。 ・第二アリアンサ鳥取村へ日本語指導員(教員1名)を派遣し、ブラジルとの交流推進を図る。								
3 これまでの取組状況、改善点								
○留学生・研修生には専門的な知識・技術を学ぶことはもとより、日本語・日本文化を学ぶ機会にもなっており帰国後のブラジル移住者の地位向上に貢献している。								
○各事業とも世代交代が進む県人会の活動を活性化させるものとして、関係者からの評価も高い。								
国内交流推進事業	3,905	3,905	0				3,905	
トータルコスト	7,011千円 (前年度 7,001千円) [正職員: 0.4人]							
主な業務内容	市町村等が実施する国内交流事業等への人的支援や助言、補助金業務							
工程表の政策目標 (指標)	市町村と連携した国内交流の推進、タイを中心とした東南アジアとのネットワーク構築等を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 交流人口の増加及び地域の活性化を図るため、全国各地の鳥取県とゆかりのある地域等と県内の市町村や民間団体との交流を推進する。								
2 主な事業内容								
国内交流トライアル補助金 3,500千円 (最大2年間支援可能)								
対象事業	市町村や民間団体が新たに行う国内交流事業(既存の交流分野の拡大を含む)							
事業実施主体	県内市町村(複数市町村による連携含む)及び民間団体							
補助率	1/2 (上限額500千円)							
補助対象経費	事業を実施するため必要な経費(旅費、謝金、委託料、使用料等)							
3 これまでの取組状況、改善点								
○国内交流トライアル補助金による新規の国内交流の支援により、市町村等での新たな交流の動きもあり、引き続き、市町村等と連携した国内交流支援の強化を図る。								
○平成26年度は5団体を支援した。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費
 2 項 企画費
 1 目 企画総務費

交流推進課（内線：7122）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自治体職員協力交流事業	7,253	7,057	196				7,253	
トータルコスト	8,806千円（前年度 8,605千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	行政研修員受入に係る研修機関等との連絡調整、受入業務の委託団体との契約事務等							
工程表の政策目標（指標）	双方がお互いの国のことをよく理解し、信頼関係を構築・強化して、地域づくり、人材育成等につながるような、奥が深く、継続性のある交流を推進する。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 本県の友好交流先及び海外拠点（東南アジアビューロー）設置地域との関係を強化するため、中国吉林省、タイ王国バンコク都の職員を研修員として受け入れる。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 受入人数：2名（予定：中国吉林省1名、タイ王国バンコク都1名） (2) 受入時期：5月下旬に来日し、全国市町村国際文化研修所で約1ヶ月の日本語研修。 その後、6月下旬に来県してから翌年3月中旬の帰国まで、県庁等で専門研修。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 ○平成8（1996）年から受け入れを開始し、中国吉林省、韓国江原道からの研修員を中心に現在までに計29名を受け入れている。（内訳：吉林省15名、江原道10名、その他4名） ○研修員は帰国後も、本県と派遣元地域との交流を継続し、深めていくうえで欠かせない人材となっている。 ○平成27年度は、新たにタイ王国からの研修員受け入れを調整中である。</p>								
国際交流員等活用事業	72,008	67,862	4,146			(雑入) 272	71,736	
トータルコスト	77,444千円（前年度 73,279千円） [正職員：0.7人、非常勤職員：14.0人]							
主な業務内容	国際交流員の雇用、民間国際交流事業への派遣、研修の企画実施等							
工程表の政策目標（指標）	多文化共生社会の実現に向けて、国際交流財団の取組を支援し、県として取り組むべき課題に取り組んでいく。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 JETプログラム（外国青年招致事業）によって招致する国際交流員及び県独自の採用による国際交流員を配置し、地域レベルの国際交流の進展を図り、もって地域の国際化を促進する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 14名の国際交流員を配置し、交流地域との間の交流事業において通訳、翻訳、連絡調整等を行うとともに、小学校、公民館等の要請を受けて国際理解講座等を実施し、地域住民の国際理解の推進を図る。 (2) 県内に配置された国際交流員、外国語指導助手を対象に、県主催で新規来日者説明会、中間研修、通訳・翻訳研修（国際交流員のみ対象）などの研修を実施し、参加者の能力向上や業務の円滑化を図る。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 県事業の各方面で英語の必要性が増していることを受け、平成27年度は英語圏の国際交流員を1名増員して2名体制とする。</p> <p>〈国際交流員の地域別内訳〉 韓国5名、中国2名、ロシア2名、モンゴル1名、英語圏2名（1名増）、台湾2名 計14名（1名増）</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
1目 企画総務費

交流推進課 (内線: 7108)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県国際交流財団助成事業	50,125	48,308	1,817				50,125	
トータルコスト	54,784千円 (前年度 52,951千円) [正職員: 0.6人]							
主な業務内容	補助金の審査・交付・検査、各補助事業への助言等							
工程表の政策目標 (指標)	多文化共生社会の実現に向けて、県内の在住外国人をサポートする県国際交流財団の活動を支援するとともに、地域の国際理解の推進などに取り組む。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 本県における国際交流推進の基盤づくりと国際交流活動の支援を行うため、公益財団法人鳥取県国際交流財団が実施する各種事業に対して助成を行う。								
2 主な事業内容								
(1) 公益財団法人鳥取県国際交流財団への助成 (49,325千円) (補助率1/2 (一部10/10))								
事業名	補助額	内 容						
① 多言語情報発信事業	1,218千円	ホームページ運営・メールマガジン配信等						
② コミュニケーション支援事業	6,644千円	日本語クラス、専門通訳派遣、在住外国人の生活支援等						
③ 人材の育成事業	410千円	専門通訳ボランティア等人材のスキルアップ支援等						
④ ボランティア活動の推進と活性化事業	119千円	ホームステイ受入れ支援等						
⑤ 県民の国際理解推進事業	10,306千円	在住外国人と地域住民の相互交流促進等						
⑥ 私費留学生奨学金の支給	3,632千円	私費留学生への奨学金支給						
⑦ 事務所費、運営費	26,996千円	事務所運営、職員人件費等経費						
【主な改正内容】県民の国際理解促進事業: 多文化共生のまちづくりについて考えるフォーラム (新規) 等								
(2) 事務費 (800千円)								
3 これまでの取組状況、改善点 在住外国人及び県民の国際交流等を支援するため、鳥取県国際交流財団とともに市町村等関係機関と意見交換を行いながら、多文化共生に向けた取組を強化している。								
交流ネットワーク活用事業	17,511	16,131	1,380			収益事業収入 6,000	11,511	
トータルコスト	21,394千円 (前年度 18,453千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	海外へ向けた情報提供業務の委託、東南アジアとの交流、国内、海外県人会との連絡調整等							
工程表の政策目標 (指標)	市町村と連携した国内交流の推進、タイを中心とした東南アジアとのネットワーク構築等を進める。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 鳥取県とゆかりのある交流組織等を活用し、鳥取県情報の発信を行い、交流の活発化を図る。								
2 主な事業内容								
(1) 世界とっとりファンクラブ会員等への情報提供等委託 (1,000千円) 会員 (国際交流員等で県内に滞在した外国人) へ鳥取県の情報を提供し、鳥取県をPRする。								
(2) 鳥取県タイ王国スマイルサポーター育成事業 (1,380千円) ※東アジア多地域連携交流事業から組替え タイの大学生等を招致し、県内大学生との交流、県内産業の視察等を行い鳥取県のサポーターを育成する。								
(3) 県外県人会等との協働による情報発信 (561千円) : 県人会の各種催事に参加し、活動支援を行う。								
(4) (一財) 自治体国際化協会の分担金 (6,000千円) 海外共同事務所運営費用等に係る分担金を負担する。								
(5) 海外県人会助成事業 (1,000千円) (補助率10/10) : 海外の3つの県人会の活動に対し助成を行う。								
(6) 青少年国際協力支援事業 (720千円) (補助率10/10) 青年海外協力隊鳥取県OV会が開催する帰国報告会の開催等に助成を行う。								
(7) 事務費 (6,850千円)								
3 これまでの取組状況、改善点 各県人会総会へ出席し、鳥取県の情報発信を行い、ふるさと納税などへの協力を依頼している。 また、県人会、ファンクラブ各会員、タイ王国スマイルサポーターには口コミやSNS等で鳥取県の情報を広くPRしていただいている。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7108)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
パスポート発給事務費	30,201	30,201	0			(手数料) 23,000	7,201	
トータルコスト	44,178千円 (前年度 44,131千円) [正職員: 1.8人]							
主な業務内容	旅券に係る申請受付・審査・作成及び交付等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>旅券法に基づく法定受託事務である旅券の申請受理、作成及び交付に関する事務を行うとともに、事務の一部を民間に委託する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>県庁・中部総合事務所・西部総合事務所及び権限移譲をしている倉吉市役所・境港市役所・日南町役場・日野町役場・江府町役場の8箇所窓口を設け、県民からの一般旅券申請の受理、審査、作成及び交付を行う。</p> <p>◆委託業務の概要(28,701千円)</p> <p>①委託対象業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電話案内、申請・交付窓口業務(県庁・中部総合事務所・西部総合事務所) ○旅券作成業務(全窓口分) <p>②委託期間</p> <p>平成25年4月1日から5年間(平成25~29年度)</p> <p>※参考: 委託対象外業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅券作成の最終審査業務 ○慎重かつ迅速かつ適正な対応が特に必要とされる高度な業務(判断困難事案、緊急発給事案、不正取得防止対応)等 <p>◆事務費(1,500千円)</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>より住民利便の向上を図ることができるよう、平成22年度は日野郡3町へ、平成23年度は境港市へ、平成24年度は倉吉市へ権限移譲(窓口の設置、一次審査等)を実施した。</p> <p>《参考》平成25年度パスポート発給実績(県内計: 9,879件)</p> <p>県庁4,437件、中部1,318件、西部3,414件、 倉吉市139件、境港市482件、日南町36件、日野町36件、江府町17件</p>								
国際関係調整費	18,359	18,762	△403				18,359	
トータルコスト	33,889千円 (前年度 34,240千円) [正職員: 2.0人]							
主な業務内容	各国からの訪問に係る関係機関・関係部署等との連絡調整、受入資料の作成、訪問団等の受入、課内外の業務の連絡調整、課内業務の総括等							
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>北東アジア地域等への各種訪問団派遣及び各国からの各種訪問団の受入等に機動的に対応するための経費である。(主に事務費)</p> <p>2 これまでの取組状況、改善点</p> <p>予算計上のない臨時的な交流事業に対しても、迅速かつ機動的に対応することができ、友好交流地域との更なる友好増進に寄与している。</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課 (内線: 7108)

1目 企画総務費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 江原道・吉林省友好交流20周年記念事業	0	24,826	△24,826					
トータルコスト	0円 (前年度 29,470千円) [正職員: 0人]							
事業内容の説明								
(廃止) 平成26年度単年度事業として実施したため。								
(廃止) 東アジア多地域連携交流事業	0	3,829	△3,829					
トータルコスト	0円 (前年度 17,759千円) [正職員: 0人]							
事業内容の説明								
(廃止) 次のとおり事業を組み替えて実施する。								
事業名				組み替え先				
① 青少年スポーツ交流事業				友好交流地域とのスポーツ交流事業				
② 海外大学生インターンシップ受入事業				台湾交流推進事業				
③ タイ王国鳥取県サポーター育成事業				交流ネットワーク活用事業				

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

3目 交通対策費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国内航空便利用対策促進事業	59,700	61,000	△1,300				59,700	
トータルコスト	67,465千円（前年度 64,095千円）[正職員：1.0人]							
主な業務内容	県内航空路線を活用した県外からの観光客誘客促進							
工程表の政策目標(指標)	鳥取・米子両空港、県内外の鉄道及び高速道路ネットワークを活用し、近隣県の観光資源と連携した周遊ルートの造成や、マンガ関係施設を巡る旅行等のテーマを設定した広域的な周遊ルートの造成等により、観光客の増加を目指します。							

事業内容の説明

1 事業の目的

「鳥取砂丘コナン空港」の誕生などを契機に、首都圏等を対象とした路線及び観光PRを実施し、鳥取県内航空路線を利用した県外観光客の誘致促進を図る。

2 主な事業内容

区分	内容
旅行社と連携した観光情報発信	・旅行社店頭での観光誘客キャンペーン ・旅行社と連携した鳥取県路線・観光キャンペーン情報のウェブ、店頭での発信（2社程度想定）
テレビを活用した誘客観光情報発信	・テレビ局とタイアップした鳥取県観光情報発信（3回程度）
新聞広告での観光情報発信	・路線広告等新聞を活用した鳥取県観光情報発信（3回程度）
雑誌での観光情報発信	・全国紙、ローカル紙での鳥取県観光情報発信（2誌程度）
観光キャラバンの実施	・首都圏の空港・ショッピングモール等集客の見込める施設での鳥取県観光情報発信イベントの実施
国内線を活用した海外からの誘客促進	・羽田空港乗り継ぎ等による海外からの観光誘客のための情報発信（アジア、欧米などからの首都圏乗り継ぎでの誘客促進）
ウェブ旅行社連携による誘客促進	・大手宿泊予約サイト運営会社と連携した、個人旅行客取り込みのための鳥取県観光情報発信（四半期ごとにターゲットを絞った誘客を展開）

3 これまでの取組状況、改善点

平成26年度においても、複数の就航先でメディアミックスによる観光情報発信を展開し誘客促進を図ってきた。平成27年度においては国内外に誇るまんが・アニメの名を冠した2空港（鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港）を大いに活用して、メディアミックスによる観光キャンペーン等観光情報の発信を展開し、更なる誘客促進を図る。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7221)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際航空便就航促進事業	40,716	43,900	△3,184				40,716	
トータルコスト	50,811千円 (前年度53,961千円) [正職員: 1.3人]							
主な業務内容	国際航空路線の誘致活動の実施など							
工程表の政策目標(指標)	チャーター便の促進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

海外との交流人口を増大させ、本県の一層の発展を図っていくことを目指し、東アジア地域等の国際チャーター便を引き続き積極的に誘致するため、ツアーや着陸料等の支援のほか、本県の観光素材のPRを行うとともに、積極的な誘致活動に取り組む。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区 分	予算額	内 容			
「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援	31,566	区 分	インバウンドチャーター	アウトバウンドチャーター	
		対 象	航空会社	旅行会社	
		支援条件	・東アジア地域等から県内空港へのインバウンドチャーター ・県内宿泊施設で1泊以上宿泊	旅行会社	県内空港発着のアウトバウンドチャーター便を利用したツアー
		支援内容	着陸料等 3/4 支援	ツアー客1名につき	5,000円
		限度額	着陸1離着陸当たり 20万円	チャーター1機当たり 100万円	チャーター1機当たり ・座席数 200 席未満 50万円 ・座席数 200 席以上 100万円
		〈連続チャーターへの追加支援〉 ・支援条件: 1か月3離着陸以上運航 ・支援内容: 空港ビル使用料 10/10 支援 ・限度額: 1離着陸 13万円、1か月 100万円			
		支援方法	観光誘客促進団体等を通じて支援		空港利用促進懇話会を通じて支援
		計		25,066千円	6,500千円
グリーンツアージェット委託事業	9,000	季節チャーター便として連続3離着陸以上の運航を行う航空会社及び同企画に併せて本県の観光素材を活用した商品を造成する旅行会社と協働して、本県の魅力を国外にPRする。 〈支援目安: 上限1,500千円/社×3企画×2(航空会社・旅行会社)〉			
チャーター便誘致に向けた取組	150	・空港サポート通訳業務 150千円			
計	40,716				

3 これまでの取組状況、改善点

積極的かつ継続的なエアポートセールスにより、東アジア周辺からのチャーター便の就航促進を積極的に進め、香港からの夏の大規模連続チャーター便に加え、台湾からのチャーター便も増加した。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費
2項 企画費
3目 交通対策費

観光戦略課 (内線: 7221)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
米子空港国際定期航路利用促進対策費	債務負担 行為額 142,406 81,203	86,793	△5,590				債務負担 行為額 142,406 81,203	
トータルコスト	95,180千円 (前年度100,723千円) [正職員: 1.8人]							
主な業務内容	アジアナ航空・韓国観光公社等関係機関との連絡・調整、山陰国際観光協議会業務ほか							
工程表の政策目標(指標)	米子ソウル国際定期便の自立・発展							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

山陰唯一の国際定期航空路線である米子-ソウル便の安定運航を図るため、同便を運航するアジアナ航空に対して、米子空港の着陸料、施設使用料等の経費を支援する。あわせて山陰両県の官民69団体で組織する山陰国際観光協議会の一員として同便の利用を促進する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
(1) アジアナ航空 に対する支援	71,203 (債務負担行為額 平成28年度 71,203 平成29年度 71,203)	○補助対象経費 ・着陸料、保安料、航行援助施設利用料 (3/4) ・空港ビル施設使用料 (10/10) ※ () 内は補助率
(2) 山陰国際観光 協議会負担金	10,000	○国際定期航路利用促進事業 (日本から韓国への利用促進対策) 全体事業費 30,000 (内訳: 鳥取県10,000、市町村等20,000) ・団体旅行支援 ・パスポート取得支援 ・修学旅行貸切バス支援 ・商品造成支援、情報発信、広報
合計	81,203	

3 これまでの取組状況、改善点

島根県とも連携しつつ、新規商品造成、TV番組とのタイアップ、会員拡大などに取り組んだ結果、円安の影響も加わり平成27年1月の搭乗率が約3年半ぶりに70%を超えたが、国際情勢などにより状況が大きく変化する可能性もあり、今後も引き続き対策が必要な状況である。

(直近の搭乗率 1月76.7% 12月53.8% 11月45.0%)

年間約5.6億円(平成25年)の経済波及効果を生み出していること、当県と韓国との交流に寄与していること等を踏まえ、見直しをしつつ運航支援は継続させたい。

[参考] 平成25年米子ソウル便搭乗外国人による経済波及効果 (JTB総研算出)

総消費額 482,949千円

経済波及効果 559,997千円 (暫定値)

米子ソウル便利用実績 (平成26年4月~平成26年12月)

提供座席数	搭乗座席数	搭乗座席数の内訳			搭乗率
		日本人	韓国人	その他	
(38,848席)	(18,185席)	(9,758席)	(8,033席)	(394席)	(46.8%)
38,990席	19,550席	6,785席	12,298席	467席	50.1%

※ () は前年実績

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

1項 商業費

3目 金融対策費

観光戦略課 (内線: 7421)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光開発促進資金融資制度	20,524	22,776	△2,252			(貸付金元利収入) 20,524		
トータルコスト	20,524千円 (前年度 22,776千円) [正職員: 0.0人]							
主な業務内容	市町村、事業者、金融機関との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>観光振興を図るため、県内で観光・レクリエーション等の用に供する施設整備を行う中小企業に対し、その必要な資金の一部を融資する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>金融機関に対し資金を融資することで、企業に低利の貸付を実施する。</p> <p>・貸付金 20,524千円</p> <p>※ 平成18年度以降の新規融資については、鳥取県企業自立サポート事業「企業自立化支援資金(経済通商総室)」に移行しており、本事業分は既融資分(5件)に係る経費である。</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費（総合事務所分は地方機関計上予算）

観光戦略課（内線：7239）
 中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）
 西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツツーリズム推進事業	120,997	73,100	47,897			(雑入) 10 (基金繰入金) 42,868	78,119	
トータルコスト	140,411千円（前年度85,483千円） [正職員：2.5人、非常勤職員：1.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明 【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

山・川・湖・里・海といった日本の原風景の中に数多くの温泉や貴重な歴史文化遺産などが点在し、四季折々の食材にも恵まれた鳥取特有の風土を活かし、これらの魅力と同時に各種アウトドアスポーツを楽しめる環境づくりと海外・県外からの誘客を戦略的に進め、「スポーツリゾートとっとり」のブランド化を図りつつ新たな鳥取ファン獲得を目指す。

2 主な事業内容

【Ⅰ（新）新たな旅のスタイル「ジャパンエコトラック」推進事業 44,300千円（観光戦略課）】

ジャパンエコトラック推進協議会が提唱、創設する自然を満喫する新しい旅のスタイル「ジャパンエコトラック」において、第1号認定を受けた本県ルート（境港～皆生～大山）への一層の誘客を図るため、国内外に向けた当該ルートの魅力発信及び案内標示の整備等に取り組む。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
国内外への情報発信などソフト面の取組		
ガイドマップの作成・配布	6,000	・認定コースや沿線の協力店など観光情報を掲載したガイドマップ（外国語版含む）を国内外へ配布。
アウトドア専門誌等を活用した情報発信	7,800	・主なターゲットとなるアウトドア愛好家にダイレクトに情報発信。（日本、韓国、台湾）
第1号認定ルート内覧試走会	3,000	・第1号認定ルートを国内外に広く情報発信するため、マスコミ等を招請したルート試走会を実施。
協力店の拡大、充実	2,000	・ツーリストの休憩所、優待特典の提供等の取組に賛同する店舗等にバイクスタンド、修理工具等を設置。
サイクルトレインの試行	2,000	・他の交通機関と自転車との乗り換えができる環境整備に向けたサイクルトレインの試行に取り組む。
エコトラック推進組織への参画	500	・「ジャパンエコトラック推進協議会」への加盟
案内標示などハード面の取組		
注意喚起標示の整備	23,000	・ツーリストに注意を促す必要のある箇所について予備調査を行い、注意喚起表示（自動車注意、歩行者注意、路面状況注意等）を整備。
合 計	44,300	

【Ⅱ 海外誘客の推進等 16,450千円（観光戦略課）】

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
(1) サイクリングリゾートの推進 台湾等の旅行社、メディア等と連携した情報発信及びツアー造成	6,000	・サイクリング大会等のイベントやメディアを活用した情報発信 ・サイクリングのモニターツアーの実施
(2) トレッキング、ウォーキングリゾートの推進 韓国等の旅行社、メディア等と連携した情報発信及びツアー造成	5,450	・登山コースやトレイルイベントなどの登山、ウォーキング専門誌などを通じた情報発信 ・モニターツアーや展示会等でのタイアップイベントの実施
(3) 交通事業者とタイアップした誘客推進	5,000	・交通事業者とタイアップして鳥取県の「スポーツリゾート鳥取」を幅広く発信。

【Ⅲ ウォーキングリゾートの推進 10,129千円（中部総合事務所地域振興局）】

ウォーキングの国際会議であるワールドトレイルズカンファレンス（WTC）及びそのアジア版であるアジアトレイルズカンファレンス（ATC）の開催準備等を地元関係者と協働で推進するとともに、既存ウォーキング大会の充実、ウォーキングコースの整備による国内外からの誘客を図り、国内外で認められるウォーキングリゾートを目指す。

- (1) (新) WTC鳥取大会実行委員会への負担金 4,800千円
平成27年度に開催されるATC鳥取大会及び平成28年度に開催されるWTC鳥取大会を主催するWTC鳥取大会実行委員会への負担金
(WTC鳥取大会実行委員会収支予算) (単位：千円)

支出	金額	備考
ATC鳥取大会開催費	7,004	国際会議、ウォーキングイベント等に係る経費
WTC鳥取大会準備費	3,200	プロモーション経費
事務局運営費	400	
合計	10,604	

(単位：千円)

収入	金額	備考
県・市町村負担金	9,600	県4,800、市町4,800
その他	1,004	ウォーキングイベント参加費、協賛金等
合計	10,604	

- (2) 発信力ある大会の支援 2,000千円

大会名	SUN-IN未来ウォーク (県中部、6月)	SUN-IN未来100kmウォーク (県中部、11月頃)
事業主体	SUN-IN未来ウォーク実行委員会	NPO法人未来
事業内容	大会運営費、広報宣伝費等	大会運営費、広報宣伝費等
補助率等	定額 1,000千円	1/2 (上限1,000千円)

- (3) 海外との連携支援 800千円

ウォーキングの国際ネットワークに加盟している地元の活動に対する支援

事業主体	NPO法人未来
事業内容	各種PR経費、関係者招聘旅費等
補助率等	1/2 (上限800千円)

- (4) 東郷池周回コース環境整備 60千円

韓国人ウォーカーから評価の高い東郷池周回コースに韓国の国花ムクゲを植栽。

- (5) (新) 非常勤職員人件費 (1人) 2,469千円

【Ⅳ サイクリングリゾートの推進 50,118千円（西部総合事務所地域振興局）】

サイクリングリゾートの聖地としてのブランド化を進めながら誘客に繋げるため、サイクリング拠点のハード面・ソフト面での環境整備をさらに進め、国内外から認められるサイクリングリゾートを目指す。

- (1) サイクリング環境整備事業 42,868千円 (単位：千円)

名称	内容	予算額
弓ヶ浜サイクリングコース (皆生工区) 整備・管理費用	皆生温泉から夜見町に至る区間 (延長7.8km) の路面整備・看板設置・路面標示等及び維持管理費用	37,868
中海周遊コースの改善に係る調査費用	狭隘部分等の解消に係る調査費用	5,000

- (2) スポーツイベント開催支援事業 7,250千円 (単位：千円)

名称 (開催時期)	事業主体	予算額
全日本トライアスロン皆生大会 (7月)	皆生トライアスロン協会	5,000
皆生・大山 SEA TO SUMMIT (10月)	皆生・大山 SEA TO SUMMIT実行委員会	1,000
中海オープンウォータースイム (6月)	中海オープンウォータースイム実行委員会	750
アウトドアスポーツフェスタ (未定)	鳥取県アウトドアスポーツ協議会	500

3 これまでの取組状況、改善点

- ・アウトドアスポーツを活かした自然を満喫する新しい旅のスタイル「ジャパンエコトラック」の本県における第1号ルート認定を始め、平成27年度のATC及び平成28年度のWTC鳥取県開催の決定など、さらなるスポーツツーリズム推進の機運が高まっている。
- ・スポーツツーリズムによる誘客を一層進めるため、韓国・台湾等を中心にした情報発信やウォーキング、サイクリングの環境整備等に取り組んでいく。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7310）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客誘致推進事業	90,070	128,068	△37,998				90,070	
トータルコスト	107,930千円（前年度145,868千円）[正職員：2.3人]							
主な業務内容	海外での広報活動、旅行商品の造成・販売促進支援、海外調査・宣伝業務の委託、国際交通基盤の利用促進ほか、県内空港へのチャーター便の誘致							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

米子ソウル便、環日本海定期貨客船などの国際定期便や近隣空港（関西空港・広島空港・岡山空港等）の定期便を利用した本県への外国人観光客誘致に加え、県内空港へのチャーター便の誘致により諸外国から鳥取県を訪問する観光客を増やして県内観光消費額を増加させ、本県観光産業の更なる振興発展を目指す。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	内容
市 場 別	(1) 韓国	34,000 ・観光ブログ、新聞、雑誌等を活用した観光情報発信 ・ソウル駐在員の配置（2名） ・トレッキング・ウォーキングリゾートのPR等
	(2) 台湾	8,500 ・旅行博出展や旅行会社や航空会社訪問の支援及び視察ツアー、広報宣伝などのプロモーション委託 ・島根県等と連携した旅行会社・メディア招請等
	(3) 中国	4,000 ・旅行会社や航空会社訪問の支援及び視察ツアー、広報宣伝などのプロモーション委託 ・島根県等と連携した旅行博出展等
	(4) 香港	8,500 ・旅行博出展や旅行会社や航空会社訪問の支援及び視察ツアー、広報宣伝などのプロモーション委託 ・島根県等と連携した旅行会社・メディア招請等
	(5) ロシア	3,000 ・旅行博出展のほか、旅行会社や航空会社訪問の支援及び視察ツアー、広報宣伝などのプロモーション委託
	(6) 東南アジア	14,850 ・旅行博出展や旅行会社や航空会社訪問の支援及び視察ツアー、広報宣伝などのプロモーション委託 ・観光情報説明会の開催 ・島根県等と連携した旅行会社・メディア招請等
	(7) 欧米	1,500 ・羽田／成田乗継による個人旅行客誘致のための視察ツアーなどのプロモーション委託等
	小計	74,350
共 通	(1) チャーター便活用誘客事業	10,000 ・国際チャーター便の就航及び来県外国人観光客増加に向けた現地委託 ・旅行会社・航空会社等の招請
	(2) その他	5,720 ・JR西日本と連携した個人旅行客誘致 ・観光素材紹介ツール
	小計	15,720
合計	90,070	

※外国人観光客倍増促進補助金、外国人観光客送客促進補助金、外国人観光客誘致対策補助金（計48,800千円）については、国の平成26年度臨時経済対策に伴う補正予算で措置し、平成27年度に繰越して執行。

3 これまでの取組状況、改善点

平成25年4月に「国際リゾートとっとりプラン」を策定し、ターゲットとする国・地域を明確化するとともに、それぞれへのアプローチの深度に合わせたプロモーションを実施してきたところであるが、国が平成26年6月に策定した「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」等を踏まえて、さらに積極的に外国人観光客誘致に取り組んでいる。

これまで取り組んできた地域に対して、より確実に送客に結びつくよう、現地プロモーションを強化すると共に、ビザ免除等により訪日観光客が大幅に増加している東南アジア（タイ等）を重点市場に加えるなど、情勢に対応した外国人観光客誘致を戦略的に推進する。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)「ようこそようこそ鳥取県」観光誘客キャンペーン推進事業	35,000	0	35,000				35,000	
トータルコスト	42,765千円(前年度0千円) [正職員: 1.0人]							
主な業務内容	キャンペーン企画、業務委託事務、広報業務							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 カニシーズン到来に合わせて「鳥取県＝カニ(鳥取県へウェルカニ)」を情報発信の切り口とした誘客キャンペーンを展開し、首都圏をはじめとする都市圏メディアでの露出を図ることで本県への誘客につなげる。</p>								
<p>2 主な事業内容 単位: 千円</p>								
区分	予算額	内容						
「鳥取県ウェルカニキャンペーン」の実施	6,000	キャンペーン期間中、県内の宿泊施設にお泊まりいただいた方を対象として、抽選で毎月100名様に「鳥取県産松葉がに」をプレゼントする。(平成27年10月～28年2月)						
「蟹取県」体感メニューづくり	5,000	観光やビジネスで本県を訪問された方や、首都圏・関西圏在住の方に「蟹取県」を体感していただけるような仕組みづくりを行う。 (例) JR主要駅での「カニ汁」ふるまい、首都圏アンテナショップ等でのフェア実施						
首都圏をはじめとするメディアでの情報発信	7,000	首都圏、関西圏の大手メディアで発信することで全国規模での露出につなげ、本県の知名度向上と誘客促進を進める。(テレビ番組誘致、メディアキャラバン、プレスリリース配信など)						
観光周遊パスポートの作成	5,000	「鳥取県ウェルカニキャンペーン」の期間にあわせ、県内で「カニ」を思う存分にお楽しみいただけるような特典付きの観光周遊パスポートを作成する。						
「蟹取県」ガイドブックの作成	10,000	おすすめ観光情報やカニをはじめとしたグルメ情報、女子旅ルート、地元人ならではの耳寄り情報等を盛り込んだガイドブックを作成する。(平成27年10月予定)						
キャンペーン特設WEBサイトの構築	2,000	各種キャンペーン情報を集約した専用WEBサイトを構築する。						
合計	35,000							
<p>3 これまでの取組状況、改善点 平成26年10月～27年2月にかけて、「鳥取県ウェルカニキャンペーン」を実施しており、期間中、「蟹取県」「鳥取県へウェルカニ」をキーワードにすることで、全国ネットの情報番組等での露出につなげることができた。今後も継続してこの取組を行うことで、都市圏でのイメージ定着を進め、誘客促進に結びつける必要がある。</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
未来に引き継ごう！ 県民の歴史資産 「三徳山」調査活用推 進事業	4,447	3,449	998				4,447	
トータルコスト	8,330千円（前年度 7,319千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	関係者との連絡調整、会議開催・資料作成、調査研究の推進、講演会等の事業実施、補助金交付業務等							
工程表の政策目標(指標)	三徳山の世界遺産登録等により、鳥取県と周辺地域（関西、中四国等）を周遊する観光客の増加を目指す。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取県を代表し、大山・隠岐国立公園へ編入がなされた文化財である三徳山について、世界遺産登録も視野に入れつつ、地元関係者と連携し、調査研究を進めるとともに、保全管理の取組や観光振興、まちづくりへの活用を推進する。

2 主な事業内容

(1) 三徳山世界遺産登録運動推進協議会・各部会の開催

三徳山世界遺産登録運動推進協議会、各部会（調査研究部会、情報発信部会、保存管理活用部会）で官民一体となり、世界遺産登録運動を総合的に推進する。

(2) 情報発信・機運醸成（情報発信部会－事務局：鳥取県中部総合事務所地域振興局）

- ・展示会等開催
- ・文化資産学習会開催支援事業
 - 補助対象事業：住民等が自ら企画・開催する三徳山等の文化資産の学習会
 - 補助対象者：公民館、住民団体等
 - 補助金額：定額（上限5万円） 8団体を予定

(3) 調査研究（調査研究部会－事務局：鳥取県教育委員会文化財課）

- ・三徳山の総括的研究
- ・鳥取県中部における中世寺院に関する研究
- ・三朝町実施の調査事業の支援（全体事業費6,300千円（県補助率1/3））
 - 三徳山内の遺構を確認するための発掘・測量調査

(4) 保存管理活用（保存管理活用部会－事務局：三朝町教育委員会）

- ・地元が中心となって行う保存管理活用の取組の支援（有識者等の招へい等）

（参考）三徳山世界遺産登録運動推進協議会

設立：平成16年3月
 会長：三朝町長
 構成：中部市町、県、三徳山を守る会、三仏寺、倉吉商工会議所、倉吉ユネスコ協会等
 役割：世界遺産登録を総合的な視点から協議
 三徳山の保存管理活用に向けた行動計画の策定

国の平成27年当初予算で制度が創設される「日本遺産※」認定に向けて、三朝町が申請準備を行っており、県でも教育委員会を中心に登録に向けた支援を行っている。

※日本遺産：地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、日本の文化・伝統を語るストーリーを認定する仕組み。文化財群を地域主体で総合的に整備・活用し、世界に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図るもの。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7421)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
コンベンション誘致促進事業	52,202	44,227	7,975				52,202										
トータルコスト	52,979千円 (前年度 45,001千円) [正職員: 0.1人]																
主な業務内容	(公財)とっとりコンベンションビューローへの指導。調整交付金・補助金交付事務、実施主体との連絡調整																
工程表の政策目標(指標)	経済波及効果の大きい大規模な催し、会議等の誘致を促進する。																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内産業の振興、地域活性化を図るため、県内全域を対象にしたコンベンションの誘致を促進する(公財)とっとりコンベンションビューローの実施事業に対して補助するとともに、誘致活動の強化、受入体制の充実を図る。</p>																	
<p>2 主な事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">予算額</th> <th style="text-align: center;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運営費交付金</td> <td style="text-align: center;">27,402</td> <td> (公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2) (1) 誘致セールス体制の強化 従来から対象としている学会・大会をきめ細かく訪問し誘致の拡大を図るとともに、特に、スポーツコンベンションと海外インセンティブ誘致体制を強化する。(スポーツコンベンション、海外インセンティブ誘致担当を1名増) (2) スポーツコンベンションの推進強化 県と鳥取県体育協会・各種競技団体との連携強化及び開催助成金制度の充実により、スポーツコンベンション(大会・キャンプ)の推進強化を図る。 </td> </tr> <tr> <td>コンベンション開催助成費補助金</td> <td style="text-align: center;">24,800</td> <td> コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2) スポーツコンベンション推進強化のためスポーツコンベンションへの助成制度を見直し、一般大会と同等まで、助成大会規模の拡大、助成額の引き上げを行う。 </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	内容	運営費交付金	27,402	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2) (1) 誘致セールス体制の強化 従来から対象としている学会・大会をきめ細かく訪問し誘致の拡大を図るとともに、特に、スポーツコンベンションと海外インセンティブ誘致体制を強化する。(スポーツコンベンション、海外インセンティブ誘致担当を1名増) (2) スポーツコンベンションの推進強化 県と鳥取県体育協会・各種競技団体との連携強化及び開催助成金制度の充実により、スポーツコンベンション(大会・キャンプ)の推進強化を図る。	コンベンション開催助成費補助金	24,800	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2) スポーツコンベンション推進強化のためスポーツコンベンションへの助成制度を見直し、一般大会と同等まで、助成大会規模の拡大、助成額の引き上げを行う。
区分	予算額	内容															
運営費交付金	27,402	(公財)とっとりコンベンションビューローの運営費及び人件費を交付する。(負担率 県1/2・4市1/2) (1) 誘致セールス体制の強化 従来から対象としている学会・大会をきめ細かく訪問し誘致の拡大を図るとともに、特に、スポーツコンベンションと海外インセンティブ誘致体制を強化する。(スポーツコンベンション、海外インセンティブ誘致担当を1名増) (2) スポーツコンベンションの推進強化 県と鳥取県体育協会・各種競技団体との連携強化及び開催助成金制度の充実により、スポーツコンベンション(大会・キャンプ)の推進強化を図る。															
コンベンション開催助成費補助金	24,800	コンベンションの主催者に対する助成制度への補助を行い、誘致の促進を図る。(負担率 県1/2・開催市町村1/2) スポーツコンベンション推進強化のためスポーツコンベンションへの助成制度を見直し、一般大会と同等まで、助成大会規模の拡大、助成額の引き上げを行う。															
<p>3 これまでの取組内容、改善点</p> <p>県内のコンベンション開催件数は、積極的な誘致活動の結果、年を追って増加傾向にあり、平成25年度のコンベンション開催件数は過去最高の336件となった。</p> <p>2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控え、スポーツに対する意識が高まる中、誘致セールス体制強化と開催助成制度の拡充を図り、一層のスポーツ大会等の誘致を進めていくほか、ビジネス客の取り込みにつながるMICEの誘致活動を積極的に進めていく。</p>																	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県観光連盟運営費	88,229	86,469	1,760				88,229	
トータルコスト	89,782千円（前年度 88,017千円）[正職員：0.2人]							
主な業務内容	負担金の交付、連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

（公社）鳥取県観光連盟に対し、人件費の全額と事業費の1/2を負担するほか、観光キャンペーンの実施及び商品造成の働きかけ・観光情報の発信等を行い積極的な誘客を図るなど、観光客誘致に関する取組を強化する。

2 主な事業内容

運営費負担金 88,229千円

区 分	内 容
人件費	県10/10 （組織体制） 専務理事（県派遣）、事務局長 課長（2名、内1名県派遣） 観光プロモーター（3名） 書記（5名 うち2名が正職員）
事業費	県1/2 （1）地域受け地づくり対策推進事業 ・着地型旅行商品販促、体験型商品企画支援 ・広域観光機能強化事業 （2）誘客商品企画強化 ・旅行エージェント招致、観光情報説明会開催 ・観光プロモーター活動事業など （3）観光誘客キャンペーン事業 ・交通事業者との観光キャンペーン ・観光親善大使による誘客活動 （4）情報発信・宣伝事業 ・各種観光パンフレット制作、ホームページの充実 ・旅行エージェント向け観光素材集制作 （5）会員等との誘客連携事業 ・他団体との協働・連携事業、主題別・地域別専門部会事業

3 これまでの取組内容、改善点

- 平成21年度に鳥取県観光連盟の業務を見直し、機動的な対応が必要な業務、民間事業者との連携が必要な業務などを段階的に移管し、平成24年度には観光商品造成支援業務、観光ホームページの運営及び観光パンフレット等の作成、平成25年度には観光ニュースの発行、SNS※を活用した観光情報発信業務を移管した。また、平成26年度より書記の正職員化を進め組織体制の強化を図っている。
- 平成27年度はさらに1名の正職員化を進め、着実な体制強化による観光魅力づくり・誘客促進を図る。

※SNSとは

Social Networking Service（ソーシャルネットワークサービス）の略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制のWEBサービスのこと。代表例としてFacebook、Twitter等がある。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7421)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	206,880	192,584	14,296				206,880	
事業内容の説明 一般職員30名分の人件費								
観光振興費	41,936	55,837	△13,901	0		(使用料) 3 (手数料) 137 (雑入) 7	41,789	
トータルコスト	63,678千円(前年度 79,054千円) [正職員:2.8人、非常勤職員1.0人]							
主な業務内容	他府県や市町村との連絡調整、旅行業者の指導・育成、観光統計資料の調査・整理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要 魅力ある観光地をつくり、観光による誘客を推進するため、より一層のおもてなしの向上を図る取組等を推進する。また、観光振興施策の企画・立案のため、本県の観光客数、出発地、観光の動機などについて調査を行う。								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
区 分	予算額	内 容						
ようこそようこそ鳥取県運動推進協議会	164	おもてなし研修会等の開催に係る経費						
観光客入込動態調査の実施	2,506	本県への観光客数、出発地、観光の動機などについての統計調査						
各種観光振興団体への負担金	2,162	各種観光団体が行う観光施策等に効果的に参画するため負担金を支出						
砂丘西側用地の管理	310	松くい虫被害木の伐採等の管理						
観光案内看板の管理	1,500	観光案内看板の整備、情報更新						
フィルムコミッション業務委託	3,138	鳥取県におけるフィルムコミッションの窓口業務を鳥取県観光連盟に委託						
事務費	32,156	国際リゾートとっとり推進協議会開催等に係る経費 その他事務経費						
計	41,936							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7237)
(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光情報提供事業	52,965	51,251	1,714				52,965	
トータルコスト	64,613千円 (前年度 62,860千円) [正職員: 1.5人]							
主な業務内容	マスコミへの情報提供、取材の受け入れ							
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

鳥取ならではの魅力を全国に訴えるため、新聞・雑誌・テレビ等の各種媒体を通じて、本県の魅力を県外へ情報発信する。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
マスコミ(テレビ・雑誌等)への情報提供や売り込み活動、PRキャラバン隊	43,800	テレビ番組・情報誌・旅雑誌・自動車専門誌企画等を活用した情報発信、駅構内・空港・高速道路サービスエリア等でのイベント展開など
番組記事制作負担金	2,400	テレビ番組、雑誌取材記事の制作に係る金額の一部を負担することによるメディア露出
マスコミの取材受け入れ	1,500	マスコミ関係者の取材招へい
マスコミへのプレゼント供与	500	視聴者・読者プレゼント
とっとり観光親善大使の観光イベント等への参加	775	とっとり観光親善大使の派遣費用
事務費	3,990	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「行きたいとっとり」支援創出事業	5,000	5,000	0				5,000	
トータルコスト	5,777千円（前年度5,000千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	各種連絡調整、補助金交付事務等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

「鳥取自動車道」や「松江自動車道」の全線開通、山陰道の部分開通などのアクセス向上に伴い、国内外から山陰を訪れる「山陰大周遊」がおこりつつあることを契機と捉え、新しい魅力づくりに対して支援を行い、観光振興を促進する。

2 主な事業内容

鳥取砂丘などの主要観光地での観光メニュー造成を促進するため、団体事業者等が実施する以下の経費について支援する。

補助対象者	団体事業者等
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行商品の企画開発・販売促進に要する経費 ・ 二次交通に要する経費 ・ 情報発信に要する経費 ・ 宿泊魅力向上に要する経費 ・ イベント開発に要する経費 ・ 地域資源等を活用した商品の企画開発・販売促進に要する経費 ・ 人材育成に要する経費 ・ その他観光振興に要する経費
補助率	1/2

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	計	財 源 内 訳				備考																		
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																			
「ぐるっと山陰」誘客促進事業	25,000	20,000	5,000				25,000																			
トータルコスト	25,000千円（前年度 20,000千円）〔正職員：0.0人〕																									
主な業務内容	補助金交付事務																									
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。																									
事業内容の説明																										
<p>1 事業の目的・概要 団体旅行向けの施策として、本県への旅行商品造成支援及び宿泊を伴うバスツアー造成に対する支援を行うとともに、県内での観光周遊性を高めるような「観光パスポート」の作成を支援する。 ※平成26年度11月補正予算にて債務負担設定済</p>																										
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) バス代支援 鳥取県観光連盟のプロモーター（県外本部駐在）を活用した、県外旅行会社へのバス旅行商品造成の働きかけを行う。（バス1台当たり30千円程度を想定）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">交付対象者</td> <td>公益社団法人 鳥取県観光連盟</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 15,000千円（定額）</td> </tr> </table> <p>(2) 旅行商品造成支援 鳥取県観光連盟のプロモーターを活用した、県外旅行会社への旅行商品造成の働きかけを行う。（旅行商品造成1件あたり500千円程度を想定）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">交付対象者</td> <td>公益社団法人 鳥取県観光連盟</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 5,000千円（定額）</td> </tr> </table> <p>(3) 観光パスポートの作成支援 鳥取県観光連盟が行う、県内での観光周遊性を高めるツールとしての観光パスポート作成を支援する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">交付対象者</td> <td>公益社団法人 鳥取県観光連盟</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>県内観光施設で使用可能なクーポン券等を掲載した観光パスポートの作成経費支援</td> </tr> <tr> <td>補助率、限度額</td> <td>10/10 5,000千円（定額）</td> </tr> </table>									交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟	補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援	補助率、限度額	10/10 15,000千円（定額）	交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟	補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援	補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）	交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟	補助対象経費	県内観光施設で使用可能なクーポン券等を掲載した観光パスポートの作成経費支援	補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）
交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟																									
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社がツアー催行した場合の経費支援																									
補助率、限度額	10/10 15,000千円（定額）																									
交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟																									
補助対象経費	支援条件を満たす旅行会社が旅行商品造成した場合の経費支援																									
補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）																									
交付対象者	公益社団法人 鳥取県観光連盟																									
補助対象経費	県内観光施設で使用可能なクーポン券等を掲載した観光パスポートの作成経費支援																									
補助率、限度額	10/10 5,000千円（定額）																									
<p>3 これまでの取組状況、改善点 平成27年度は出雲大社「平成の大遷宮」の反動による観光需要の落ち込みをカバーするため、特にバスツアーが盛んな中京圏や関西圏での営業活動を積極的に行うとともに、県内での観光周遊性を高めるような取組を年間通して行う必要がある。</p>																										

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
宿泊促進WEB対策事業	25,000	25,000	0				25,000							
トータルコスト	27,330千円（前年度27,322千円）[正職員：0.3人]													
主な業務内容	補助金対象者との連絡調整、補助金交付業務													
工程表の政策目標(指標)	旅行会社等と連携しながら、全県的に地域資源を活かした着地型観光メニューの充実・情報発信を図り、本県の観光の魅力・知名度を向上させる。													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要 個人旅行客向けの対策として、民間団体が実施する大手宿泊予約サイトを活用した「山陰大周遊キャンペーン」の取組を支援する。</p> <p>2 主な事業内容 (1) 事業内容 鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合が行う宿泊予約サイトを活用した情報発信及び誘客対策を支援する。</p> <p style="margin-left: 20px;">【補助金概要】</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">補助対象者</td> <td style="padding: 2px;">鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">補助対象経費</td> <td style="padding: 2px;">個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">補助率</td> <td style="padding: 2px;">10/10（上限25,000千円）</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">※平成26年11月補正予算において一部予算の債務負担行為設定済み</p> <p>(2) 事業期間 平成27年3月下旬から平成28年3月まで</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 出雲大社「平成の大遷宮」の反動による観光需要の落ち込みをカバーするため、鳥取県らしい観光素材と高速道路の整備や航空路線の充実などのアクセス向上とを組み合わせた「山陰大周遊」の提案を積極的に行い、誘客につなげる必要がある。</p> <p>* 宿泊予約サイト 目的地の旅館、ホテルなど宿泊施設の予約や価格比較、宿泊施設近隣の情報などが簡単に入手できるインターネット上のサイト（楽天トラベル、じゃらんnet、るるぶトラベルなど）</p>									補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合	補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費	補助率	10/10（上限25,000千円）
補助対象者	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合													
補助対象経費	個人向け大手宿泊予約サイト上で、旬の観光情報等を紹介する「鳥取県特集ページ」や特集ページに誘導する「バナー」を掲載する経費													
補助率	10/10（上限25,000千円）													

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
温泉地魅力向上事業	10,124	8,310	1,814				10,124	

トータルコスト 17,889千円（前年度 16,049千円）〔正職員：1.0人〕

主な業務内容 負担金交付事務及び協議会への出席、助言等

工程表の政策目標（指標） 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、全国的に観光消費額の減少や宿泊客の伸び悩みがある中、この現状を「温泉」を核として地元が一体となって転換していこうとする気運があることを踏まえ、本県の重要な観光素材である温泉の魅力向上を促進するため、観光事業者及び市町等が連携して行う事業に支援を行う。

2 主な事業内容

(1) 温泉地魅力向上事業（7,310千円）

温泉地の魅力向上のため、温泉地、観光施設及び市町等が連携して行う広報宣伝、催事等に対して助成する。

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
いなば温泉郷支援事業 〔総事業費 3,930〕	1,310	いなば温泉郷協議会が行う情報発信、受地対策等の事業を支援する。
皆生温泉支援事業 〔総事業費 18,000〕	6,000	皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会が行う夏のファミリー層誘客イベント等を支援する。

※ 負担割合 県1/3、市町1/3、旅館組合等の地元1/3

※ 鳥取県中部エリアの温泉地魅力向上は、「鳥取県中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業」において、戦略的・総合的に支援する。

(2) 温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト事業補助金（2,814千円）

県内の温泉関係者が地元自治体と連携して行う、温泉地の総合計画に沿った施設整備に対する経費を支援する。

区 分	内 容
補助対象者	温泉旅館組合、地元住民、観光事業者で組織する実行委員会など
補助対象事業者	市町村
補助対象事業	【関金温泉】平成25年度に策定したランドデザインに沿って行う、空屋を活用した地域交流拠点（カフェやゲストハウス、イベントスペースとして利用）の整備 【皆生温泉及び吉岡温泉】ランドデザイン策定
補助率	市町村が補助する経費の1/2以内 （施設整備費のうち民間が所有するものにあつては、間接補助対象経費の1/3以内）

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課（内線：7237）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
広域観光連携推進事業	19,420	19,500	△80				19,420	
トータルコスト	28,738千円（前年度 28,787千円）〔正職員：1.2人〕							
主な業務内容	広域的な観光客誘致活動、連絡調整等							
工程表の政策目標（指標）	他府県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

県内外の観光関係団体・関連事業者等と連携して、スケールメリットを活かした広域情報発信、共同プロモーション等効果的な観光誘客を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容
山陰観光推進協議会事業	10,000	「山陰」というスケールメリットを活かして、山陰の認知度向上と、山陰エリアを対象とした周遊型及び滞在型観光を促進するため、両県が連携して広域情報発信、共同プロモーション、民間による受地整備事業の支援等を行う。 総事業費20,000千円（本県負担：10,000千円）
因幡・但馬・丹後観光協議会事業	500	県東部と、兵庫県但馬地方、京都府丹後地方の関係市町・民間が連携して、広報宣伝等の観光誘客事業を行う。 総事業費2,000千円（本県負担：500千円）
ひょうご・とっとりツーリズムバス事業	600	鳥取県及び兵庫県以外の居住者が、団体で貸切バスを使用して所定の観光施設を訪れる場合、バス借上料の一部を助成する。
鳥取・岡山観光連携事業	2,000	広域観光地図の改訂、両県連携による情報発信、宣伝活動、旅行会社への商品造成の働きかけ等を実施する。 総事業費4,000千円（本県負担：2,000千円）
「ディスカバーウェスト」中国五県連携観光振興事業	5,000	首都圏を始めとする大都市圏から中国地方への観光誘客を図るため、中国五県とJR西日本で組織する「DISCOVER WEST連携協議会」を通して、観光情報の発信等を行う。
鳥取自動車道活性化協議会事業	900	鳥取自動車道沿線市町・民間が連携して行う沿線地域の観光魅力発信、沿線を周遊する観光ルートの提案などの観光誘客事業を行う。 総事業費2,150千円（本県負担：900千円）
NEXCO西日本と連携したカードラリーの実施	420	NEXCO西日本と西日本の各府県が共同で実施するカードラリー「お国じまんカードラリー」に参加し、高速道路を活用した情報発信と観光誘客に取り組む。
計	19,420	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費〈総合事務所分は地方機関計上予算〉

観光戦略課（内線：7239）

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9372）

西部総合事務所日野振興センター日野振興局（電話：0859-72-2080）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりスタイルエコ ツーリズム推進事業	26,179	33,836	△7,657				26,179	
トータルコスト	39,380千円（前年度43,124千円）〔正職員：1.7人〕							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<ul style="list-style-type: none"> ・多様な自然環境、歴史文化遺産、食材等鳥取ならではの地域資源と各分野の人材を活用した体験型旅行商品の開発・普及を促進し、鳥取の潜在力や秘めた魅力をより深く来県客に伝えることにより、国内外の鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大を目指す。 								
2 主な事業内容								
【I 情報提供の強化 2,549千円（西部総合事務所）】								
<p>鳥取県の観光情報を提供する多言語対応のスマートフォンのアプリ「TOTTRIP」（とっとりっぷ、対応言語：日本語・英語・韓国語）について、更なるコンテンツの充実を図り、国内外から本県を訪れる旅行者への情報提供を強化する。</p> <p>（委託先）NPO法人大山中海観光推進機構</p>								
【II 国内誘客の推進 19,325千円（観光戦略課）】								
<p>地域資源の観光メニュー化や規模拡大を行う団体を支援するとともに、旅行会社等と連携した情報発信、教育関係者等へのプロモーション活動の強化を行う。</p>								
(1) 教育旅行誘致（鳥取県観光連盟委託） 6,825千円								
①旅行会社等への売り込み強化 3,825千円								
<p>県外旅行会社への売込体制強化及び素材の作成等を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地視察研修会 5名程度×約5回 ・教育旅行メニューガイドブックの作成 ・（新）教育旅行誘致アドバイザー配置 ・（新）教育旅行情報説明会 								
②教育旅行誘致促進支援 3,000千円								
<p>本県での修学旅行受入を積極的に進めるため、誘引要素として宿泊費助成を設け、総合的な誘致促進を図る。</p>								
補助対象者		県外の小、中、高等学校						
補助額		宿泊延べ人数×1千円（上限300千円）						
(2) 観光メニュー造成や受地整備に対する支援（スタートアップ型） 5,000千円								
補助対象者		市町村、観光協会など						
補助額		1/2（上限500千円）						
(3) 人材育成を核とした体制整備や規模拡大への取組に対する支援（規模拡大型） 7,500千円								
補助対象者		市町村、観光協会など						
補助額		1/2（上限2,500千円、1事業に対する支援は3年を限度とする。）						

【Ⅲ 海外交流による人材育成の推進 275千円（観光戦略課）】

鳥取県エコツーリズム交流視察団やエコツアーガイド研修等のマレーシア訪問の成果を活かし、エコツーリズムの先進地であるマレーシアとの交流を深めながら、エコツーリズムによるガイド等の人的交流を継続実施する。

(単位：千円)

区 分	予算額	内 容
エコツアーガイド等の派遣研修	275	県内のエコツアーガイド等を対象とし、エコツアービジネス先進国マレーシアへの派遣研修を実施する。

【Ⅳ 滞在型観光「住まうように旅する」の推進 4,030千円（西部総合事務所、日野振興センター）】

エコツーリズム推進体制の維持と併せて、啓発活動や圏域の新しい観光素材の発掘等や全国に誇る地域資源である「たたら」の磨き上げに取り組む団体を支援し、「とっとりスタイルエコツーリズム」を定着させる。

(1) エコツーリズム推進組織への活動支援 2,800千円

事業主体	大山山麓観光推進協議会
事業内容	○情報発信：WEB、県外催事等での情報発信 ○圏域連携・商品づくり：圏域内イベントでのPR、素材の洗い出しと共有化、観光素材発掘PR、モニターツアーの実施 ○地域啓発：啓発セミナー開催等
補助率等	1/2（上限2,800千円）

(2) たたら資源等の活用体験事業 1,230千円

① ミニたたら操業体験会及び学習会の開催 780千円

日野郡内外の住民を対象にした「たたら」に関するミニたたら操業体験会（50人程度、1回）、小中学生等を対象とした学習会（1回）を開催し、「たたら」の普及啓発を図る。

② 日野郡ニューツーリズム推進事業 450千円

事業主体	日野郡広域交流促進協議会
事業内容	日野郡におけるたたら関連等のエコツーリズムメニュー造成やガイド育成、情報発信について助成する。
補助率等	1/2（上限450千円）

3 これまでの取組状況、改善点

エコツーリズム国際大会2013 in鳥取の成果を活かして、地域資源の磨き上げやガイド育成のほか、主要地を結ぶ地域情報の収集や情報発信など、とっとりスタイルエコツーリズムの全県展開に取り組んでいる。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課(内線:7238)
(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入推進事業	9,556	18,556	△9,000				9,556	
トータルコスト	11,886千円(前年度 26,473千円) [正職員:0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県を訪れる外国人観光客の満足度を高め、鳥取ファンやリピーターの獲得・拡大へとつなげるため、「国際リゾート」と呼ばれるにふさわしい、来県客にとって便利で快適な受入環境整備を関係団体・事業者等と協働で実施する。</p>								
2 主な事業内容 (単位:千円)								
区分	予算額	内容						
(1)「おもてなし」の充実	5,000	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド研修会の開催(2回) ・関係者による意見交換会の実施(各地区1回) ・県内空港、JR駅・列車内でのチャーター便歓迎行事の実施(年間30回程度) 						
(2)観光案内体制の整備	3,056	<ul style="list-style-type: none"> ・米子空港ビル及び境港国際旅客ターミナルの観光案内所への案内人配置 ・県内国際観光案内所等の意見交換会開催(1回) 						
(3)観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	1,500	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語電話通訳サービスの提供(通年) ・外国人による県内観光地の巡回点検(1回) 						
計	9,556							
<p>※ 鳥取県外国人観光客倍増促進補助金(ムスリム対応・両替機等設置・消費税免税店舗の開設準備等・多言語版案内看板やマップ等の作成・外国語ホームページの作成・無料Wi-Fi環境整備等に要する経費への助成)での受入環境整備支援は、平成26年度臨時経済対策により措置する。</p>								
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>平成25年4月に策定した「国際リゾートとっとりプラン」の受入環境整備計画に基づき、外国人観光客の受入態勢整備を促進している。また、昨年10月の外国人旅行者向け消費税免税制度改正に伴い免税店舗数が拡大されるよう支援を行った。今年度は、更に外国人観光客への「おもてなし」の充実を図るため、これまでの取組を見直しつつ新規及び拡充の支援を実施する。</p>								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課 (内線: 7239)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
クルーズ客船受入推進事業	10,700	10,700	0				10,700	
トータルコスト	13,030千円 (前年度 13,022千円) [正職員: 0.3人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	他県と連携してエリアとしての観光魅力を向上させ、国内外からの観光客誘致、滞在時間の延長を図る。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

クルーズ船の鳥取港及び境港寄港による本県への経済波及効果を最大限に引き出すため、クルーズ船寄港時に、より多くの乗船客が県内観光地等に立ち寄るよう素材の売り込みを強化するとともに、受入環境の充実を図る。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

区分	予算額	内容
オプションツアーコース提案支援事業	2,000	クルーズ船寄港時のオプションツアーコースとして、県内観光素材を取り入れたコースの提案を支援する。 (補助金額の上限: 200千円、補助率1/2) 【補助対象者】民間事業者等 【補助対象経費】提案資料の作成、旅行会社訪問に要する経費等
	2,000	クルーズ船寄港時のオプションツアーの造成を支援する。 ※ ツアーコースには、県内の観光地等を必ず組み込み、食事をとる場合は、県内の施設とすること。 (補助金額の上限: 200千円、定額) 【補助対象者】旅行会社 【補助対象経費】ツアーパンフレット等作成経費
オプションツアーバス借上料支援事業	2,580	オプションツアーバス借上げを支援する。 ・立ち寄り先が県内のみ: バス1台につき15,000円 ・立ち寄り先に県外を含む: バス1台につき5,000円 【補助対象者】旅行会社
周遊バス運行支援事業	4,120	港から周辺施設等への周遊バスの運行を支援する。 (補助率 1/2) 【補助対象者】市町村、観光関係団体等 【補助対象経費】運行経費から運賃収入を除いた経費
合計	10,700	

3 これまでの取組状況、改善点

オプションツアーバス支援は、両港とも実績もあり、引き続き継続して行く。

クルーズ対応にかかる境港管理組合への負担金の割合を鳥取:島根=1:1(従来は3:1)に見直し、さらに、H27年度は新規に外国語コーディネーターの配置を行うなど、クルーズ対応の充実を行う予定である。(県土整備部で提案中)

寄港誘致についても両港と連携体制を密にし、民間観光事業者のセールス活動を進めて、従来の船会社に加え旅行会社等へ幅広いポートセールスを進めている。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7239）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
観光周遊促進支援事業	34,236	37,274	△3,038				34,236	

トータルコスト 37,342千円（前年度41,144千円）〔正職員：0.4人〕

主な業務内容 補助金交付事務、関係機関との連絡調整

工程表の政策目標（指標） 地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着眼し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行に変化しているため、個人旅行者に対する利便性向上及び本県旅行商品の魅力アップに繋げることを目的に、基幹交通拠点等を出発地として観光地を巡るプランの充実を図ることにより本県への訪問客の増加を図る。

2 主な事業内容

(1) 米子空港及び境港国際ターミナルと県中部・東部地区を直結するリムジンバスの運行及び広報に対する支援（18,820千円）

名称	事業主体	補助率
米子鬼太郎空港及び境港国際旅客ターミナルと東部・中部との連絡バス	日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社	10/10

(2) 空港や駅から主要観光地を周遊するバス等の運行及び広報支援（1,915千円）

名称	事業主体	補助率
鳥取空港－鳥取砂丘間乗合タクシー	鳥取ハイヤー共同組合	1/2
浦富海岸・鳥取砂丘観光周遊バス	浦富海岸・鳥取砂丘エリア観光二次交通運行協議会	1/3

(3) 県内に発着又は宿泊する旅行者向けに主要観光地等を周遊するバス・タクシー等の運行及び広報支援（12,871千円）

補助対象者	民間事業者
補助率	1/2
補助対象経費	運行経費から運行収入を除いた額及び広報に必要な経費

※ 平成26年11月補正予算にて一部債務負担設定済

(4) とっとりもの総合案内作成（630千円）

観光客に県内の観光二次交通情報をわかりやすく情報提供するため、東部、中部、西部のエリア別に情報をまとめたガイドマップを作成する。

3 これまでの取組状況、改善点

今年度より、観光二次交通については、観光客の県内移動の利便性を高めるだけでなく、観光地等を容易に周遊できるよう整備を進めることとした結果、県外を含め多くの観光客に利用していただき、大きな成果を得た。今後は、新たなコースを加え、滞在時間の延長と県内観光地等の魅力発信を推進する。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課（内線：7238）
 （単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考																																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																	
ウインターイルミネーション支援事業	5,000	50,000	△45,000			(基金繰入金) 5,000																																		
トータルコスト	5,000千円（前年度 50,774千円）[正職員：0.0人]																																							
主な業務内容	補助金交付事務、実施主体との連絡調整等																																							
工程表の政策目標(指標)	地域自らが、自然、温泉、歴史、食、文化、人物等に着目し、知恵と力を結集させて地域資源を磨き、行政がその取組内容に応じたサポートをする。																																							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】																																							
1 事業の目的・概要	<p>入込客が減少する冬期に、県内外からの誘客を図るため、鳥取砂丘で行うイルミネーション事業に対して支援を行う。</p>																																							
2 主な事業内容	<p>「鳥取砂丘イリュージョン」に対する支援（定額補助 5,000千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>補助対象者</td> <td colspan="7">新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="7">電球購入、設置・撤去、デザイン等</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="7">12,000千円 [内訳] 県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等</td> </tr> <tr> <td>支援期間</td> <td colspan="7">平成26年度から3年程度とし、毎年度誘客効果等を検証</td> </tr> </table>								補助対象者	新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会							事業内容	電球購入、設置・撤去、デザイン等							総事業費	12,000千円 [内訳] 県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等							支援期間	平成26年度から3年程度とし、毎年度誘客効果等を検証						
補助対象者	新生鳥取砂丘イリュージョン実行委員会																																							
事業内容	電球購入、設置・撤去、デザイン等																																							
総事業費	12,000千円 [内訳] 県 5,000千円、市 5,000千円、残余は協賛金等																																							
支援期間	平成26年度から3年程度とし、毎年度誘客効果等を検証																																							
3 これまでの取組状況、改善点	<p>鳥取砂丘イリュージョンについては、平成15年度から開始し、12回目となった平成26年度は鳥取砂丘とこどもの国の2会場で開催し、バスツアー等による県外客も含めて多くの来場者があった。</p> <p>なお、平成26年度事業により100万球まで拡充整備した「とっとり花回廊ウインターイルミネーション」は好評を博し、多くのお客様にご来場いただいた。来季も一層の誘客を目指す。</p>																																							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費
1目 観光費

観光戦略課（内線：7221）
（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国際観光推進費	44,486	44,330	156			(雑入) 20	44,466	
トータルコスト	49,145千円 (前年度60,583千円) [正職員：0.6人、非常勤職員：2.0人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関等との連絡調整、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策目標(指標)	外国人観光客の倍増、国際リゾートの実現、東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF)への参加、米子ソウル国際定期便及び環日本海定期貨客船航路(旅客)の自立・発展							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
諸外国から訪問する観光客を増加させ、観光産業の振興及び米子-ソウル便・環日本海定期貨客船などの国際交通基盤の維持・発展に寄与するため、近隣各県や海外地方政府と連携した情報発信、メディア招請などの誘客活動を実施する。								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区分	予算額	内容						
広域連携国際観光推進事業	10,493	山陰・中国5県、関西など、他府県と連携した外国人観光客誘致事業等に要する経費。 (単位：千円)						
		区分	予算額	内容				
		中国地区広域観光検討部会負担金	2,500	中国五県連携訪日観光事業推進等				
		中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000	韓国・中国・台湾等向けの観光客誘客活動				
		山陰国際観光協議会負担金	4,000	島根県と共同での韓国、ロシア・台湾・欧米等向けの誘客活動				
		京都・兵庫三府県連携事業負担金	1,000	ジオパーク、マンガ等共通テーマの情報発信				
		関西空港観光案内所整備運営協議会負担金	1,313	観光案内所の運営経費、観光地図の作成等				
		国際観光振興機構負担金	680	国内外の観光情報提供等				
計	10,493							
東アジア地域観光交流促進事業	1,200	東アジア地域の共同繁栄と各地域間の緊密な交流を深めるため、各地域間の国際観光交流の促進を目的とした東アジア地方政府観光フォーラム(EATOF(イートフ))へ参加する。 予算内容：事務局運営負担金						
環日本海定期貨客船航路利用促進費	4,600	環日本海定期貨客船の旅客利用のうち、一層の利用促進が求められる日本からの利用を促進するため利用者支援等を行う。						
		区分	予算額	内容				
		山陰国際観光協議会負担金	1,100	○修学旅行支援 修学旅行に対して、国際旅客ターミナルまでの貸切バス費用を支援 ○グループ旅行支援 4名以上のグループに対して経費の一部を支援				
		シャトルバス運行補助金	3,500	国際旅客ターミナルと境港駅間のシャトルバスの運行経費支援				
		計	4,600					
国際観光推進費	28,193	外国語版の観光パンフレット・観光案内地図等の増刷や非常勤職員配置などに要する経費。						
計	44,486							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

観光戦略課(内線:7421)

→事業実施:商工労働部市場開拓局販路拡大・輸出促進課(内線:7832)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとりの民芸振興事業	(5,769)	(7,295)	(△1,526)				(5,769)	
トータルコスト	(17,417千円(前年度 25,869千円)[正職員:1.5人])							
主な業務内容	事業の企画、関係機関との連絡調整、ホームページの管理・運営、情報収集等							
工程表の政策目標(指標)	県民の生活を豊かにし、本県のアイデンティティ(独自性、帰属意識)をともなっている民芸品をさらに振興し、観光資源としての活用を促進する。							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県にとって貴重な財産である和紙、緋、陶磁器、木工、玩具等の民芸の振興を図るため、国内外で情報発信を行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 情報発信事業	4,495	・「とっとりの手仕事」ホームページにおいて、県内の工房の紹介、催事案内などを行い、国内外に情報発信する。 ・大都市圏で民芸と観光情報を一体化した展示会を実施する。
(2) 愛用促進事業	25	民芸品を県庁で積極的に利用してもらうため、民芸品情報(製品、販売店舗)を検索できる「つかいもんデータベース」を管理・運営する。
(3) 民芸展示事業	150	公立図書館での「パネル巡回展示事業」と、県内4箇所での「公共施設展示事業」を実施し、民芸に対する理解と関心を深めるためのふれあいの場を提供する。
(4) 人材交流・育成事業	369	民芸事業者の技術や市場調査等の知識の向上、人的交流を図るための研修会を開催する。
(5) マスコミ誘致事業	730	本県の民芸品の魅力を広く発信するため、専門誌、生活情報誌等を誘致する。
(6) (廃止) トットリ・タイパイ展開催事業	0	平成26年度限りの事業のため廃止。
(7) (廃止) 体験型イベント開催事業	0	
計	5,769	

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費
 3 項 観光費
 1 目 観光費

観光戦略課（内線：7221）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 鳥取県・江原道観光連携事業	0	8,500	△8,500					
トータルコスト	0千円 (前年度10,048千円) [正職員：0人]							
主な業務内容								
工程表の政策目標(指標)								
事業内容の説明 (廃止) 鳥取県・江原道友好提携20周年を契機に江原道を訪れる外国人観光客の本県への誘客及び 両地域の県民・道民の観光交流の拡大を図るため、単年度事業として実施したため。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-5071）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取中部ふるさと広域連合との広域観光連携モデル事業	13,500	13,500	0				13,500	
トータルコスト	21,265千円（前年度21,239千円） [正職員：1.0人]							
主な業務内容	補助金交付事務、企画調整							
工程表の政策目標(指標)	鳥取中部広域観光ビジョンの推進							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>鳥取県中部圏域へ国内外からの観光誘客促進を図るため、県職員が鳥取中部ふるさと広域連合（以下「広域連合」という。）に駐在し、広域連合と連携を強化しながら中部圏域の広域観光振興を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業【13,000千円】</p> <p>広域連合が鳥取中部広域観光ビジョン（25年度に連携し広域連合が策定）に沿い、県の施策とも連携しながら実施する観光誘客事業について、必要な経費の一部を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/2 ・補助上限額 13,000千円 ・経費使途 人件費、広告宣伝費、委託料、県外旅行会社等招請旅費 等 ・モデル期間 3年間（平成25年度～27年度） <p>(2) 県職員の駐在に要する経費【500千円】</p> <p>観光業務担当職員が広域連合に駐在するための賃借料、光熱水費等</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から県の観光担当職員が広域連合に駐在し広域連合と連携した体制を構築し、広域観光振興に取り組んでいる。 ・「鳥取中部広域観光ビジョン」を連携して策定し、圏域市町等との情報交換、コミュニケーションを進め、取り組む方向のコンセンサス等が図れた。 ・「鳥取中部広域観光ビジョン」達成のため、中部圏域市町等をメンバーに「鳥取中部広域観光戦略会議」を設立し、「癒し」をキーワードに観光誘客について協議を進めている。 ・西部圏域から中部・東部を結ぶ県内初となる定期観光バスを運行するなど、東部や西部圏域と連携し圏域を超えた魅力創出と魅力発信、広域誘客に取り組んでいる。 ・地域の観光資源の掘り起こしと磨き上げ、それらを広域連携させ誘客促進につながる効果的な情報発信等を行っていく。 								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

中部総合事務所地域振興局（電話：0858-23-3177）

1目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業	500	500	0				500	
トータルコスト	1,277千円（前年度1,274千円）[正職員：0.1人]							
主な業務内容	補助金交付事務							
工程表の政策目標(指標)	鳥取中部広域観光ビジョンの推進							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 倉吉市出身で倉吉市名誉市民でもある故・第53代横綱琴櫻（先代佐渡ヶ嶽親方）を記念して開催される櫻杯争奪相撲選手権大会について、歴史・伝統に根差した地域振興を図り、賑やか活力ある地域づくりにつなげるため、開催を支援する。（補助金額（定額）：400千円） 2 主な事業内容 (1) 第37回櫻杯争奪相撲選手権大会（倉吉市） (2) 第31回わんぱく相撲全国大会派遣（両国国技館） 3 これまでの取組状況、改善点 ・ 昭和54年に第1回を開催した。県内外からの参加者（小・中学生）や佐渡ヶ嶽部屋などの関係者を迎え、中国地方有数の相撲大会として定着している。 ・ なお、第30回わんぱく相撲全国大会（平成26年8月3日開催）では、鳥取Aチームが団体戦で準優勝、個人戦でも準優勝（わんぱく大関）とベスト8（わんぱく小結）が各1人誕生と、好成績を収めた。								

平成 27 年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

西部総合事務所地域振興局（電話：0859-31-9371）

1 目 観光費 <地方機関計上予算>

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (雑入)	一般財源	
大山中海振興費	6,809	6,665	144			7	6,802	
トータルコスト	13,021千円（前年度：19,047千円） [正職員：0.8人、非常勤職員：1人]							
主な業務内容	二次交通（大山る一ぶバス）の整備支援、大山足湯整備補助金の支払い、観光客動向調査等							
工程表の政策目標(指標)	とっとりスタイルエコツーリズムの推進、スポーツツーリズムの推進							
事業内容の説明 1 事業の目的・概要 大山・中海エリアを訪れる観光客の利便性向上を図るため、観光二次交通の整備（大山る～ぶバスの運行支援）を行うとともに、西部管内における国際リゾート推進に向けた外国人観光客の動向調査、観光情報の収集等を行う。 2 主な事業内容 (1) 大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金 1,500千円 (2) 大山足湯整備補助金（平成27年度分） 193千円 (3) 指定管理施設運営評価委員会運営費 140千円 (4) 非常勤職員の配置（観光客動向調査、観光情報収集等） 1,808千円 (5) 事務費 3,168千円 3 これまでの取組状況、改善点 大山る一ぶバスの運行や大山寺参道の足湯整備などにより、観光客にとって地域の魅力を楽しむしやすい環境整備を進めている。一方、米子ソウル便、DBSクルーズに加え、大型クルーズ客船の寄港、海外からのチャーター便の増加など増加傾向にある外国人観光客に対応するため、国際リゾート推進に向けた取組を行う。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課 (内線: 7234)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)キャンプ地誘致 推進プロジェクト事業	20,872	0	20,872			(基金繰入金) 20,872		
トータルコスト	30,190千円 (前年度0千円) [正職員: 1.2人]							
主な業務内容	キャンプ地誘致に係る各種事業							
工程表の政策目標(指標)	2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマ スターズゲームズの開催を契機としたキャンプ地誘致等							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】							
1 事業の目的・概要	<p>2020年オリンピック・パラリンピック東京大会 (以下「オリ・パラ東京大会」という。)の成功に向けて応援するとともに、スポーツへの関心の高まり、交流人口の拡大、地域の活性化に資するため、次の取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリ・パラ東京大会の事前キャンプ地誘致に向け、拠点となる競技施設の整備を図るとともに、国内外トップチームの合宿の実績づくり、オリ・パラ東京大会の事前キャンプの誘致活動を展開する。 							
2 主な事業内容	<p>(1) 国内外トップチーム合宿支援 (11,850千円) 国内外トップチームの合宿に係る経費に対して、実行委員会を通じてその一部を支援する。</p> <p style="padding-left: 40px;">(想定する競技) 陸上、卓球 等</p> <p>(2) オリパラ東京大会事前キャンプ誘致活動費 (9,022千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ア) 県内施設紹介パンフレット作成 (1,500千円) イ) 競技関係者等招へい (3,200千円) ウ) 県内スポーツ関係情報一元化専用サイト制作 (3,322千円) エ) パブリックビューイング等開催 (1,000千円) <p>(参考) JOC競技別強化拠点(セーリング)整備 (18,896千円) (別掲: JOC競技別強化拠点(セーリング)整備等事業)</p>							
3 これまでの取組状況、改善点	<p>競技関係者等を招へいし、競技場の視察及びキャンプ地誘致に係る意見交換を実施した。</p>							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7911)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)とっとり生涯スポーツ創生事業	5,000	0	5,000				5,000											
トータルコスト	12,765千円 (前年度0千円) [正職員: 1.0人]																	
主な業務内容	生涯スポーツ振興のための各種事業																	
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>健康で活力に満ちた長寿社会の実現に向け、県民が生涯にわたって豊かに生きるための健康や体力の基礎を培い、心身の保持・増進を図るため、ライフステージに応じた運動・スポーツ活動を推進することが重要(生涯スポーツの振興)である。</p> <p>生涯スポーツ振興の気運づくり及び全国大会開催に伴う交流人口拡大等による地域活性化を目的として、関西ワールドマスタースゲームズの一部競技及びマスターズの全国大会の県内開催、本県発祥のグラウンド・ゴルフのブランド化を目指す取組を行う。</p>																		
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 関西ワールドマスタースゲームズの一部競技の県内開催に向けた取組 (※標準事務費対応)</p> <p>【県内開催に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内競技団体、市町村との連絡調整 ・ 関西ワールドマスタースゲームズ組織委員会との連絡調整 <p>(2) グラウンド・ゴルフのブランド化に向けた取組に対する支援 (5,000千円) (グラウンド・ゴルフのブランド化支援補助金(仮称)の概要)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助対象事業</td> <td>本県・市町村のブランド化を目的として、市町村や競技団体が行う次のような取組(2カ年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会や世界大会の開催 ・ 競技の普及・強化 ・ 国内外への情報発信 </td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>県内市町村、競技団体</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>2分の1</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>補助事業を実施するために県が必要と認める経費</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	補助対象事業	本県・市町村のブランド化を目的として、市町村や競技団体が行う次のような取組(2カ年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会や世界大会の開催 ・ 競技の普及・強化 ・ 国内外への情報発信 	事業主体	県内市町村、競技団体	補助率	2分の1	補助対象経費	補助事業を実施するために県が必要と認める経費
区 分	内 容																	
補助対象事業	本県・市町村のブランド化を目的として、市町村や競技団体が行う次のような取組(2カ年) <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国大会や世界大会の開催 ・ 競技の普及・強化 ・ 国内外への情報発信 																	
事業主体	県内市町村、競技団体																	
補助率	2分の1																	
補助対象経費	補助事業を実施するために県が必要と認める経費																	
<p>(3) マスタース全国大会の県内開催に向けた取組 (※標準事務費対応)</p> <p>【県内開催に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催可能な大会の調査・検討 ・ 県内競技団体、市町村との連絡調整 																		
<p>3 これまでの取組状況</p> <p>「関西ワールドマスタースゲームズ2021」開催に向け、「関西マスターススポーツフェスティバル」を鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の一部種目で開催した。</p>																		

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7920)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																	
競技力向上対策事業費	242,216	248,874	△6,658			(基金繰入金) 66,000 (雑入) 6,000	170,216																	
トータルコスト	249,205千円 (前年度255,839千円) [正職員: 0.9人]																							
主な業務内容	委託契約、確定検査																							
工程表の政策目標 (指標)	競技力の向上																							
事業内容の説明	【「こども未来基金」充当事業】																							
<p>1 事業の概要</p> <p>本県スポーツの競技力向上を図るとともに、スポーツ活動を通して県民に夢と感動を与える優秀な競技者を育成するため、競技団体等が実施する各種強化事業に対して支援する。(公財)鳥取県体育協会へ委託)</p>																								
<p>2 事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">I ジュニア強化</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">88,460</td> <td>目指せトップアスリート!!わかとりっこ育成</td> </tr> <tr> <td>競技者育成プログラムの活用・実践</td> </tr> <tr> <td>ジュニアクラブチームの育成・支援</td> </tr> <tr> <td>中学生選抜選手強化</td> </tr> <tr> <td>高等学校運動部指定強化</td> </tr> <tr> <td>特別ジュニア選手指定強化</td> </tr> <tr> <td>指導者の育成</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">II 成年強化</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">30,064</td> <td>大学運動部指定強化</td> </tr> <tr> <td>社会人等選手指定強化</td> </tr> <tr> <td>国体成年団体競技強化</td> </tr> </tbody> </table>								区分	予算額	事業内容	I ジュニア強化	88,460	目指せトップアスリート!!わかとりっこ育成	競技者育成プログラムの活用・実践	ジュニアクラブチームの育成・支援	中学生選抜選手強化	高等学校運動部指定強化	特別ジュニア選手指定強化	指導者の育成	II 成年強化	30,064	大学運動部指定強化	社会人等選手指定強化	国体成年団体競技強化
区分	予算額	事業内容																						
I ジュニア強化	88,460	目指せトップアスリート!!わかとりっこ育成																						
		競技者育成プログラムの活用・実践																						
		ジュニアクラブチームの育成・支援																						
		中学生選抜選手強化																						
		高等学校運動部指定強化																						
		特別ジュニア選手指定強化																						
		指導者の育成																						
II 成年強化	30,064	大学運動部指定強化																						
		社会人等選手指定強化																						
		国体成年団体競技強化																						

区 分		予算額	事 業 内 容
Ⅱ 成 年 強 化	優秀選手確保		社会人の優秀選手を確保するためにI. J. Uターンにより県内への就職を希望する選手に企業と選手のマッチングの支援を行い、選手を正規雇用する企業に奨励金（100万円）を支給する。
Ⅲ 特 別 強 化	特別指定競技強化	22,454	高い競技得点がねらえる有望な団体競技、過去に連続入賞実績のある競技を指定し、集中的な強化事業を実施する。（8競技、191人程度）
Ⅳ 条 件 整 備	医・科学サポート	82,514	県外の研究施設による体力分析や筋力トレーニング等の充実、医事・栄養指導を含めた医・科学サポート体制整備を実施する。
	国体等強化備品整備		国体のルール改正への対応や、老朽化や破損が著しく更新が必要なもの、競技力向上に効果的に役立つ備品を整備する。
	強化練習用消耗品等対策		強化練習や国体参加に係る強化関連費用について支援する。（セーリング消耗品（セール、スパーセット）、スケートリンク使用料、ヨットの運搬等）
	安全管理対策 強化推進		国体候補選手等のスポーツ安全対策を図る。 各競技団体との連絡・調整・指導等を行う。
Ⅴ委託事業人件費		18,724	競技力向上対策事業を委託執行するための3名の人件費
合 計（Ⅰ～Ⅴ）		242,216	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・近年のジュニア期一貫指導体制推進事業の成果が現れ、ジュニア選手の活躍が際立った。
- ・特に、重点強化した競技（ボート等）の活躍により、国体での好成績に繋がった。
- ・一方、成年期の強化は県内企業チームの解散や弱体化により選手確保が難しく、十分な成果が得られていない。
- ・限られた人材の中で効果的に競技力向上を行うためには、選手特性について科学的分析を可能とするサポート体制の整備が急務である。

（近年の国体成績結果）

年度	開催地	順位	競技得点	得点	
				少年得点	成年得点
H26	長崎	38位	390.0点	238.0点	152.0点
H25	東京	45位	220.0点	151.5点	68.5点
H24	岐阜	44位	260.5点	177.5点	83.0点
H23	山口	44位	228.0点	142.0点	86.0点
H22	千葉	46位	229.5点	128.5点	101.0点
H21	新潟	47位	198.5点	78.0点	120.5点

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7920)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考					
				国庫支出金	起債	その他	一般財源						
2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト	27,819	8,187	19,632			基金繰入金 24,985 (雑入) 18	2,816						
トータルコスト	61,209千円 (前年度12,830千円) [正職員: 4.3人、非常勤職員: 1.0人]												
主な業務内容	検討委員会の開催、委員との連絡調整、タレント発掘選考会の実施、育成プログラムの実施、講師との連絡調整												
工程表の政策目標 (指標)	競技力の向上												
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」、「こども未来基金」充当事業】												
1. 事業の概要	2020東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツ気運の向上と本県から東京オリンピック・パラリンピックへ出場する選手の輩出を目指すため、優秀なジュニア選手の発掘・育成、子どもたちとトップ選手との交流機会の創出、国際大会等へ日本代表として参加する選手及び指導者の支援を行う。												
2. 事業内容	(単位: 千円)												
区分	予算額	事業内容											
1. チーム鳥取! 発掘・育成事業	10,682	<p>オリンピック選手になり得る可能性を秘めた子どもたちを発掘し、トップアスリートに必要なプログラムを実施し、戦略的にトップアスリートの育成を図る。</p> <p>【対象者】 小学5・6年生及び中学1年生 【対象競技】 ボート、自転車、セーリング、カヌー、ライフル射撃、アーチェリー、ホッケー、レスリング (8競技)</p> <p>【検討委員会】 検討委員数: 11名 回数: 4回程度/年</p> <p>【2期生 (1年目)】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">県内全小中学校に募集</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">選考 (1次選考・2次選考)</div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">「チーム鳥取」候補者の認定</div> <p>【1期生 (2年目)】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>【共通プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体カトレーニング ・メンタルトレーニング ・スポーツ栄養指導 </td> <td style="width: 50%;"> <p>【体験プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8競技の体験 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【保護者プログラム】</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【競技選択アドバイス】</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">各運動部、競技団体に強化</div>						<p>【共通プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体カトレーニング ・メンタルトレーニング ・スポーツ栄養指導 	<p>【体験プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8競技の体験 	<p>【保護者プログラム】</p>		<p>【競技選択アドバイス】</p>	
<p>【共通プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体カトレーニング ・メンタルトレーニング ・スポーツ栄養指導 	<p>【体験プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8競技の体験 												
<p>【保護者プログラム】</p>													
<p>【競技選択アドバイス】</p>													

区 分	予算額	事 業 内 容
2. 夢！輝き情報発信事業	6,389	子どもたちとトップアスリート等とが触れあう機会を創出し、スポーツ機運の醸成を図る。 ○子どもたちとトップ選手の交流会等の開催支援事業を実施する競技団体へ助成 ・200千円×10団体 ○オリンピック出場経験のあるスポーツ指導員1名の確保
3. 世界で活躍する選手支援事業	10,748	国際大会等に日本代表として出場する選手及びコーチに対して遠征に必要な経費の一部を補助するとともに、海外から優秀な指導者を招聘して国際レベルで活躍する選手を支援する。 ○国際大会等に日本代表選手又はコーチとして参加する際の遠征費を補助 ・自己負担額の10/10 ○国際大会等に出場する機会の多い選手を指定し、競技活動を行う上で必要となる経費を補助 ・必要経費の10/10（上限500千円） ○海外の優秀指導者を招聘し、強化練習会等を実施する団体へ助成 ・10/10（旅費・報償費）
合 計（1+2+3）	27,819	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・これまでの強化策は、国体成績向上に向けたものが中心であったため、国際レベルの競技力向上を目指す取組が不十分であり、選手や競技団体を強化支援する体制づくりが急務である。
- ・東京オリンピック・パラリンピック出場選手を本県からより多く輩出するためには、これまでの取組を生かしつつ、スポーツ機運の醸成を図るとともに、チーム鳥取！発掘・育成など新たな施策を戦略的に展開することが必要である。
- ・日本代表として国際大会へ出場する選手及びコーチを財政的に支援できるチームや競技団体は限られており、度重なる遠征に対する財政支援が必要である。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7234）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (基金繰入金)	一般財源	
JOC競技別強化拠点（セーリング）整備等事業	18,896	56,715	△37,819			18,896		
トータルコスト	18,896千円（前年度61,358千円） [正職員：0.0人]							
主な業務内容	チャーター艇の整備、コーチングスタッフの確保							
工程表の政策目標（指標）	2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタースターズゲームズの開催を契機としたキャンプ地誘致等							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】							
1 事業の概要	<p>境港公共マリナーがJOC競技別強化センター（セーリング）の認定を受けたことに伴い、拠点として必要な機能や利便性の向上を図るための設備整備等を行う。</p>							
2 事業内容	<p>○チャーター艇の整備（14,040千円） ○コーチングスタッフの確保（4,856千円）</p>							
3 これまでの取組状況、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本セーリング連盟のJOC競技別強化センター候補地公募に、鳥取県セーリング連盟が境港公共マリナーを申請し、平成26年3月19日に認定を受けた。 ・JOC競技別強化センターとして活動していくために必要な新艇庫の建設、チャーター艇の整備、コーチングスタッフの配置等の整備を平成26年度から進めている。 							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7911）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「関西ワールドマスタースターズゲームズ2021」平成27年度負担金	13,667	12,500	1,167				13,667	
トータルコスト	13,667千円（前年度14,048千円） [正職員：0.0人]							
主な業務内容	関係機関連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタースターズゲームズの開催を契機としたキャンプ地誘致等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
「関西ワールドマスタースターズゲームズ2021」大会開催準備の必要経費（平成27年度分開催府県市負担金）について負担する。								
2 事業内容 （単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
「関西ワールドマスタースターズゲームズ2021」平成27年度開催準備費負担金	13,667	開催府県市負担金123,003千円のうち、本県割当額を負担する。 （123,003千円÷9府県市（鳥取県、京都府、兵庫県、滋賀県、和歌山県、徳島県、京都市、堺市、神戸市））						
<p>〔参考〕ワールドマスタースターズゲームズ（WMG）概要 国際マスタースターズゲームズ協会（IMGA）が原則4年ごとに主催する、30歳以上の成人・中高年のアスリートを対象とした生涯スポーツの国際競技大会。（近年開催都市：2009 シドニー、2013 トリノ。大会規模：選手参加者数107か国約15,000人（トリノ大会時））</p> <p>〔経過、今後の計画〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年12月 組織委員会（財団法人）設立、開催地契約締結 ・平成27年10月 実施種目、競技決定 ・平成28年10月 開催府県市決定 								
3 これまでの取組状況、改善点								
<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年秋、IMGAから関西広域連合に対して2021年WMGの関西大会開催の打診があった。 ・本大会は、生涯スポーツの推進、観光誘客、国際交流の促進等の点で意義の大きいものであることから、関西広域連合として大会招致について正式決定した。 ・本県でも生涯スポーツの推進等、大会の意義を踏まえ、一般財団法人関西ワールドマスタースターズゲームズ2021組織委員会の設立に参加している。 								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線：7921)

5目 スポーツ振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
国民体育大会派遣事業	83,554	98,423	△14,869				83,554													
トータルコスト	85,107千円 (前年度99,971千円) [正職員：0.2人]																			
主な業務内容	委託契約、確定検査																			
工程表の政策目標 (指標)	競技力の向上																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>公益財団法人鳥取県体育協会に委託して、国民体育大会県予選会を開催するとともに、中国ブロック大会・国民体育大会へ選手を派遣する。</p>																				
<p>2 主な事業内容 (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 65%;">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国民体育大会派遣費</td> <td style="text-align: center;">83,554</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会県予選会開催費 (40 競技) ・国民体育大会中国ブロック大会等派遣費 (806 人) ・国民体育大会派遣費 (681 人) <p style="text-align: center;">[開催地：H26長崎県→H27和歌山県]</p> </td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	国民体育大会派遣費	83,554	<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会県予選会開催費 (40 競技) ・国民体育大会中国ブロック大会等派遣費 (806 人) ・国民体育大会派遣費 (681 人) <p style="text-align: center;">[開催地：H26長崎県→H27和歌山県]</p>						
区分	予算額	事業内容																		
国民体育大会派遣費	83,554	<ul style="list-style-type: none"> ・国民体育大会県予選会開催費 (40 競技) ・国民体育大会中国ブロック大会等派遣費 (806 人) ・国民体育大会派遣費 (681 人) <p style="text-align: center;">[開催地：H26長崎県→H27和歌山県]</p>																		
(新) 第70回国民体育大会中国ブロック大会開催事業	21,077	0	21,077				21,077													
トータルコスト	22,630千円 (前年度0千円) [正職員：0.2人]																			
主な業務内容	契約業務、関係団体との連絡調整																			
工程表の政策目標 (指標)	競技力の向上																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>中国各県が持ち回りで開催している「第70回国民体育大会中国ブロック大会」を、平成27年度は鳥取県で開催する。</p>																				
<p>2 主な事業内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区分</th> <th style="width: 80%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主催</td> <td>日本体育協会・中国5県・中国5県教育委員会・中国5県体育協会</td> </tr> <tr> <td>主管</td> <td>鳥取県実行委員会・本県競技団体 (33 競技)</td> </tr> <tr> <td>日程</td> <td>平成27年5月～8月</td> </tr> <tr> <td>開催予定地</td> <td>鳥取市・米子市中心 (県外開催3 競技を含む)</td> </tr> <tr> <td>参加見込</td> <td>約5,200人 (監督・選手3,700人、競技役員1,500人)</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	主催	日本体育協会・中国5県・中国5県教育委員会・中国5県体育協会	主管	鳥取県実行委員会・本県競技団体 (33 競技)	日程	平成27年5月～8月	開催予定地	鳥取市・米子市中心 (県外開催3 競技を含む)	参加見込	約5,200人 (監督・選手3,700人、競技役員1,500人)
区分	内容																			
主催	日本体育協会・中国5県・中国5県教育委員会・中国5県体育協会																			
主管	鳥取県実行委員会・本県競技団体 (33 競技)																			
日程	平成27年5月～8月																			
開催予定地	鳥取市・米子市中心 (県外開催3 競技を含む)																			
参加見込	約5,200人 (監督・選手3,700人、競技役員1,500人)																			
<p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <p>○持ち回り順</p> <p>平成22年度 鳥取県 (以降 岡山県→広島県→山口県→島根県)</p> <p>平成27年度 鳥取県</p>																				

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課(内線：7921)

5目 スポーツ振興費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
競技スポーツ推進事業	3,304	3,174	130				3,304	
トータルコスト	4,857千円(前年度4,722千円) [正職員：0.2人]							
主な業務内容	戦力分析、情報収集、国体入賞者の表彰							
工程表の政策目標(指標)	競技力の向上							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>本県選手の競技力に関する戦力分析・情報収集を行うとともに、国体や国際大会等の入賞者に対する知事表彰を行い、各選手の競技力向上に対する意識や、県民の競技スポーツに対する意識の高揚を図る。</p>								
2 主な事業内容 (単位：千円)								
区 分	予算額	事業内容						
競技力向上対策費	1,104	国体知事表彰及び鳥取県スポーツ顕彰を行う。						
国体等派遣選手指導費	2,200	競技団体との情報交換、国体での選手への指導や戦力分析及び情報収集を行う。						
合 計	3,304							
3 これまでの取組状況、改善点								
【鳥取県スポーツ顕彰の状況】								
平成4年度～平成25年度・・・山下佐知子他 18名受賞								
平成26年度・・・谷口 彰 (スキー ソチパラリンピック 7位)								
河端朋之 (自転車 第17回アジア競技大会 個人2位 団体3位)								
川中香緒里 (アーチェリー 第17回アジア競技大会 団体3位)								
【国民体育大会知事表彰の状況】								
H25・・・86名が受賞								
H26・・・133名が受賞								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課(内線:7920)

5目 スポーツ振興費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
競技力向上のための指導者の確保事業	40,291	37,756	2,535			(雑入) 94	40,197	
トータルコスト	43,397千円(前年度40,852千円) [正職員:0.4人、非常勤職員5.0人]							
主な業務内容	スポーツ教室等の企画・運営・指導、競技力向上指導							
工程表の政策目標(指標)	競技力の向上							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を指導者本人の適性や状況に応じて確保する。								
2 事業内容 (単位:千円)								
区分	人数	予算額	事業内容					
スポーツ指導員	5	21,944	スポーツ課に配置するスポーツ指導員5名分の人件費 (陸上2名、バドミントン1名、空手1名、カヌー1名)					
体育指導員	2	10,920	(公財)鳥取県体育協会に配置するスポーツ指導員1名分の人件費を支援する。 (セーリング1名、ホッケー1名)					
私立学校	2	5,002	県内私立高校の指導員2名分の人件費の1/2を支援する。					
(新規)市町村	1	2,425	地域に根ざした競技スポーツの普及・強化のための牽引者として市町村に配置する指導者1名分の人件費の1/2を支援する。 ・H27はモデル事業として1町に配置予定					
合計	10	40,291						
※別途、2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト事業でスポーツ指導員1名を配置する。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7921）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
スポーツ審議会費	429	1,003	△574				429													
トータルコスト	1,982千円（前年度2,551千円） [正職員：0.2人]																			
主な業務内容	審議会の開催																			
工程表の政策目標（指標）	スポーツを軸とした地域活性化																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>本県スポーツの推進に関する重要事項について調査審議・建議するために、スポーツ審議会を開催する。</p>																				
<p>2 事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>検 討 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>審議会運営費</td> <td style="text-align: center;">429</td> <td>スポーツ推進計画の進捗管理を含め、本県のスポーツに関わる内容について審議し、本県のスポーツ推進の方向性を検討する。</td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	検 討 内 容	審議会運営費	429	スポーツ推進計画の進捗管理を含め、本県のスポーツに関わる内容について審議し、本県のスポーツ推進の方向性を検討する。						
区分	予算額	検 討 内 容																		
審議会運営費	429	スポーツ推進計画の進捗管理を含め、本県のスポーツに関わる内容について審議し、本県のスポーツ推進の方向性を検討する。																		
公益財団法人鳥取県体育協会運営費補助金	102,906	95,424	7,482				102,906													
トータルコスト	104,459千円（前年度96,972千円） [正職員：0.2人]																			
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査																			
工程表の政策目標（指標）	スポーツを軸とした地域活性化																			
事業内容の説明																				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>公益財団法人鳥取県体育協会の円滑な運営に資するため、その運営費のうちスポーツ振興に係るものに対して支援する。</p>																				
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: center;">95,764</td> <td>評議員、理事 816 会 長 962 専 務 理 事 4,855（1人） 事務局職員 38,379（8人） 体育指導員 50,752（18人）</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: center;">7,142</td> <td>事務局の運営に要する経費である。</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">102,906</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	事業内容	人件費	95,764	評議員、理事 816 会 長 962 専 務 理 事 4,855（1人） 事務局職員 38,379（8人） 体育指導員 50,752（18人）	事務費	7,142	事務局の運営に要する経費である。	合 計	102,906	
区分	予算額	事業内容																		
人件費	95,764	評議員、理事 816 会 長 962 専 務 理 事 4,855（1人） 事務局職員 38,379（8人） 体育指導員 50,752（18人）																		
事務費	7,142	事務局の運営に要する経費である。																		
合 計	102,906																			

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

2目 計画調査費

スポーツ課（内線：7919）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取方式の芝生化促進事業	14,334	18,287	△3,953			(財産収入) 9 (基金繰入金) 14,325		
トータルコスト	18,217千円（前年度22,157千円）[正職員：0.5人]							
主な業務内容	NPOとの連携、庁内関係課との連絡調整、普及啓発、支援事業の実施							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】							
1 事業の目的・概要	子どもたちが自由に運動したり、遊んだりする保育所・幼稚園の園庭、小学校の校庭の芝生化について、NPO等の様々な主体と連携しながら拡大を図る。							
2 主な事業内容	（単位：千円）							
区分	予算	内容						
県民等への情報発信、普及啓発	708	・「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」に、鳥取方式の芝生化を促進するイベント等の開催に要する経費を補助する。						
芝生化の支援	12,653	・保育所・幼稚園の園庭芝生化への支援 @1,000千円×5園=5,000千円 ・小学校校庭芝生化モデル校への支援 @500円/m ² ×2校×7,000m ² （校庭平均面積） =7,000千円 ・芝生化に取り組む保育所・幼稚園及び小学校への指導助言 653千円						
プロジェクトチームでの部局横断的な芝生化の促進	600	・庁内関係課に加え鳥取方式の芝生化を促進するNPOをアドバイザーとして迎えたプロジェクトチームで、部局横断的に芝生化に取り組む。						
県施設の芝生化の積極的な検討	373	・県施設での芝生化に取り組むため、初期投資費用、維持管理費を含めて最適な芝生の導入手法を検討する。						
合計	14,334							
3 これまでの取組状況、改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度新たに保育所・幼稚園4園（倉吉東保育園、よどえババール園、キッズタウンさくら保育園、ひかり保育園）、小学校1校（西伯小学校）の芝生化に対して支援を行った。 ・県内の保育所・幼稚園231園のうち、113園（約49%）が芝生化済（うち鳥取方式71園） ・県内の小学校140校のうち、38校（約27%）が芝生化済（うち鳥取方式23校）である。 ・「鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク」と連携し、第4回「鳥取方式」芝生化アカデミーを平成26年11月3日（月祝）に開催し、約40名の参加者による交流を深めた。 							

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線：7919)

2目 計画調査費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ガイナレ鳥取と連携した地域づくり推進事業	5,753	6,053	△300			(基金繰入金) 5,753		
トータルコスト	10,412千円 (前年度10,696千円) [正職員：0.6人]							
主な業務内容	委託事務の実施							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】

1 事業の目的・概要

県がガイナレ鳥取との間で締結した包括連携協定に基づき、県民がガイナレ鳥取の選手とふれ合い、相互理解と親近感の醸成を進める場を設けることにより、ガイナレ鳥取を鳥取の誇りと感じてもらいつつ、充実した県民生活や地域の活性化を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区 分	予 算	内 容
鳥取方式の芝生化とスポーツを通じた地域づくり事業	5,753	<ul style="list-style-type: none"> 全ての地域住民の方を対象に、体を動かして楽しめるいろいろな遊び、スポーツを開催する。 事業と並行して鳥取方式の芝生化の魅力を感じてもらうことで、芝生化の理解促進を図る。 (東部地区、中部地区、西部地区でそれぞれ開催) ガイナレ鳥取が自治会、地域づくり団体、幼稚園等へ訪問し、協働して地域イベント等に取り組み、その上で地域の子どもたちと体を動かしながら触れ合う。 (年間30回程度実施を予定) <p>委託先：株式会社SC鳥取</p>

3 これまでの取組状況、改善点

事業内容	H24年度	H25年度	H26年度 (見込)
サッカー教室またはスポーツ教室の企画・運営及び鳥取方式の芝生化のPR	19回	34回	11回
地域住民とふれあう取組への選手の派遣	30回	30回	31回

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考																																														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																																															
体育施設運営費	285,430	264,018	21,412			(雑入) 10	285,420																																															
トータルコスト	290,089千円（前年度267,888千円） [正職員：0.6人、非常勤職員：1.0人]																																																					
主な業務内容	指定管理者との調整、委託料の支払																																																					
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化																																																					
事業内容の説明																																																						
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県立社会体育施設の管理運営を円滑に行うため、指定管理者に施設の管理運営を委託し、必要な備品の整備を行う。</p> <p>また、米子市との体育施設交換後の東山水泳場の指定管理者の選定業務等を併せて行う。</p>																																																						
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>予算額</th> <th>指定管理者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営委託費</td> <td>鳥取産業体育館及び鳥取屋内プール</td> <td style="text-align: right;">61,461</td> <td>(公財) 鳥取県体育協会</td> </tr> <tr> <td>倉吉体育文化会館</td> <td style="text-align: right;">43,200</td> <td>(公財) 鳥取県体育協会</td> </tr> <tr> <td>米子産業体育館</td> <td style="text-align: right;">28,780</td> <td>(公財) 鳥取県体育協会</td> </tr> <tr> <td>武道館</td> <td style="text-align: right;">65,426</td> <td>(公財) 鳥取県体育協会</td> </tr> <tr> <td>ライフル射撃場</td> <td style="text-align: right;">983</td> <td>鳥取県ライフル射撃協会</td> </tr> <tr> <td>米子屋内プール</td> <td style="text-align: right;">25,077</td> <td>(公財) 鳥取県体育協会</td> </tr> <tr> <td>東山水泳場</td> <td style="text-align: right;">26,475</td> <td>(一財) 鳥取県水泳連盟(予定)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">指定管理者選定委員会開催経費</td> <td style="text-align: right;">118</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">備品購入</td> <td style="text-align: right;">13,476</td> <td>卓球台、空手マット等</td> </tr> <tr> <td colspan="2">非常勤職員1名配置</td> <td style="text-align: right;">2,469</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他経費</td> <td style="text-align: right;">17,965</td> <td>需用費、役務費等</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">285,430</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									区分		予算額	指定管理者	管理運営委託費	鳥取産業体育館及び鳥取屋内プール	61,461	(公財) 鳥取県体育協会	倉吉体育文化会館	43,200	(公財) 鳥取県体育協会	米子産業体育館	28,780	(公財) 鳥取県体育協会	武道館	65,426	(公財) 鳥取県体育協会	ライフル射撃場	983	鳥取県ライフル射撃協会	米子屋内プール	25,077	(公財) 鳥取県体育協会	東山水泳場	26,475	(一財) 鳥取県水泳連盟(予定)	指定管理者選定委員会開催経費		118		備品購入		13,476	卓球台、空手マット等	非常勤職員1名配置		2,469		その他経費		17,965	需用費、役務費等	合計		285,430	
区分		予算額	指定管理者																																																			
管理運営委託費	鳥取産業体育館及び鳥取屋内プール	61,461	(公財) 鳥取県体育協会																																																			
	倉吉体育文化会館	43,200	(公財) 鳥取県体育協会																																																			
	米子産業体育館	28,780	(公財) 鳥取県体育協会																																																			
	武道館	65,426	(公財) 鳥取県体育協会																																																			
	ライフル射撃場	983	鳥取県ライフル射撃協会																																																			
	米子屋内プール	25,077	(公財) 鳥取県体育協会																																																			
	東山水泳場	26,475	(一財) 鳥取県水泳連盟(予定)																																																			
指定管理者選定委員会開催経費		118																																																				
備品購入		13,476	卓球台、空手マット等																																																			
非常勤職員1名配置		2,469																																																				
その他経費		17,965	需用費、役務費等																																																			
合計		285,430																																																				

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課 (内線: 7919)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
体育施設改修費	56,475	39,713	16,762				56,475	
トータルコスト	60,358千円 (前年度41,261千円) [正職員: 0.5人]							
主な業務内容	施設改修に係る関係機関・施設との調整							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

スポーツ活動の拠点としてふさわしい環境の整備を図るため、県立社会体育施設の維持、老朽化に伴う改修工事を行う。

2 主な事業内容

区 分	予算額	事業内容
鳥取屋内プール外部鉄部改修工事	12,785	プール外部鉄骨の根元部分の錆割れと付け根部分の腐食があり、放置しておくと鉄骨が折れ落下する危険性があるため、改修工事を行う。 ・設計委託料: 902千円 ・工事請負費: 11,883千円
鳥取産業体育館高架水槽棟改修工事	12,634	高架水槽の架台の状況は、高所手摺部分及び足場の金属が錆の腐食により破損及び欠損状態となっている。水道法第34条の2第2項の規定による簡易専用水道法定検査判定基準不適合となっているため、改修工事を行う。 ・設計委託料: 937千円 ・工事請負費: 11,697千円
米子産業体育館外壁改修工事	31,056	建設後32年経過し、建物全体の塗装にひび割れ、剥がれが生じている。内部の鉄筋が腐食し、コンクリートが剥がれており、破片が飛ぶなど人や物に被害が及ぶ可能性があるため、改修工事を行う。 ・設計委託料: 1,795千円 ・工事請負費: 29,261千円
合 計	56,475	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
倉吉自転車競技場運営費	190,768	4,815	185,953				190,768	
トータルコスト	193,098千円（前年度6,363千円）[正職員：0.3人]							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

自転車競技の強化拠点施設として整備し、大規模な大会及び国内外のトップチームの合宿の誘致により本県アスリートの競技力向上を図るため、倉吉自転車競技場のトレーニングセンター及び駐車場整備に必要な経費について、公益財団法人鳥取県体育協会に対して補助する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
倉吉自転車競技場管理運営費	4,358	倉吉自転車競技場の管理について、公益財団法人鳥取県体育協会が特定非営利活動法人たかしろに管理委託しており、その経費を支援する。
公益財団法人鳥取県体育協会事務局費	939	倉吉自転車競技場の管理のために必要となる公益財団法人鳥取県体育協会の事務局職員の旅費等経費の一部を支援する。
トラック改修、トレーニングセンター改築、駐車場整備費（※）	185,471	平成28年度インターハイ会場、大規模な大会及び国内外のトップチームの合宿の誘致の環境整備に要する経費を支援する。
合計	190,768	

※改修に要する経費280,013千円に対してJKA補助金94,542千円あり

【公益財団法人JKA補助金概要】

項目	内容
交付対象者	公益財団法人等
補助対象経費	自転車競技施設の建築、改修
補助率、限度額	トレーニングセンター改築：2/3 150,000千円 トラック改修：2/3 30,000千円

3 これまでの取組状況、改善点

昭和60年「わかとり国体」開催にあたり、基本方針として「国体の主会場については、県が整備する」こととしていたが、公益財団法人鳥取県体育協会が整備することにより公益財団法人日本自転車振興会から補助を受けることができ財源的に有利だったため、県が公益財団法人鳥取県体育協会に依頼して昭和58年に整備した。（補助要件：「公益財団法人鳥取県体育協会が整備すること」）

事業主体は、公益財団法人鳥取県体育協会となるが、公益財団法人鳥取県体育協会負担分は全額県が負担し、整備後の管理運営等に係る経費についても県が全額補助している。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課 (内線: 7919)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考										
				国庫支出金	起債	その他	一般財源											
(新)クライミング施設整備事業	37,887	0	37,887			(雑入) 20,000	17,887											
トータルコスト	39,440千円 (前年度0千円) [正職員: 0.2人]																	
主な業務内容	制作委託契約、連絡調整																	
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化																	
事業内容の説明																		
<p>1 事業の目的・概要 山岳競技の競技力向上及び競技の普及を図るため、クライミング施設を整備する。</p>																		
<p>2 主な事業内容 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リード壁</td> <td style="text-align: center;">37,887</td> <td>高さ18m、幅8m、1基</td> </tr> </tbody> </table>									区分	予算額	仕様	リード壁	37,887	高さ18m、幅8m、1基				
区分	予算額	仕様																
リード壁	37,887	高さ18m、幅8m、1基																
【スポーツ振興くじ助成制度】																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象者</td> <td>地方公共団体等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>スポーツ競技施設の整備に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>限度額</td> <td>20,000千円</td> </tr> </tbody> </table>									項目	内容	交付対象者	地方公共団体等	補助対象経費	スポーツ競技施設の整備に要する経費	補助率	2/3	限度額	20,000千円
項目	内容																	
交付対象者	地方公共団体等																	
補助対象経費	スポーツ競技施設の整備に要する経費																	
補助率	2/3																	
限度額	20,000千円																	
<p>3 これまでの取組状況、改善点 山岳は本県のお家芸であり、現在のクライミング競技が導入された第57回高知国体以降、継続的に入賞しており、本県の国体競技得点に大きく寄与している。 県は、2箇所のクライミング施設を整備しているが、更なる競技得点の獲得のため国体基準の高さ15m以上のリード壁の整備が求められている。</p> <p>(参考: 既存の県立クライミング施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民体育館リード壁 (高さ12m、幅3m) ・県立鳥取中央育英高等学校ボルダリング壁 (高さ7m、幅7m) 																		

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7919）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
スポーツ・レクリエーション事業	7,470	7,636	△166				7,470	

トータルコスト 12,129千円（前年度12,279千円） [正職員：0.6人]

主な業務内容 申請書の審査、負担金交付、確定検査、競技団体との連絡調整

工程表の政策目標（指標） スポーツを軸とした地域活性化

事業内容の説明

1 事業の概要

県民のスポーツに対する意欲・関心を高めるとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現と健康・体力の保持増進を図るため、鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭を開催し、本県の生涯スポーツの普及振興を図る。

2 事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	事 業 内 容
鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業負担金	7,428	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の開催経費を負担する。 ・事業主体：鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会 ・実施種目：水泳、陸上、スキー他 40種目 ・期 日：夏季大会 平成27年8月29日～30日 秋季大会 平成27年10月24日～25日 冬季大会 平成28年2月14日 ・対象経費：実行委員会費及び競技運営費
関西マスターズスポーツフェスティバル各府県市負担金	42	関西マスターズスポーツフェスティバル開催に係る各府県市経費を負担する。 ・負担先：関西マスターズスポーツフェスティバル実行委員会 ・経費内訳：共通経費10千円、賞状代32千円
合 計	7,470	

3 これまでの取組状況・改善点

- ・競技スポーツとレクリエーションスポーツを同時に開催しているスポレク祭は、競技スポーツの競技性が薄れているという関係者の声を踏まえ、平成26年度から地区予選会を経て県大会に出場する地域代表種目について、予選会開催費用の一部を支援した。
- ・関西ワールドマスターズゲームズ2021の気運を盛り上げるために実施する関西版マスターズゲームズ大会（関西マスターズスポーツフェスティバル）を兼ねて開催する種目には、別途開催費用の一部を負担する。

〔県民スポレク祭の参加状況〕

H21	H22	H23	H24	H25
12,025人	12,182人	11,907人	11,445人	10,540人

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7919）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
日韓スポーツ交流事業	6,913	2,821	4,092				6,913	
トータルコスト	9,243千円（前年度3,595千円） [正職員：0.3人]							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査、委託業務、関係団体との連絡調整							
工程表の政策目標（指標）	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

1 事業の概要

スポーツ交流を通じた国際友好、スポーツの振興を図るため、公益財団法人鳥取県体育協会と大韓民国江原道体育会が協定に基づいて行う日韓スポーツ交流事業の費用について支援するとともに、県と大韓民国江原道生活体育会において、生涯スポーツ分野に係る日韓生涯スポーツ交流事業を実施する。

2 事業内容

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
(1) 日韓スポーツ交流事業	1,915	スポーツ交流を通して日韓の友好とスポーツ振興を図るため、（公財）鳥取県体育協会が実施するスポーツ交流試合等の経費を支援する。（平成27年度は本県が派遣） ・実施時期：平成27年12月上旬予定 ・事業実施主体：公益財団法人鳥取県体育協会 ・人数：江原道60人、鳥取県46人 ・競技：サッカー、アーチェリー等
(2) 日韓生涯スポーツ交流事業	4,998	県と大韓民国江原道生活体育会において、生涯スポーツ分野に係る日韓生涯スポーツ交流事業を実施する。（平成27年度は本県が受入） ・実施時期：平成27年10月下旬予定 ・事業実施主体：鳥取県 ・人数：江原道41人、鳥取県46人 ・競技：3競技程度予定
合計	6,913	

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 日韓スポーツ交流事業

・平成13年度から交流を開始し、平成27年度で第15回目となる。

(2) 日韓生涯スポーツ交流事業

・平成19年度に生涯スポーツ分野での交流事業を開始し、平成20年度以降中断していたが、平成27年度から再開する方向で、鳥取県と江原道生活体育会で調整中である。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

5目 スポーツ振興費

スポーツ課（内線：7919）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツによる情報 発進・地域おこし支援 事業	18,542	15,285	3,257				18,542	
トータルコスト	23,978千円（前年度16,059千円）[正職員：0.7人]							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

スポーツを通して鳥取県の情報発信や地域おこしを行うため、本県で生まれ育った全国的な大会や全国的なチームに対して支援する。

2 主な事業内容

（単位：千円）

区 分	予算額	補助率	事 業 内 容
日本海駅伝競走大会運営事業	1,000	定額	日本海駅伝競走大会の運営費を支援する。 補助対象者：新日本海新聞社
ガイナレ鳥取J3ア ウェイゲーム遠征事業	12,010	1/2	ガイナレ鳥取の県外アウェイゲーム遠征費の一部を支援する。 補助対象者：株式会社SC鳥取
ガイナレサッカース クール運営事業	2,525	1/2	ガイナレ鳥取が運営するサッカースクールの運営費の一部を支援する。 補助対象者：株式会社SC鳥取
宇佐美杯鳥取県空手道 選手権大会運営事業	300	定額	宇佐美杯鳥取県空手道選手権大会の運営費を支援する。 補助対象者：鳥取県空手道連盟
（組替）都道府県対抗 駅伝強化費補助事業	1,600	定額	都道府県対抗駅伝強化費を補助する。 補助対象者：鳥取陸上競技協会
（組替）因幡・但馬ジ オパーク地域交流陸上 競技大会	357	1/2	因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会の運営費を支援する。 補助対象者：因幡・但馬ジオパーク地域交流陸上競技大会実行委員会
（組替）全国大会等推 進費事業	750	定額	全日本ユースボルダリング選手権大会2014の開催費を支援する。 補助対象者：鳥取県山岳協会 期 日：平成27年5月16日～17日 場 所：県立倉吉体育文化会館
（組替）「新生」鳥取マ ラソン支援事業	-	-	※平成27年3月15日（日）に開催する鳥取マラソン2015大会の実績を踏まえ、改めて予算化を検討する。
合 計	18,542		

※全国大会等推進費について、関係市町村補助金750千円

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7919)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生涯スポーツ推進費	628	1,745	△1,117				628	
トータルコスト	6,840千円 (前年度4,841千円) [正職員: 0.8人]							
主な業務内容	協議会の運営、講習会等の開催							
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

地域スポーツの推進を担う鳥取県スポーツ推進委員協議会の運営や協議会が実施する研究大会等の一部補助と、リーダー研修会の開催、中央講習会への受講者派遣を行い、スポーツ推進委員の資質向上と活動の活性化を図る。また、総合型地域スポーツクラブ運営の中心となるアシスタントマネジャー講習会を開催し、クラブの活性化を支援する。

2 主な事業内容

区 分	予算額	事業内容
生涯スポーツ活動推進事業	374	各市町村におけるスポーツ推進を図るため、スポーツ推進委員の資質向上と活動の活性化に関する支援を行う。 ・鳥取県スポーツ推進委員協議会への助成 ・スポーツ推進委員リーダー研修会の開催 ・市町村等への助言、県民への普及啓発
総合型地域スポーツクラブ支援事業	254	生涯スポーツを推進し、スポーツを通じた地域づくりに向けて核となる総合型地域スポーツクラブの育成と活動の充実を支援するための講習会を開催する。 ・クラブアシスタントマネジャー講習会の開催
計	628	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7919)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源															
(新) 県立体育施設バリアフリー化事業	5,983	0	5,983		<1,400> 2,000		3,983	県費負担 5,383														
トータルコスト	6,760千円 (前年度0千円) [正職員: 0.1人]																					
主な業務内容	施設改修に係る関係機関・施設との調整																					
工程表の政策目標(指標)	スポーツを軸とした地域活性化																					
事業内容の説明																						
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>2020年東京パラリンピック開催に向けて、障がい者スポーツの環境整備を積極的に図るため、県立社会体育施設のバリアフリー化を推進する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th rowspan="2">事業費</th> <th colspan="2">設計委託料</th> <th rowspan="2">工事請負費</th> <th rowspan="2">主な改修内容</th> </tr> <tr> <th>設計委託料</th> <th>工事請負費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥取県立鳥取産業体育館</td> <td>137,574</td> <td>5,983</td> <td>131,591</td> <td></td> <td>エレベーター設置、多目的トイレ設置、トイレ洋式化、2階観客席設置</td> </tr> </tbody> </table> <p>※上記工事請負費は概算額であり、実施設計で金額を精査してから予算要求を行う。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、行政機関及びスポーツ関係団体が意見を交わす場として設置された「スポーツ戦略会議」で、障がい者スポーツの普及のため、県立体育施設のバリアフリー化の提言があった。 これを受けて、障がい者スポーツ団体、施設利用者、施設管理者が共同で施設を点検した。 障がい者スポーツ団体の意向を踏まえ、年次的に実地点検結果項目の改修を進めるものである。 米子産業体育館、県立武道館については、平成26年度に設計委託を行っている。 									施設名	事業費	設計委託料		工事請負費	主な改修内容	設計委託料	工事請負費	鳥取県立鳥取産業体育館	137,574	5,983	131,591		エレベーター設置、多目的トイレ設置、トイレ洋式化、2階観客席設置
施設名	事業費	設計委託料		工事請負費	主な改修内容																	
		設計委託料	工事請負費																			
鳥取県立鳥取産業体育館	137,574	5,983	131,591		エレベーター設置、多目的トイレ設置、トイレ洋式化、2階観客席設置																	

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置額を除いた金額である。

備考欄の県費負担額は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

12目 障がい者自立支援事業費

スポーツ課 (内線: 7675)

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
障がい者スポーツ競技力向上事業	25,096	16,755	8,341				25,096																
トータルコスト	26,649千円 (前年度18,303千円) [正職員: 0.2人]																						
主な業務内容	委託契約業務等																						
工程表の政策目標(指標)	競技力の向上																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>2020年東京パラリンピック開催決定を契機に障がい者スポーツへの関心がさらに高まっている。本県出身の選手が全国障害者スポーツ大会や東京パラリンピック等で活躍できるよう、よりレベルの高い選手や指導者の育成を行い、競技力の向上を図る。</p> <p>【委託先】鳥取県障がい者スポーツ協会</p>																							
<p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 国内大会や国際大会で活躍する選手の育成 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人競技の競技力向上</td> <td>強化選手を指定し、合宿や県外・海外遠征の実施や強化トレーニングを実施する。 (選手には、県体育協会加盟の競技団体にも所属する指導者をコーチとして配置する。)</td> <td style="text-align: center;">9,329</td> </tr> <tr> <td>団体競技の競技力向上</td> <td>団体競技チームの強化のため、練習会や合宿を実施する。 (知的障がい者のソフトボールとバスケットボールは、特別支援学校生徒も交えた合同練習会を開催する。)</td> <td style="text-align: center;">3,186</td> </tr> <tr> <td>(新) 医科学サポートの実施</td> <td>競技力の底上げを図るため、適切な動作指導や、栄養指導、アンチドーピング講習会等を実施する。</td> <td style="text-align: center;">546</td> </tr> <tr> <td>県立特別支援学校運動部の強化 (県教委から移管)</td> <td>ジュニア選手の発掘、育成、強化のため県立特別支援学校運動部を強化指定し、活動を支援する。</td> <td style="text-align: center;">2,210</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	予算額	個人競技の競技力向上	強化選手を指定し、合宿や県外・海外遠征の実施や強化トレーニングを実施する。 (選手には、県体育協会加盟の競技団体にも所属する指導者をコーチとして配置する。)	9,329	団体競技の競技力向上	団体競技チームの強化のため、練習会や合宿を実施する。 (知的障がい者のソフトボールとバスケットボールは、特別支援学校生徒も交えた合同練習会を開催する。)	3,186	(新) 医科学サポートの実施	競技力の底上げを図るため、適切な動作指導や、栄養指導、アンチドーピング講習会等を実施する。	546	県立特別支援学校運動部の強化 (県教委から移管)	ジュニア選手の発掘、育成、強化のため県立特別支援学校運動部を強化指定し、活動を支援する。	2,210
区 分	内 容	予算額																					
個人競技の競技力向上	強化選手を指定し、合宿や県外・海外遠征の実施や強化トレーニングを実施する。 (選手には、県体育協会加盟の競技団体にも所属する指導者をコーチとして配置する。)	9,329																					
団体競技の競技力向上	団体競技チームの強化のため、練習会や合宿を実施する。 (知的障がい者のソフトボールとバスケットボールは、特別支援学校生徒も交えた合同練習会を開催する。)	3,186																					
(新) 医科学サポートの実施	競技力の底上げを図るため、適切な動作指導や、栄養指導、アンチドーピング講習会等を実施する。	546																					
県立特別支援学校運動部の強化 (県教委から移管)	ジュニア選手の発掘、育成、強化のため県立特別支援学校運動部を強化指定し、活動を支援する。	2,210																					
<p>(2) 競技活動を支える体制の整備 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指導者の指導力向上</td> <td>県外へ指導者を派遣し優れた指導方法を身につけてもらうなど、県内指導者の指導力向上及び指導体制の充実を図る。</td> <td style="text-align: center;">667</td> </tr> <tr> <td>実施体制の整備</td> <td>競技力向上策を県障がい者スポーツ協会において実施していくため、協会に専任のスポーツ指導員を配置し、体制整備を図る。</td> <td style="text-align: center;">8,443</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	予算額	指導者の指導力向上	県外へ指導者を派遣し優れた指導方法を身につけてもらうなど、県内指導者の指導力向上及び指導体制の充実を図る。	667	実施体制の整備	競技力向上策を県障がい者スポーツ協会において実施していくため、協会に専任のスポーツ指導員を配置し、体制整備を図る。	8,443						
区 分	内 容	予算額																					
指導者の指導力向上	県外へ指導者を派遣し優れた指導方法を身につけてもらうなど、県内指導者の指導力向上及び指導体制の充実を図る。	667																					
実施体制の整備	競技力向上策を県障がい者スポーツ協会において実施していくため、協会に専任のスポーツ指導員を配置し、体制整備を図る。	8,443																					
<p>(3) 東京パラリンピックに向けたトレーニングセンター誘致 (単位: 千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競技別強化拠点の誘致活動</td> <td>東京パラリンピックの開催に向けて、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点を本県へ誘致するための活動を行う。</td> <td style="text-align: center;">715</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	内 容	予算額	競技別強化拠点の誘致活動	東京パラリンピックの開催に向けて、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点を本県へ誘致するための活動を行う。	715									
区 分	内 容	予算額																					
競技別強化拠点の誘致活動	東京パラリンピックの開催に向けて、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点を本県へ誘致するための活動を行う。	715																					

平成27年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

スポーツ課 (内線: 7675)

12目 障がい者自立支援事業費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
全国障害者スポーツ大会派遣等事業	14,259	16,801	△2,542				14,259	
トータルコスト	15,036千円 (前年度17,575千円) [正職員: 0.1人]							
主な業務内容	委託契約業務等							
工程表の政策目標(指標)	競技力の向上							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国民体育大会後に開催される「全国障害者スポーツ大会」への鳥取県選手団の派遣等に係る業務を鳥取県障がい者スポーツ協会に委託して行う。

2 主な事業内容

(単位: 千円)

事業名	予算額	内容
全国障害者スポーツ大会派遣	6,628	全国障害者スポーツ大会へ個人競技選手、団体競技チーム、オープン競技チームを派遣する。 [委託先: 鳥取県障がい者スポーツ協会]
全国障害者スポーツ大会中・四国ブロック予選会派遣	5,780	全国障害者スポーツ大会団体競技への出場チームを決定するための中・四国ブロック予選会に県代表チームを派遣する。 [委託先: 鳥取県障がい者スポーツ協会]
個人競技選手選考会の開催	726	全国障害者スポーツ大会個人競技への出場選手を選考するための選考会を開催する。 [委託先: 鳥取県障がい者スポーツ協会]
オープン競技選手選考会の開催	104	全国障害者スポーツ大会オープン競技への出場チームを決定するための選考会を開催する。 [委託先: 鳥取県障がい者スポーツ協会]
鳥取県選手団強化練習会の開催	858	全国障害者スポーツ大会へ出場する個人競技選手に対して強化練習会を開催する。 [委託先: 鳥取県障がい者スポーツ協会]
標準事務費	163	
合計	14,259	

平成27年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費 福祉保健部障がい福祉課（内線：7675）→事業実施：スポーツ課

1 2 目 障がい者自立支援事業費 (単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
障がい者スポーツ振興事業	36,741	20,754	15,987	1,138			35,603	
トータルコスト	36,741千円(前年度20,754千円) [正職員：0.0人]							
主な業務内容	委託契約業務、委託事業所との連絡調整等							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

障がいの有無に関わらず積極的にスポーツに参加できる環境づくりのため、各種スポーツ大会の開催を通じて障がい者スポーツの振興を図る。

また、障がい者スポーツの充実が求められる中、鳥取県障がい者スポーツ協会がその役割を担えるよう、職員体制及び人件費の見直しを行い、運営体制の充実を図る。

2 主な事業内容

(単位：千円)

事業名	予算額	内 容
障がい者スポーツ大会開催支援事業	2,276	鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会の開催に要する経費を助成する。 〔補助先：鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会実行委員会〕
鳥取県障がい者スポーツ協会運営事業	29,604	鳥取県障がい者スポーツ協会の運営・事業実施のため、協会運営に係る経費（人件費、事務費）を助成する。 〔補助先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
スペシャルオリンピックス日本鳥取運営事業	4,667	知的障がい者スポーツ振興を図るための組織体制が強化されるよう事務局機能の支援を行うため、鳥取県障がい者スポーツ協会に継続してスポーツ指導員1名を配置する。 〔補助先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
江原道との障がい者スポーツ交流事業	194	江原道とスポーツ交流することにより、相互理解と有効を深め、本県の障がい者スポーツの一層の発展を図る。 〔補助先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕
合 計	36,741	

3 これまでの取組状況

各種スポーツ大会開催への支援及び鳥取県障がい者スポーツ協会の運営体制の充実を図るための支援を継続的に行い、障がい者がスポーツに取り組む環境づくりを行ってきた。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

福祉保健部障がい福祉課（内線：7675）→事業実施：スポーツ課

12目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
障がい者スポーツ機会創出事業	2,669	2,429	240	1,334			1,335																
トータルコスト	2,669千円（前年度 2,429千円）[正職員：0.0人]																						
主な業務内容	委託契約業務等																						
工程表の政策目標(指標)	-																						
事業内容の説明																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>障がい者の生活の向上のためには豊かな地域生活の保障が必要であり、その手段として地域で日常的にスポーツ活動が行える環境整備と機会の創出を図るため、スポーツ教室を開催する。 また、障がい者がスポーツ活動に参加する際のコーディネートや指導、補助等を行う障がい者スポーツ指導員の養成を行う。</p>																							
<p>2 主な事業内容 （単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>予算額</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツ教室開催事業</td> <td style="text-align: center;">1,788</td> <td>スポーツをしたいと思う障がい者が気軽に参加できる機会の創出のため土日を含めた通年型のスポーツ教室を開催する。また、障がい者や施設等からの求めに応じ、スポーツをする場（プール、体育館等）にスポーツ指導員を派遣し、必要な指導を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕</td> </tr> <tr> <td>障害者スポーツ指導員養成事業</td> <td style="text-align: center;">381</td> <td>障がい者スポーツの振興・普及を図るため、障がいを正しく理解し、障がい者スポーツのルール等について知識・技能を習得した「初級」障がい者スポーツ指導員の養成を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕</td> </tr> <tr> <td>スポーツフェスティバル開催事業</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td>障がいのある人もない人も参加できるスポーツ大会を開催し、参加者全員が経験や体験を共有することにより、障がい者の社会参加と県民の障がい者への理解を促進する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: center;">2,669</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									事業名	予算額	内 容	スポーツ教室開催事業	1,788	スポーツをしたいと思う障がい者が気軽に参加できる機会の創出のため土日を含めた通年型のスポーツ教室を開催する。また、障がい者や施設等からの求めに応じ、スポーツをする場（プール、体育館等）にスポーツ指導員を派遣し、必要な指導を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕	障害者スポーツ指導員養成事業	381	障がい者スポーツの振興・普及を図るため、障がいを正しく理解し、障がい者スポーツのルール等について知識・技能を習得した「初級」障がい者スポーツ指導員の養成を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕	スポーツフェスティバル開催事業	500	障がいのある人もない人も参加できるスポーツ大会を開催し、参加者全員が経験や体験を共有することにより、障がい者の社会参加と県民の障がい者への理解を促進する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕	合 計	2,669	
事業名	予算額	内 容																					
スポーツ教室開催事業	1,788	スポーツをしたいと思う障がい者が気軽に参加できる機会の創出のため土日を含めた通年型のスポーツ教室を開催する。また、障がい者や施設等からの求めに応じ、スポーツをする場（プール、体育館等）にスポーツ指導員を派遣し、必要な指導を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕																					
障害者スポーツ指導員養成事業	381	障がい者スポーツの振興・普及を図るため、障がいを正しく理解し、障がい者スポーツのルール等について知識・技能を習得した「初級」障がい者スポーツ指導員の養成を行う。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕																					
スポーツフェスティバル開催事業	500	障がいのある人もない人も参加できるスポーツ大会を開催し、参加者全員が経験や体験を共有することにより、障がい者の社会参加と県民の障がい者への理解を促進する。 〔委託先：鳥取県障がい者スポーツ協会〕																					
合 計	2,669																						

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7919）

2目 計画調査費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
〔組替・廃止〕「新生」 鳥取マラソン支援事業	0	5,080	△5,080			(基金繰入金) 5,000	80	
トータルコスト	0千円（前年度6,628千円）〔正職員：－〕							
主な業務内容	大会運営・実行委員会等調整、負担金支出							
工程表の政策目標(指標)	－							
事業内容の説明								
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業へ組み入れたため。								

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課（内線：7919）

5目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
〔組替・廃止〕都道府 県対抗駅伝強化費補 助金	0	1,600	△1,600				1,600	
トータルコスト	0千円（前年度2,374千円）〔正職員：－〕							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	－							
事業内容の説明								
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業へ組み入れたため。								
〔組替・廃止〕因幡・ 但馬ジオパーク地域 スポーツ交流事業	0	433	△433				433	
トータルコスト	0千円（前年度1,207千円）〔正職員：－〕							
主な業務内容	申請書の審査、補助金交付、確定検査							
工程表の政策目標(指標)	－							
事業内容の説明								
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業へ組み入れたため。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

スポーツ課 (内線: 7919)

5目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
〔組替・廃止〕全国大会等推進費	0	1,000	△1,000				1,000	
トータルコスト	0千円 (前年度1,774千円) [正職員: -]							
主な業務内容	大会運営・実行委員会等調整、負担金支出							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業へ組み入れたため。								

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツ課 (内線: 7919)

4目 スポーツ振興費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(廃止) 県営米子屋内プール耐震化推進事業	0	301,858	△301,858			(基金繰入金) 78,623	223,235	
トータルコスト	0千円 (前年度304,954千円) [正職員: -]							
主な業務内容	改修に係る工事内容の調整・進行管理・各種調整・予算管理等							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
(廃止) 事業完了による。								

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

1 目 観光費

まんが王国官房(内線:7238)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国発 ソフトパワー事業	209,438	248,793	△39,355			(基金繰入金) 202,692 (雑入) 27	6,719	
トータルコスト	256,028千円(前年度287,488千円) [正職員:6人 非常勤職員:3人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、市町村・民間との連絡調整、外部有識者対応、マンガ家等との交渉							
工程表の政策目標(指標)	観光客の増加、認知度の向上など、まんがで鳥取県を元気にする。							
事業内容の説明	【「鳥取力創造運動推進基金」充当事業】							
1 事業の目的・概要								
「まんが王国とっとり」として、本県の強みであるまんがの力を活用して地域振興を図るため、観光誘客に資する事業など情報発信力の強い事業を専門家のアドバイスを得ながら実施する。								
2 主な事業内容								
(1) 外部の専門家の活用								
区 分	予算額	内 容						
(新) まんが王国とっとりプロデュース会議	3,600	外部専門家のアドバイスを得るため、プロデュース会議を新設する。(メンバー3名)						
(2) まんがを活かした地域振興								
区 分	予算額	内 容						
(新) 名探偵コナンミステリーツアー実施	15,000	4月から11月まで関係市町と連携して、JR西日本の人気企画旅行を実施						
(新) 「名探偵コナンイラスト列車」増設	9,288	コナンのふるさとをより強く演出するため、山陰本線等を運行しているコナン列車を増設(現在1編成→2編成)						
(新) 「鳥取砂丘コナン空港」愛称化記念イベント開催	3,000	愛称化の認知度向上と観光誘客を目的としたイベントを開催(時期:4~5月、場所:鳥取砂丘コナン空港内)						
名探偵コナンまつり開催	7,630	「鳥取砂丘コナン空港」愛称化記念イベントとして実施(時期:8月、場所:鳥取市内)						
ゲゲゲの鬼太郎タイアップ旅行商品造成・販売	7,000	旅行会社と連携して、限定オリジナルグッズ付プランによる誘客対策を実施(時期:10~3月)						
(新) 谷口ジローを生んだクールトトリ情報発信	1,620	谷口ジロー氏に密着取材して、海外に向けた情報発信を実施(ジャパンエキスポ開催までに、取材しフランス及び国内で情報発信)						
ジャパンエキスポ共同出展	8,000	ジャパンエキスポに行政と民間が共同で出展し、クールトトリを発信するとともに県内のクリエイター等に海外における市場調査と販路拡大の機会を提供(時期:7月2日~5日、場所:フランス パリ)						
関西広域連合との共同プロモーション	1,000	海外において関西広域連合と共同プロモーションを実施						
出版社との連携	8,964	地元コンテンツ企業によるアニメ作品の制作・公開						
計	61,502							

(3) 市町村・民間との連携

区 分	予算額	内 容
地域イベント開催支援補助	22,000	民間団体が取り組む全国発信できるイベントを支援 ○第五次米子映画事変 ・11月 米子市で開催 限度額 18,000千円 ○第10回ゆるキャラカップin鳥取砂丘 ・11月 鳥取市で開催 限度額 4,000千円
国家戦略プロジェクト推進補助	44,000	市町村、民間団体の、まんがを活用したまちづくりの取組を積極的に支援 ○拠点整備支援 ・補助率 1/2 限度額 8,000千円 採択団体数 4市町 ○協働推進（公募型） ・補助率 1/2 限度額 2,000千円 採択団体数 8団体
(新)日本SF大会“米魂”出展	1,000	米子市で開催予定の「日本SF大会」に出展（時期：8月29・30日、場所：米子コンベンションセンター）
「怪フォーラム」出展	1,559	岩手県で開催予定の「怪フォーラム」に出展〔観光戦略課から移管〕（時期：9月21日、場所：岩手県遠野市）
海外イベント出展	2,300	旅行博、物産展等の海外プロモーションに参加し、併せてまんが王国をPR
まんが関連イベント参加	2,000	○県外で開催されるイベントに臨機応変に出展
高知県との連携	6,800	○ニコニコ超会議、秋フェス等への出展による首都圏での共同PR ○両県によるイベント出展
国際マンガサミットへの参加	610	著名漫画家との人脈を構築し、最新情報を収集（時期：11月、場所：韓国大田市）
計	80,269	

(4) 文化振興・人材育成

区 分	予算額	内 容
国際マンガコンテスト開催	11,723	本県発の国際マンガコンテストを継続開催し、新たな人材の発掘・育成とともに、海外ネットワークを拡大 ・公募：4～8月、入賞者発表：2月）
全日本声優コンテスト「声優魂」鳥取大会開催	1,870	声優をめざす中高生が夢を実現する機会として、全国規模のコンテストの地方大会を実施
県内漫画家活動支援	1,080	技能向上と発表の機会の確保を図るため、県内で創作活動を行っている漫画家の活動を支援 ・県内の漫画家で構成する団体の活動支援 ・地域まんが教室開催 ・県内で創作活動中の漫画家、クリエイターと地元企業とのビジネスマッチング
コンテンツビジネスサロンの開催	1,054	県内でコンテンツ産業に携わる人の技術向上の場として、全国的に活躍しているプロデューサー等を講師とした研修会等を開催（商工労働部と連携して実施）
計	15,727	

(5) 情報発信・その他

区 分	予算額	内 容
漫画家・クリエイター等との意見交換	800	まんが王国とっとりプロデュース会議メンバー以外の漫画家・クリエイターを随時招へいし、意見交換を実施
情報発信	32,797	○「まんが王国とっとり通信」の発行（A3判、年4回、約9千部） ○「まんが王国とっとり」概要説明等刊行物の発行 ○ホームページ管理運営 ○市町村と連携した情報発信 ○着ぐるみPR活動 ○著作物使用料
非常勤職員人件費	6,746	非常勤職員3名
事務費	7,997	事務用品購入、通信運搬に要する経費等
計	48,340	

3 これまでの取組状況、改善点

- 平成26年度の事業棚卸し等で、効果検証した上でのメリハリのある事業実施、外部の専門家の活用について提言があり、まんが王国とっとりプロデュース会議を新設して対応する。
- 平成24年、「まんが王国とっとり」を建国し、「国際まんが博」「国際マンガサミット」を開催した。これを契機とし、これまでに県、市町村、民間でまんがを活用した地域振興の芽生えがみられる。これまでの県主導の大型イベントの実施から市町村・民間の取組への支援へと軸足を移し、総力戦で取り組む。

平成27年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7238)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)まんが王国海外インバウンド促進事業	30,000	0	30,000				30,000	
トータルコスト	33,106千円(前年度0千円)[正職員:0.4人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施、施工監督、懇話会との連絡調整(空港港湾課・交通政策課と連携)							
工程表の政策目標(指標)	観光客の増加、認知度の向上など、まんがで鳥取県を元気にする。							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>「鳥取砂丘コナン空港」「米子鬼太郎空港」を活用して、海外からの観光客を増加させるため、海外に向けた情報発信及び鳥取空港コナン化装飾を実施する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>(1) 海外に向けた情報発信 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○海外メディア向けプレスツアー、プレスリリースの実施 ○両空港及び県内まんが関連施設を紹介する多言語のホームページ、リーフレットの制作 ○国際チャーター便ウェルカムイベントによる情報発信 <p>(2) 鳥取空港コナン化装飾 25,000千円</p> <p>鳥取空港がコナンのメッカとして、国内外から多くの観光客を誘致するため、コナン化装飾を充実させる第2期整備を行う。</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まんがは、クールジャパンのひとつとして、世界から注目されている。本県は「まんが王国とっとり」を建国し、まんがの活用による地域づくりを先導してきた。水木しげるロードや青山剛昌ふるさと館をはじめ、海外からの誘客に有力な素材があり、これらは本県ならではの地域の宝である。 ○マンガのキャラクターが愛称となっている空港は、世界でも例がない。しかも本県には東西に2空港あり、昨年11月の鳥取空港の愛称決定は海外でも広く報道された。 ○2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催をにらみ、海外での鬼太郎、コナンの知名度を活かし、海外インバウンドを強力に進め、観光振興による地方創生を図りたい。 								

組織改正に伴う移管事業(部局間移管) 一覧

観光戦略課 → (商工労働部)市場開拓局 販路拡大・輸出促進課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
とっとりの民工芸振興事業	5,769	7,295	△ 1,526				5,769
合計	5,769	7,295	△ 1,526				5,769

(福祉保健部)障がい福祉課 → スポーツ課

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳			
				国庫支出金	起債	その他	一般財源
障がい者スポーツ振興事業(一部移管)	36,741	20,754	15,987	1,138			35,603
障がい者スポーツ機会創出事業	2,669	2,429	240	1,334			1,335
合計	39,410	23,183	16,227	2,472			36,938

(単位：千円)

節	款 項 目	2 款 総務費						3 款 民生費		
		うち文化観光局							うち文化 観光局	
		2 項 企画費								
		1 目 企画総務費	2 目 計画調査費	3 目 交通対策費	5 目 スポーツ振 興費					
1	報 酬	507,921	88,818	88,818	54,500	8,723		25,595	399,004	
2	給 料	2,900,796	159,057	159,057	159,057				1,553,580	
3	職員手当等	4,800,703	81,753	81,753	81,753				887,228	
4	共 済 費	1,098,660	70,028	70,028	65,098	937		3,993	588,627	
5	災 害 補 償 費	500								
6	恩給及び退職年金	21,787								
7	貸 金	35,262							2,169	
8	報 償 費	280,565	6,810	6,810	1,206	2,930	900	1,774	58,134	
9	旅 費	244,053	53,052	53,052	33,019	12,158	150	7,725	65,797	163
	費用弁償	26,384	8,338	8,338	3,730	2,379		2,229	9,652	
	普通旅費	175,762	25,510	25,510	14,968	6,325		4,217	37,845	163
	特別旅費	41,907	19,204	19,204	14,321	3,454	150	1,279	18,299	
10	交 際 費	3,600								
11	需 用 費	552,756	23,995	23,995	10,135	6,827		7,033	187,809	
12	役 務 費	581,707	20,406	20,406	8,595	7,093		4,718	91,315	
13	委 託 料	4,974,235	1,518,864	1,518,864	48,053	775,145	67,800	627,866	3,008,144	41,861
14	使用料及び賃借料	630,027	26,164	26,164	14,795	8,739		2,630	68,150	
15	工 事 請 負 費	1,194,987	328,380	328,380		275,539		52,841	68,163	
16	原 材 料 費									
17	公有財産購入費									
18	備 品 購 入 費	236,628	49,071	49,071	400	20,164		28,507	42,160	
19	負担金、補助及び交付金	7,973,790	842,266	842,266	68,854	233,198	112,769	427,445	32,871,795	36,741
20	扶 助 費								1,757,265	
21	貸 付 金								38,302	
22	補償、補填及び賠償金	2,000								
23	償還金、利子及び割引料	186,000							12,996	
24	投 資 及 び 出 資 金									
25	積 立 金	134,053							243,333	
26	寄 付 金								1,250	
27	公 課 費	267							83	
28	繰 出 金								1,435	
	予 備 費									
	計	26,360,297	3,268,664	3,268,664	545,465	1,351,453	181,619	1,190,127	41,946,739	78,765
財 源 内 訳	国庫支出金	1,909,555	34,500	34,500		34,500			3,139,468	2,472
	地方債	479,000	2,000	2,000				2,000		
	その他	2,621,759	372,315	372,315	30,827	184,613		156,875	3,064,032	
	一般財源	21,349,983	2,859,849	2,859,849	514,638	1,132,340	181,619	1,031,252	35,743,239	76,293

(単位：千円)

款 項 目 節	3款 民生費		7款 商工費					文化観光局 合計	
	うち文化観光局		うち文化観光局						
	1項 社会福祉費			1項 商業費	3項 観光費				
		12目 障がい者自 立支援事業 費			3目 金融対策費	1目 観光費			
1 報 酬			87,166	15,649			15,649	15,649	104,467
2 給 料			447,579	110,970			110,970	110,970	270,027
3 職員手当等			228,327	56,610			56,610	56,610	138,363
4 共 済 費			204,026	41,768			41,768	41,768	111,796
5 災 害 補 償 費									
6 恩給及び退職年金									
7 賃 金									
8 報 償 費			701,580	4,751			4,751	4,751	11,561
9 旅 費	163	163	99,693	37,463			37,463	37,463	90,678
費用并償			21,263	4,014			4,014	4,014	12,352
普通旅費	163	163	49,380	21,313			21,313	21,313	46,986
特別旅費			29,050	12,136			12,136	12,136	31,340
10交 際 費									
11需 用 費			67,874	35,194			35,194	35,194	59,189
12役 務 費			45,968	16,833			16,833	16,833	37,239
13委 託 料	41,861	41,861	717,683	327,365			327,365	327,365	1,888,090
14使用料及び賃借料			153,092	35,514			35,514	35,514	61,678
15工 事 請 負 費			147,925	55,928			55,928	55,928	384,308
16原 材 料 費									
17公有財産購入費									
18備 品 購 入 費			3,432						49,071
19負担金、補助及び交付金	36,741	36,741	7,159,274	429,629			429,629	429,629	1,308,636
20扶 助 費									
21貸 付 金			688,383	20,524	20,524	20,524			20,524
22補償、補填及び賠償金									
23償還金、利子及び割引料									
24投 資 及 び 出 資 金			1,500						
25積 立 金									
26寄 付 金									
27公 課 費			199						
28繰 出 金			17,542						
予 備 費									
計	78,765	78,765	10,771,243	1,188,198	20,524	20,524	1,167,674	1,167,674	4,535,627
財 源									
内 國 庫 支 出 金	2,472	2,472	30,629						36,972
内 地 方 債			86,000						2,000
内 そ の 他			971,089	271,295	20,524	20,524	250,771	250,771	643,610
内 一 般 財 源	76,293	76,293	9,683,525	916,903			916,903	916,903	3,853,045

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款 総務費		
2 項 企画費		
1 目 企画総務費		
給料	一般職員	43人
報酬	国際交流員	14人
負担金、補助 及び交付金	ブラジルー鳥取交流センター設立20周年記念事業補助金	1,000
	第21回環日本海拠点都市会議参加都市負担金	3,215
	国内交流トライアル補助金	3,500
	日韓友好資料館企画運営委員会負担金	500
	モンゴル農業研修員生活支援補助金	224
	モンゴル留学生支援補助金	1,940
	自治体国際化協会負担金	1,344
	海外旅行傷害保険負担金	52
	C I R 日本語講座集中研修負担金	34
	鳥取県国際交流財団事業費補助金	49,325
	国際交流拠点整備費負担金	6,000
	海外県人会活動支援補助金	1,000
	青年海外協力隊帰国報告会開催支援補助金	400
	青年海外協力隊普及広報活動支援補助金	320
2 目 計画調査費		
報酬	とっとり伝統芸能まつり出演団体選定委員	6人
	鳥取県文化芸術活動支援補助金交付対象事業選定委員	4人
	鳥取県美術展覧会運営委員	19人
	鳥取県ジュニア美術展覧会運営委員	10人
	鳥取県文化芸術振興審議会委員	10人
	鳥取県文化芸術事業評価委員	15人
	鳥取県文化功労賞知事表彰選考委員	5人
	鳥取県立米子コンベンションセンター床機構改修業務選定委員	3人
	とっとりアートスタートモデル事業企画選定委員	5人
	非常勤職員 (監視員)	6人
	非常勤職員	3人
負担金、補助 及び交付金	鳥取県文化団体連合会活動支援補助金	20,511
	鳥取県アーティストリゾート・地域モデル創成事業補助金	15,000
	鳥取県文化芸術活動支援補助金	9,600
	ととりの文化芸術探訪事業補助金	2,900
	青少年のための弦楽入門講座開催支援事業補助金	2,718
	芸術・文化に親しみやすい環境整備支援事業補助金	1,000
	学校における芸術文化事業 (芸術鑑賞教室等) 補助金	10,000
	鳥取県魅力ある展示支援事業補助金	1,600
	鳥取県收藏品等調査・活用支援事業補助金	700
	鳥取県文化団体連合会国際交流支援事業補助金	2,235
	(財) 地域創造負担金	2,413
	エンジン01負担金	30
	鳥取県アートスタート活動支援事業補助金	1,500
	アーティスト・リゾートとっとり芸術祭開催事業補助金	39,000
	鳥の劇場運営委員会補助金	30,000
	鳥取県アーティスト滞在促進事業補助金	2,500
	地域の伝統芸能魅力発見・発信事業補助金	2,000
	鳥取県総合芸術文化祭開催事業補助金	46,298
	鳥取県総合芸術文化祭実行委員会事務局運営費補助金	30,485
	保育所・幼稚園の園庭芝生化補助金	5,000
	小学校校庭芝生化モデル創出補助金	7,000

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
2 款	総務費	
2 項	企画費	
2 目	計画調査費	
負担金、補助及び交付金	鳥取方式の芝生化全国サポートネットワーク補助金	708
3 目	交通対策費	
負担金、補助及び交付金	「ようこそ鳥取県」国際チャーター便促進支援補助金	31,566
	米子ーソウル国際定期便に係る運航経費補助金	71,203
	山陰国際観光協議会負担金 (米子ソウル便利用促進事業)	10,000
5 目	スポーツ振興費	
報酬	非常勤職員	1人
	スポーツ指導員	6人
	指定管理審査委員会委員	4人
	鳥取県スポーツ審議会委員	12人
	2020東京オリンピック・パラリンピック関連事業検討委員	11人
負担金、補助及び交付金	ジュニア期一貫指導体制推進事業補助金	269
	2020東京オリンピック・パラリンピック代表選手育成プロジェクト事業補助金	12,748
	集まれ!トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業補助金	18,896
	「関西ワールドマスターズゲームズ2021」平成27年度負担金	13,667
	第70回国民体育大会中国ブロック大会開催負担金	21,077
	競技力向上のための指導者の確保事業補助金	18,347
	(公財)鳥取県体育協会運営費補助金	102,906
	倉吉自転車競技場管理運営費補助金	190,768
	県民スポーツ・レクリエーション祭開催費負担金	7,428
	関西マスターズスポーツフェスティバル開催府県市負担金	42
	日韓スポーツ交流事業費補助金	2,515
	スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業補助金	18,542
	鳥取県スポーツ推進委員協議会補助金	190
	国内外トップチーム合宿経費助成負担金	11,850
	オリンピック・パラリンピック東京大会事前キャンプ誘致活動補助金	3,200
	とっとり生涯スポーツ創生事業補助金	5,000
3 款	民生費	
1 項	社会福祉費	
1 2 目	障がい者自立支援事業費	
負担金、補助及び交付金	鳥取さわやか車いすマラソン&湖山池ハーフマラソン大会開催費補助金	2,276
	鳥取県障がい者スポーツ協会運営事業補助金	34,271
	鳥取県障がい者スポーツ国際交流事業費補助金	194
7 款	商工費	
1 項	商業費	
3 目	金融対策費	
貸付金	観光開発促進資金貸付金	20,524
3 項	観光費	
1 目	観光費	
給料	一般職員	30人
報酬	国際マンガコンテスト審査員	10人
	鳥取県立大山駐車場指定管理施設運営評価委員	4人
	非常勤職員	8人
負担金、補助及び交付金	三徳山重要遺跡発掘調査補助金	2,100
	文化資産学習会開催助成支援補助金	400
	(公社)日本観光振興協会負担金	718
	(公社)日本観光振興協会全国広域観光振興事業負担金	700
	(公社)日本観光振興協会中国支部負担金	120
	(公社)日本観光振興協会観光情報システム分担金	200

節 の 明 細

項 目	金額 (千円) 等
7 款 商工費	
3 項 観光費	
1 目 観光費	
負担金、補助及び交付金	
中国地域観光推進協議会負担金	50
山陰観光連盟負担金	324
(一社)日本スポーツツーリズム推進機構負担金	50
とっとりコンベンションビューロー運営費交付金	27,402
コンベンション開催助成費補助金	24,800
(公社)鳥取県観光連盟運営費負担金	88,229
テレビ番組等誘致、制作支援補助金	2,400
「行きたいとっとり」支援補助金	5,000
「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バス旅行商品支援)	15,000
「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(旅行商品造成支援)	5,000
「ぐるっと山陰」誘客促進事業補助金(バスポート作成支援)	5,000
宿泊促進WEB対策補助金	25,000
温泉地を愉しむ空間創出プロジェクト補助金	2,814
いなば温泉郷協議会支援補助金	1,310
皆生温泉にぎわい創出事業実行委員会支援補助金	6,000
山陰観光推進協議会負担金	10,000
因幡・但馬・丹後観光協議会負担金	500
鳥取・岡山観光協議会負担金	2,000
「ディスカバーウエスト」連携協議会負担金	5,000
鳥取自動車道活性化協議会負担金	900
NEXCO西日本連携キャンペーン負担金	420
ニューツーリズム普及促進支援補助金	12,500
教育旅行誘致推進事業補助金	3,000
クルーズ客船受入推進事業	6,580
周遊バス運行支援補助金	4,120
イルミネーション支援補助金	5,000
観光二次交通整備支援補助金	32,691
鳥取空港-鳥取砂丘間乗合タクシー運行支援補助金	915
中国地区広域観光検討部会負担金	2,500
中国地方インバウンドフォーラム負担金	1,000
山陰国際観光協議会負担金(外国人観光客誘致対策委員会)	4,000
京都・兵庫・鳥取三府県広域観光推進実行委員会負担金	1,000
関西国際空港内観光案内所整備運営協議会負担金	1,313
国際観光振興機構負担金	680
東アジア地方政府観光フォーラム恒久事務局運営負担金	1,200
山陰国際観光推進協議会負担金(環日本海国際定期貨客船利用促進事業)	4,600
サイクルトレイン実証運行支援事業補助金	2,000
ジャパンエコトラック推進協議会負担金	500
まんが王国とっとり地域イベント推進補助金	22,000
まんが王国とっとり国家戦略プロジェクト推進補助金	44,000
県内漫画家活動支援補助金	300
名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会負担金	15,000
アジアMANGAサミット賛助会費	100
鳥取中部圏域広域観光連携モデル事業補助金	13,000
SUN-IN未来ウオーク開催支援事業補助金	1,000
韓国人ウォーカー誘客促進事業補助金	1,000
ワールドトレイルコンファレンス誘致促進事業補助金	800
ワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会実行委員会負担金	4,800
櫻杯争奪相撲選手権大会支援事業補助金	400

節 の 明 細

項 目		金額 (千円) 等
7 款	商工費	
3 項	観光費	
1 目	観光費	
負担金、補助 及び交付金	大山エリア観光二次交通整備推進協議会負担金	1,500
	湯ったりだいせん足湯整備費補助金	193
	エコツーリズム推進事業補助金	2,800
	全日本トライアスロン皆生大会開催支援補助金	5,000
	皆生・大山SEA TO SUMMIT開催支援補助金	1,000
	アウトドアスポーツフェスタ開催支援補助金	500
	中海オープンウォータースイム開催支援補助金	750
	日野郡ニューツーリズム推進事業補助金	450

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度未までの支出額又は
支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

当該年度提出に係る分

事 項	限 度 額	前年度未までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳					
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	特 定 財 源			一 般 財 源		
						国庫支出金	地 方 債	そ の 他			
平成27年度 米子コンベンションセンター床機 構改修工事	千円 856,964			平成28年度	856,964	千円	千円	千円	千円	千円	856,964
平成27年度 米子一ソフル国際定期便運行経 費補助	142,406			平成28年度から 平成29年度まで	142,406						142,406

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

過年度議決済に係る分

事 項	限 度 額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左 の 財 源 内 訳					
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	国庫支出金 千円	地 方 債 千円	特 定 財 源			一般財源 千円
								そ の 他 千円			
平成22年度 足湯整備費補助	千円 2,025	平成23年度から 平成26年度まで	772	平成27年度から 平成31年度まで	965					965	
平成24年度 バスポート発給業務委託	140,000	平成25年度から 平成26年度まで	55,807	平成27年度から 平成29年度まで	84,193				(手数料) 75,000	9,139	
平成25年度 バスポート発給業務委託	3,192	平成26年度	798	平成27年度から 平成29年度まで	2,394					2,394	
小計	143,192	平成25年度から 平成26年度まで	56,605	平成27年度から 平成29年度まで	86,587				(手数料) 75,000	11,533	
平成25年度 鳥取県立県民文化会館管理委託	1,212,200	平成26年度	241,854	平成27年度から 平成30年度まで	967,417				32,400	935,017	
平成25年度 鳥取県立倉吉未来中心管理委託	488,145	平成26年度	97,629	平成27年度から 平成30年度まで	390,516					390,516	
平成25年度 鳥取県立重謡館管理委託	373,450	平成26年度	74,690	平成27年度から 平成30年度まで	298,760					298,760	
平成25年度 鳥取県立米子コンベンションセンター管理委託	660,862	平成26年度	130,478	平成27年度から 平成30年度まで	530,259					530,259	
平成25年度 鳥取県立夢みなとタワー管理委託	592,145	平成26年度	113,286	平成27年度から 平成30年度まで	453,144					453,144	

平成25年度 鳥取県立武道館管理委託	千円 325,032	平成26年度	千円 64,963	平成27年度から 平成30年度まで	千円 260,069	千円	千円	千円 260,069
平成25年度 鳥取県立鳥取産業体育館及び鳥 取県営鳥取屋内プール管理委託	千円 308,575	平成26年度	千円 60,672	平成27年度から 平成30年度まで	千円 247,903			千円 247,903
平成25年度 鳥取県立米子産業体育館管理委 託	千円 146,060	平成26年度	千円 29,500	平成27年度から 平成30年度まで	千円 116,560			千円 116,560
平成25年度 鳥取県立倉吉体育文化会館管理 委託	千円 216,000	平成26年度	千円 43,200	平成27年度から 平成30年度まで	千円 172,800			千円 172,800
平成25年度 鳥取県営ライフル射撃場管理委託	千円 4,915	平成26年度	千円 983	平成27年度から 平成30年度まで	千円 3,932			千円 3,932
平成26年度 とっとり伝統芸能まつり開催委託	千円 35,328			平成27年度から 平成29年度まで	千円 35,328			千円 35,328
平成26年度 多言語観光基本情報ホームページ 管理委託	千円 2,000			平成27年度から 平成29年度まで	千円 2,000			千円 2,000

条 例 名 等	鳥取県附属機関条例の一部改正等について				
提 出 理 由 及 び 概 要	<p>1 提出理由 鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業のために設置した附属機関について、その役割を終了したため廃止する。</p> <p>2 概 要 (1) 廃止する附属機関</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">調査審議する事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業 評価委員会</td> <td style="text-align: center;">鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業評価に関する事項</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 廃止の理由 評価対象の鳥取県アーティストリゾート推進組織育成事業を廃止したことによる。</p> <p>3 施行期日 平成27年4月1日</p>	名称	調査審議する事項	鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業 評価委員会	鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業評価に関する事項
名称	調査審議する事項				
鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業 評価委員会	鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業評価に関する事項				

鳥取県附属機関条例の一部を改正する等の条例

鳥取県附属機関条例（平成 25 年鳥取県条例第 53 号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線及び太枠で示すように改正する。

改 正 後		改 正 前	
別表第 1（第 2 条関係）		別表第 1（第 2 条関係）	
名称	調査審議する事項	名称	調査審議する事項
略		略	
鳥取県文化芸術振興審議会	鳥取県文化芸術振興条例（平成 15 年鳥取県条例第 53 号）第 17 条第 1 項に規定する事項	鳥取県文化芸術振興審議会	鳥取県文化芸術振興条例（平成 15 年鳥取県条例第 53 号）第 17 条第 1 項に規定する事項
略		鳥取県アーティスト・リゾート・イン・トットリ事業評価委員会	芸術家が活動しやすい環境づくりを県全域に広げていくための事業の評価に関する事項
		略	

附 則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

件名	鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 米子市と施設交換することに伴い、東山水泳場を県立の施設とする。</p> <p>2 概要 (1) 県営東山水泳場を米子市に設置する。</p> <p>(2) 施行期日等 ア 施行期日は、公布日とするイの一部を除き、規則で定める日とする。 イ 施行後、最初の指定管理者の選定及び管理期間について、所要の経過措置を講ずる。</p>

鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例（昭和39年鳥取県条例第24号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、太枠で示すように改正する。

改正後		改正前	
(設置) 第2条 スポーツを振興し、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため、鳥取県営社会体育施設（以下「社会体育施設」という。）を次のとおり設置する。		(設置) 第2条 スポーツを振興し、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため、鳥取県営社会体育施設（以下「社会体育施設」という。）を次のとおり設置する。	
名称	位置	名称	位置
鳥取県立武道館	米子市	鳥取県立武道館	米子市
鳥取県営鳥取屋内プール	鳥取市	鳥取県営鳥取屋内プール	鳥取市
鳥取県営東山水泳場	米子市	鳥取県営東山水泳場	米子市
鳥取県営ライフル射撃場	西伯郡南部町	鳥取県営ライフル射撃場	西伯郡南部町

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、次項及び附則第3項の規定は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 1 鳥取県営東山水泳場に係る鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例第3条に規定する業務を行う者（以下「指定管理者」という。）の指定及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても行うことができる。
- 2 この条例の施行前においては、知事は、鳥取県公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例（平成16年鳥取県条例第67号）第6条第1項第1号及び第3号の規定により、同条例第4条第1項及び第5条の規定によらず、鳥取県営東山水泳場の指定管理者の候補者を選定するものとする。
- 3 この条例の施行前に指定を受けた鳥取県営東山水泳場の指定管理者が鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例第3条に規定する業務を行う期間は、同条例第5条の規定にかかわらず、この条例の施行の日から平成29年3月31日までとする。

件名	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県営米子屋内プール）について
提出理由及び概要	<p>1 提出理由 地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する公の施設の指定管理者を指定することについて、同条第6項の規定により、本議会の議決を求める。</p> <p>2 概要 (1) 公の施設の名称 鳥取県営米子屋内プール</p> <p>(2) 指定管理者 鳥取市布勢146番地の1 公益財団法人鳥取県体育協会 会長 油野利博</p> <p>(3) 指定の期間 平成27年4月1日から鳥取県営社会体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例（平成25年鳥取県条例第47号）附則第1項に規定する規則で定める日の前日まで</p> <p>(4) 理由 鳥取県営米子屋内プールの管理業務を効果的かつ効率的に行うため、公益財団法人鳥取県体育協会を指定管理者として指定しようとするものである。</p> <p>（参考）選定方法：指名</p>